

平成 25 年版

# 消防年報



国指定重要無形民俗文化財  
花輪祭の屋台行事

## 花輪ばやし

秋田県鹿角市

8月19日～20日



平成 26 年刊行

鹿角広域行政組合消防本部

## 花輪ばやしが重要無形民俗文化財に指定されました。

鹿角市の花輪ばやしは日本三大囃子の一つに数えられ、平成26年3月10日に「鹿角の祭り屋台行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。毎年8月の19日と20日に行われ、幸稻荷神社の祭礼祭りとして行われます。洗練されたメロディ・華麗な笛と雄大な太鼓とともに、絢爛豪華な屋台（山車）が町内を練り歩き、鹿角花輪駅前に10町内の屋台が集まると各町内の囃子の共演や審査が行われます。

# は し が き

1. この年報は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化のための資料とし、併せて火災の実態や消防、救急活動の現状等を広く一般に紹介して消防行政に対する理解を深めるとともに、住民の防火意識の高揚を図るため作成した。
2. 本書の内容中、予算関係及び人事関係については会計年度とし、その他のものは原則として暦年としたが、年月日を明示したものは、その時点での現況である。

平成26年4月

鹿角広域行政組合消防本部

# 目 次

鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢	1
管内の面積・人口・世帯数	2
鹿角広域行政組合圏域図	3
消防の沿革	4 ～ 8
受章記録	9

## 【総 務】

歴代管理者・副管理者・消防長・署長一覧表	10
消防職員配置状況	10
鹿角広域行政組合消防本部組織図	11
消防本部事務分掌	12
消防署事務分掌	13
消防庁舎の概要	14
消防職員勤務年数表	15
消防職員階級別年齢表	15
消防吏員年齢別階級分布図	15
消防費分類表	16
消防職員免許所持状況	17
消防職員学校教育派遣状況	18

## 【施 設】

消防車両等一覧表	19 ～ 22
消防車両の使用経過年数状況	22
消防水利状況	23
水防倉庫所在地一覧／水防倉庫資材状況	24

## 【予 防】

防火対象物及び立入検査状況	25
危険物製造所等の立入検査状況	26
消防法令等による許可申請等の状況	26
建築同意状況	27
防火対象物定期点検報告制度状況	28
甲種防火管理者再講習受講状況	28
住宅用火災警報器設置調査状況	28
過去5年間の火災原因	29
月別火災状況	30
幼少年婦人防火クラブ加入団体／活動状況	31

## 【救 急】

救急出動状況／救急小隊別出動内訳	32
バイスタンダーによる応急手当・救命処置数	32
月別救急活動状況調	33
月別事故種別救急出動状況調／事故種別救急出動件数の推移	34
年別・曜日別出動状況／事故種別・時間別・傷病者搬送状況	35
事故種別・年齢別・傷病者搬送状況／急病にかかわる疾病別搬送人員調	36
事故種別・地域別出動状況	37
救急蘇生指標／特定行為実施件数	38
救急救命士による救命処置領域件数／ドクターヘリ要請事案件数調	39
各種実習・研修等／救急に関する各種教育プログラムの職員受講状況	39

## 【警防・救助】

安全管理及び指揮体制	40
警防活動状況	41
各種訓練状況	42
救助体制	43
救助器具保有状況	43 ～ 44
救助隊の訓練状況	44
緊急消防援助隊出動履歴	45
緊急消防援助隊秋田県隊登録車両	45
緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練出動開催地	45

## 【通信】

気象状況・極値	46
過去10年間の気象の推移／気象観測開始からの気象極値	47
119番・専用回線着信状況／災害情報配信システム(メール配信)登録状況	48
消防緊急通信指令施設等の機器構成	49
無線機保有一覧	50

## 【消防団】

消防団装備・階級別実員	51
鹿角市消防団組織図	52
鹿角市消防団管轄区域	53
鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当	53
小坂町消防団組織図	54
小坂町消防団管轄区域	54
小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当	54
消防本部と消防団との安全管理体制	55
秋田県消防操法(訓練)大会成績	56

## 【災害記録】

災害記録	57 ～ 63
------	---------

## 【広報消防鹿角】

平成25年秋冬号／平成26年春夏号

## 鹿角広域行政組合圏の位置及び地勢

この圏域は、東北三県（青森・秋田・岩手）のほぼ中央、秋田県の北東部、奥羽山脈を形成する鹿角盆地に位置し、南は八幡平、北は十和田湖の国立公園を控え、これに連なる緑の山々と清れつな河川に恵まれ、その自然の豊かさは「青垣山をめぐらす鹿角」の言葉で象徴されています。

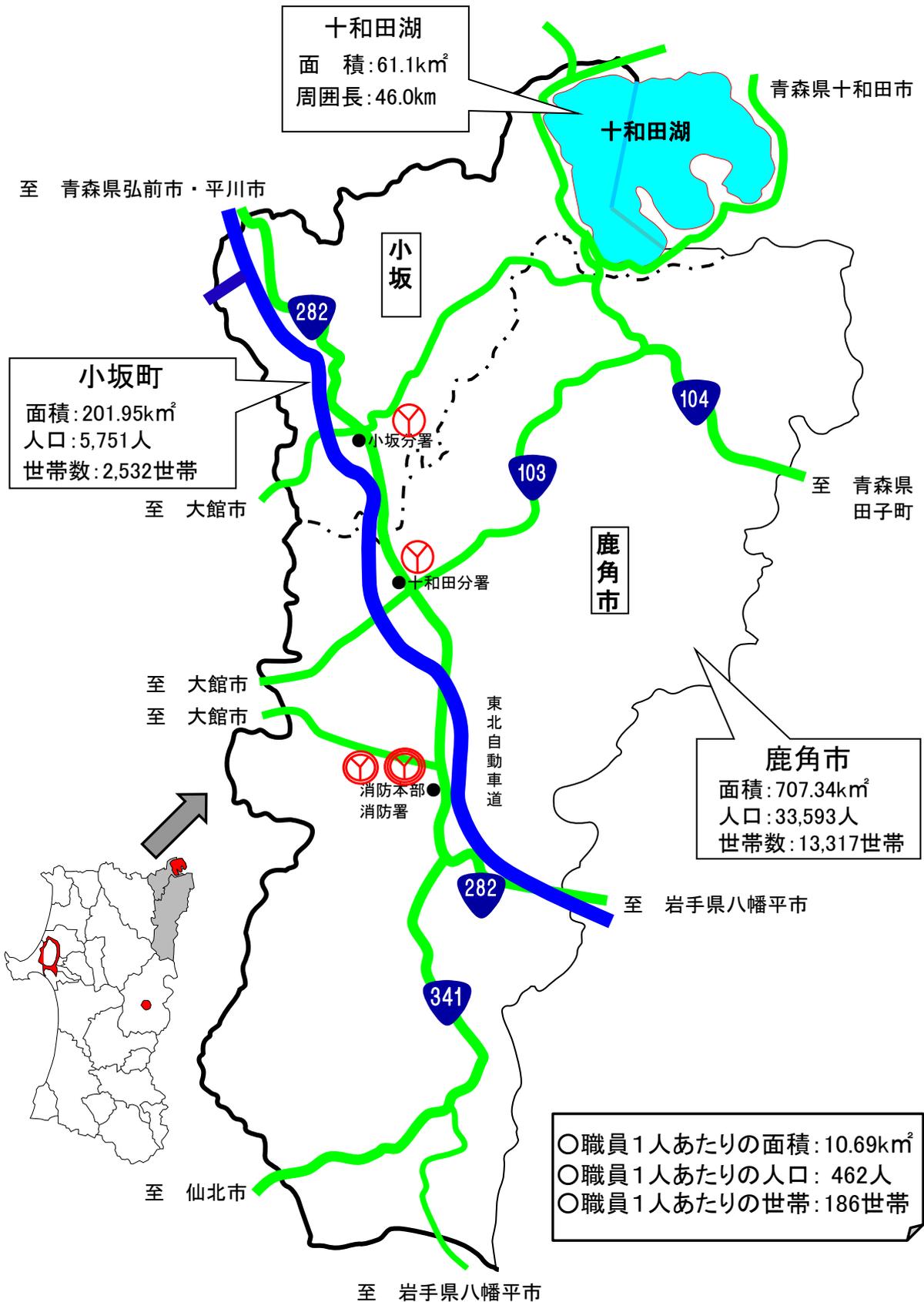
総面積は909.29km<sup>2</sup>で、秋田県の総面積（11,635km<sup>2</sup>）の7.8%にあたる広さをもっています。そして、鹿角盆地の中央部を貫流する米代川を本流として、小坂川、大湯川、熊沢川などの河川が流れ、河岸や台地に花輪、毛馬内などの市街地が開け、田園や畑地には大小の集落が点在しており、その周りは広大な山地で平坦地の少ない地勢となっています。

気候は盆地型に属し、年間を通じて昼夜間の気温の差が大きく、平均気温は10℃前後、降水量は年間約1,500mm程度であり、積雪は平坦地で約80cm、積雪期間は12月から3月までです。

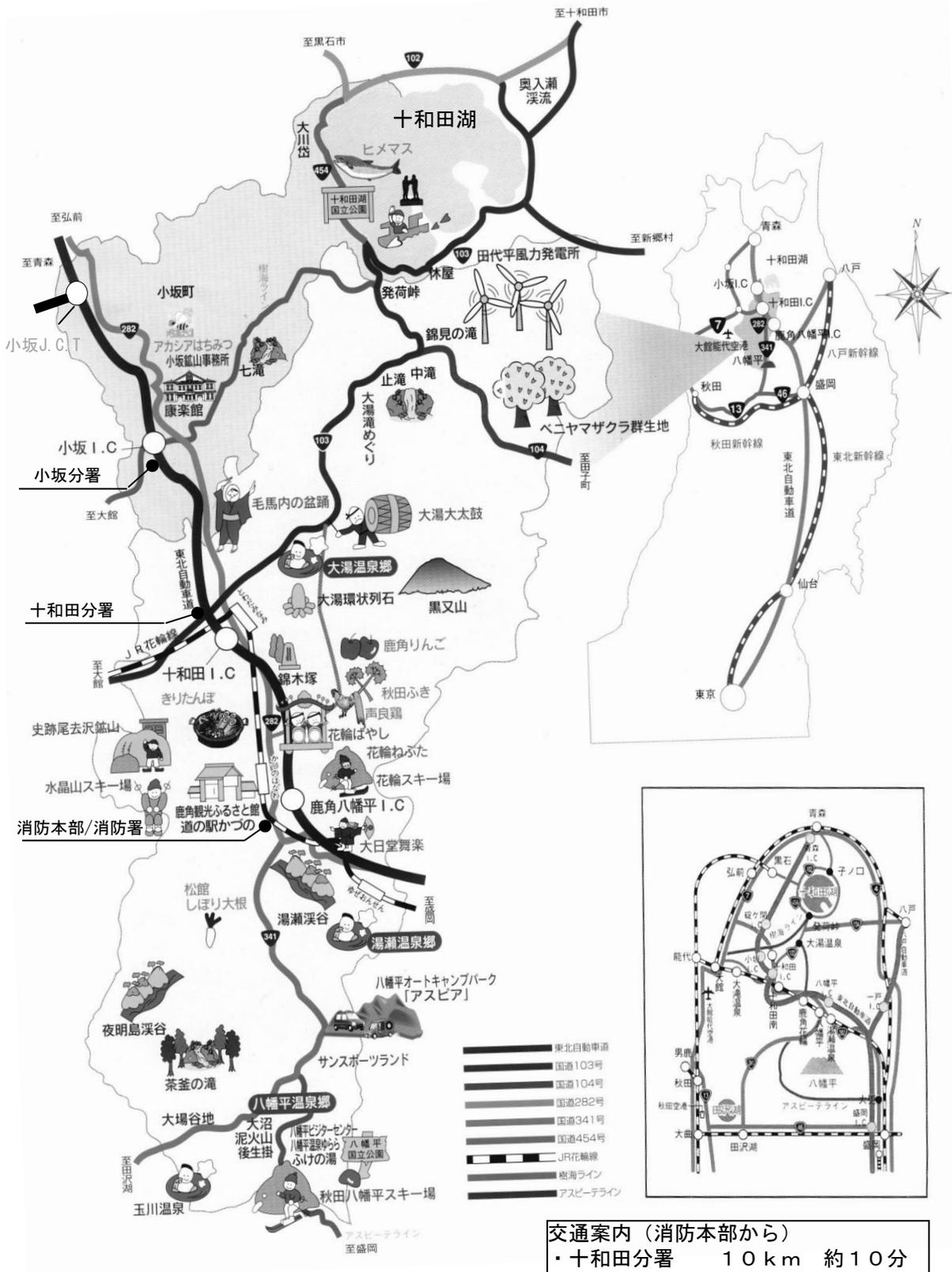
国立公園十和田八幡平を擁し、圏内を東北縦貫自動車道が通り、「鹿角八幡平」、「十和田」、「小坂」の三つのインターチェンジにより、青森、八戸、弘前、盛岡などの各都市と1時間経済圏となります。また、秋田自動車道と東北縦貫自動車道に接続するため日本海沿岸東北自動車道に小坂ジャンクションが建設されました。東北新幹線、あきた北空港と相まって首都圏との所要時間が大幅に短縮されたことから、自然をはじめとする豊富な資源を生かし、県内はもとより、北東北でも有数の観光地として21世紀での産業、観光面の発展が期待されています。

# 管内の面積・人口・世帯数

平成26年4月1日現在



# 鹿角広域行政組合圏域図



交通案内（消防本部から）

- ・十和田分署 10 km 約10分
- ・小坂分署 17 km 約17分
- ・鹿角八幡平 I.C.から  
弘前 I.C.まで 58 km 約50分

## 消防の沿革

年 月	事 項
明治23年 4月	鹿角郡内に消防組が創設される。
明治23年 5月	花輪町消防組創設される。(2部制で120名の組織)
明治26年以前	私立消防組である小坂鉦山消防隊創設される。 (明治44年当時2部制で消防夫は300名)
明治28年 9月	毛馬内消防組創設される。(2部制で81名の組織)
明治42年 9月	小坂村消防組創設される。(2部制で95名の組織)
昭和12年 4月	毛馬内消防組、消防ポンプ自動車(ダッチブラザーズ)1台購入配備する。 鹿角市消防団第12分団(旧毛馬内1分団)が記念保存。
昭和23年 7月	消防団令公布となる。警防団は改組し消防団となる。
昭和29年 7月	花輪町消防団常備部が設置される。 小坂町と七滝村が合併し、新小坂町が発足する。
昭和30年 4月	花輪町消防団常備部を廃止し、花輪町消防本部及び消防署が設置される。 小坂町消防団初代団長に小笠原省吾氏就任。
昭和34年 4月	小坂町消防団長に山内二郎氏就任。
昭和36年10月	花輪町消防庁舎を新築。(鹿角市消防団第1分団、旧花輪第1分団第2部 器具置き場)
昭和39年 4月	小坂町消防団に常備部が設置される。
昭和40年12月	花輪町消防署救急業務開始。
昭和45年 4月	十和田町消防団に常備部が設置される。
昭和46年 4月	小坂町消防団長に多田弘氏就任。
昭和47年 4月	花輪町、十和田町、尾去沢町、八幡平村の4箇町村が合併し鹿角市が誕生。 鹿角市消防本部及び消防署を設置し発足する。 鹿角市消防長事務取扱に鹿角市長阿部新氏就任。 暫定措置として、消防団組織を当分の間、「鹿角市連合消防団」として発 足する。 (4団、花輪、十和田、尾去沢、八幡平、39箇分団、定員1,132名) 鹿角市連合消防団長に大里文雄氏就任。 小坂町消防団長に山崎文夫氏就任。
昭和48年 4月	鹿角市消防長に石木田芳郎氏就任。
昭和49年 5月	鹿角市花輪字高井田64番地2に消防本部・署庁舎新築移転、業務開始。
昭和49年11月	ポンプ車1台(日本損害保険協会)が寄贈され、消防署に配備する。
昭和50年 5月	鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1に消防署十和田分署庁舎新築移転、 業務開始。
昭和50年 8月	第28回全県消防大会を鹿角市で開催。
昭和50年 9月	鹿角市消防本部救助隊を設置する。
昭和50年12月	救急車(2B型)1台(秋田県農業共済組合)が寄贈され、十和田分署へ 配備する。
昭和51年 9月	救急車(2B型)1台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、消防署へ配 備する。 秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和54年 9月	鹿角市連合消防団長に関富治氏就任。 鹿角市連合消防団(17箇分団39部制)が統合し、鹿角市消防団として 発足する。(消防団員定員1,150人)
昭和55年 2月	消防署八幡平分駐所(第7分団、旧八幡平第1分団第1部番屋、一部改築) を設置、職員(機関員)を派遣し、業務開始。
昭和56年 4月	鹿角市消防長に泉谷金悦氏就任。
昭和56年10月	救急車(2B型)1台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、消防署へ配 備する。

年 月	事 項
昭和57年 4月	鹿角市消防長に奈良喜三郎氏就任。
昭和57年 9月	鹿角市少年婦人防火委員会発足。
昭和58年10月	東北自動車道鹿角八幡平 I C 開通。 盛岡地区広域行政事務組合と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和59年 1月	救助工作車を購入し、消防署に配備する。
昭和59年 5月	鹿角市消防長に山崎寛二氏就任。
昭和59年 7月	第 3 7 回秋田県消防大会を鹿角市で開催。
昭和59年 9月	東北自動車道十和田 I C 開通。
昭和60年 2月	化学車を購入し、消防署に配備する。
昭和60年 5月	全国消防長会法制委員会を鹿角市で開催。
昭和60年 8月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
昭和61年 1月	鹿角市・小坂町が救急に関する覚書締結。
昭和61年 5月	弘前地区消防事務組合・小坂町と東北自動車道消防相互応援協定を締結。
昭和61年 6月	東日本高速道路(株)(旧日本道路公団)と消防無線設備に関する確認書を締結。
昭和61年 7月	東日本高速道路(株)(旧日本道路公団)と東北自動車道安代 I C ～碓ヶ関 I C の覚書を締結。東北自動車道の全線開通に先駆けて坂梨トンネルの総合防災訓練を実施する。
昭和62年 6月	鹿角市消防団再編成計画策定される。
昭和62年 7月	東北自動車道全線開通後、弘前地区消防事務組合・小坂町と坂梨トンネル夜間総合防災訓練を実施する。
昭和63年 2月	鹿角市緊急通報システム業務開始。(一人暮らし老人等世帯)
昭和63年 7月	鹿角市消防長に阿部貫雄氏就任。
昭和63年10月	第 1 1 回全国消防操法大会に鹿角市消防団第 1 4 分団(旧十和田錦木第 1 分団第 3 部)が出場し、準優勝する。
平成元年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 1, 0 3 0 人。
平成元年 9月	各防災関係機関及び医療機関による集団救急災害対策訓練を実施する。 財団法人全国消防協会東北地区支部予防広報講習を鹿角市で開催。
平成元年10月	鹿角市・小坂町の東北自動車道消防相互応援協定を締結。 鹿角市・小坂町の消防相互応援協定を締結。
平成 2年 4月	幼年消防クラブが結成、鹿角市幼少年婦人防火委員会となる。 鹿角市消防団第 1 分団(旧花輪第 1 分団)の部を統合し、4 部から 2 部となる。(消防団再編成 1 7 分団 3 8 部)
平成 2年10月	東北自動車道小坂 I C 開通。小坂町消防団常備部で救急業務を開始。
平成 3年 2月	救急車(2 B 型)4 W D 1 台(秋田県経済連農業協同組合連合会)が寄贈され、消防署へ配備する。
平成 3年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 9 3 0 人。 鹿角市消防長に杉澤誠志郎氏就任。
平成 3年 9月	小型動力ポンプ付積載車 1 台(財団法人日本消防協会)が寄贈され、鹿角市消防団第 8 分団(旧八幡平第 2 分団第 2 部、長牛)へ配備する。
平成 3年10月	平成 3 年度鹿角市総合防災訓練を花輪地区大町で実施する。
平成 4年 4月	鹿角市消防団員の定員、任免、報酬等に関する条例の改正により消防団員の定員 8 9 2 人。 鹿角市消防長に阿部菊美氏就任。
平成 5年 1月	鹿角市消防出初式を花輪地区大町に会場を変更して開催。
平成 5年 7月	第 4 6 回秋田県消防大会を鹿角市で開催。

年 月	事 項
平成 5年 8月	湯瀬温泉地区自主防災組織が八幡平湯瀬で総合防災訓練を実施する。
平成 6年 4月	鹿角市消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 6月	鹿角市と小坂町との一部事務組合に消防・救急業務を加えた広域行政組合が発足、鹿角広域行政組合消防本部として消防職員定数98名で平成6年6月1日より業務を開始する。 鹿角広域行政組合消防救助隊を設置する。 青森県十和田地区消防事務組合と消防応援協定を締結。 鹿角広域行政組合消防長に大里博志氏就任。
平成 6年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成 6年11月	小坂町総合防災訓練を実施。
平成 7年 4月	鹿角広域行政組合消防長に佐藤一彦氏就任。
平成 7年 6月	財団法人日本防火協会と財団法人自治総合センターから、視聴覚資機材を搭載した『宝くじ号・防火広報車』1台寄贈され、消防署に配備する。
平成 7年 8月	平成7年度鹿角市総合防災訓練を十和田毛馬内地区で実施する。
平成 7年 9月	鹿角市消防団長に菅原徳弥氏就任。
平成 8年 1月	秋田県緊急消防援助隊発足。秋田県消火部隊・化学消火部隊として登録する。
平成 8年 8月	平成8年度鹿角市総合防災訓練を尾去沢地区で実施する。
平成 8年11月	救急車（2B型）4WD1台を購入し、十和田分署へ配備する。
平成 9年 3月	救急車（2B型）4WD1台（秋田県経済連農業協同組合連合会）が寄贈され、消防署へ配備する。
平成 9年 4月	鹿角広域行政組合消防長に大里勲氏就任。
平成 9年11月	消防署通信指令台を更新する。
平成10年 3月	鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地1に消防署小坂分署新築移転し、業務を開始する。
平成10年 8月	平成10年度鹿角市総合防災訓練を八幡平地区で実施する。
平成10年12月	小坂町消防団長に多田勝一氏就任。
平成11年 4月	消防職員の勤務体制を2部制から3部制へ移行する。 高規格救急車を配置し、救急救命士が搭乗し運用を開始する。 鹿角市消防団第2分団（旧花輪2分団）が消防団再編成により分離し、1部制から2部制に再編する。
平成11年 5月	地震災害対策訓練を実施する。
平成11年 8月	平成11年度鹿角市総合防災訓練を大湯地区で実施する。（秋田県消防航空隊参加）
平成12年 4月	鹿角広域行政組合消防長に児玉弘志氏就任。
平成12年 8月	平成12年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が秋田市新屋旧空港跡地で開催され、秋田県消火部隊として訓練参加する。
平成12年10月	小坂町総合防災訓練を実施する。
平成13年 3月	小坂町消防団長に本田隆爾氏就任。
平成13年10月	消防署十和田分署のポンプ車を水槽付消防ポンプ自動車（4WD）へ更新配備する。 消防署小坂分署に高規格救急車を配備し運用を開始する。また、それまで運用していた救急車（2B型）4WD1台を秋田県消防学校へ寄贈する。
平成14年 3月	秋田県緊急消防援助隊部隊に救助隊を追加登録する。
平成14年 7月	第55回秋田県消防大会を鹿角市で開催予定であったが、大雨の為中止となる。
平成15年 2月	消防署の救助工作車を更新配備する。
平成15年 3月	財団法人日本消防協会より『消防団指揮広報車』を寄贈され、鹿角市消防団本部へ配備する。

年 月	事 項
平成15年 4月	鹿角市消防団長に米沢将之助氏就任。
平成15年 8月	秋田県消防操法大会ポンプ車操法の部において、小坂町消防団第4分団万谷班が優勝。
平成15年 9月	秋田県総合防災訓練を鹿角市で開催。
平成16年 4月	鹿角広域行政組合消防長に齊藤寛樹氏就任。
平成16年 6月	消防署広報車を更新配備する。
平成17年 1月	消防署ポンプ1号車を水槽付消防ポンプ自動車（CD-II）へ更新配備する。
平成17年 4月	鹿角市消防団十和田地区毛馬内、錦木、大湯の各分団を十和田第1分団から第6分団へ名称を改訂する。
平成18年 4月	国道282号線錦木バイパス開通に伴い、火災・救急の出場区分の見直しをする。 消防本部消防行財政改革により、消防署八幡平分駐所を消防署へ統合する。 「災害情報配信システム」によるメール配信サービスの運用を開始する。
平成19年 2月	消防署十和田分署の救急車（2B型）を高規格救急車（4WD）へ更新配備する。
平成19年 4月	鹿角広域行政組合消防長に田中孝夫氏就任。 消防長の階級を消防組織法の基準に基づき改正。 鹿角市消防団長に柳澤誠氏就任。 消防団規則改正。鹿角市消防団名称を一連番号に変更。 （鹿角市消防団第1分団～第17分団） 鹿角市消防団「市民を守る魅力ある消防団づくり」基本計画を策定。 秋田県初となる機能別団員の導入、協力事業所として3社が登録される。 鹿角市初の女性消防団員が誕生する。
平成19年 8月	消防署十和田分署に共動車両として、鹿角市消防団第12分団第1部（旧十和田第1分団第1部）の積載車を配備する。
平成19年10月	消防署の指令車を指揮車へ更新配備する。
平成20年 1月	消防署の救急2号車（2B型）を高規格救急車へ更新配備する。これにより、鹿角広域管内の救急車が全車両、高規格救急車になる。 消防署の化学車を災害対応特殊化学消防ポンプ自動車として更新配備する。 （圧縮空気泡消火装置：CAFS搭載型）
平成20年 3月	鹿角市消防団が団員確保策として、機能別団員の導入、女性消防団員の誕生などが評価され、消防庁長官表彰「消防団等地域活動表彰」を受賞。 「秋田県消防広域化推進計画」が策定され、鹿角市、小坂町は大館市、北秋田市、上小阿仁村で構成されるブロックを提示され、連絡協議会が発足する。
平成20年 4月	女性消防団員によるカラーガード隊発足。
平成20年 6月	平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震により、鹿角広域行政組合消防本部初となる緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が宮城県栗原市へ出動。現場活動に従事し、行方不明者1名を発見する。
平成20年 7月	第66回鹿角支部消防訓練大会で鹿角市女性消防団員がカラーガード隊やポンプ車の機関員として揚水訓練を披露する。また、腕用ポンプでの揚水を披露する。 岩手県沿岸北部を震源とする地震（7月24日発生）により、緊急消防援助隊（救助隊1隊、後方支援隊1隊）が岩手県へ出動。活動無し。 鹿角市消防団第12分団第1部に、県内最古の消防車、通称「ダッチ」の展示スペースを設置。
平成20年 8月	消防署十和田分署の広報車を更新配備する。

年 月	事 項
平成20年12月	鹿角市女性消防団が地域づくりに貢献したことが評価され、秋田県鹿角地域振興局長から「ふるさと鹿角・小坂いきいき地域づくり活動」特別賞を受賞する。
平成21年 2月	鹿角市消防団機能別消防団の(株)柳沢建設が消防庁長官から「消防団等地域活動表彰」を受賞する。
平成21年 4月	鹿角市消防団長に黒澤文男氏就任。 小坂町消防団長に成田俊昭氏就任。 鹿角広域行政組合特別救助隊を設置。
平成21年 8月	消防署小坂分署の広報車を更新配備する。 鹿角市消防団略帽からアポロキャップへ更新する。 小坂町消防団車両未配備の班へ軽積載車を配備する。 (苦竹・余路米班を除く)
平成21年 9月	小坂町消防団員数を202人から190人に定員を改正。
平成21年11月	鹿角市消防団第2分団第1部(下川原)の器具置場を新築移転する。多目的消防拠点施設として水防資材を備え、手引きポンプ、腕用ポンプを展示する。
平成21年12月	鹿角市消防団救急救助支援隊発足。(第7分団、第16分団)
平成22年 3月	携帯電話、IP電話の位置情報通知システムの運用を開始する。
平成22年 4月	鹿角広域行政組合消防長に奈良俊幸氏就任。
平成22年 9月	鹿角市消防団第2分団第2部(用野目)へ消防団救助機材搭載型車両を配備する。
平成22年11月	小坂町で消防団協力事業所の表示証を交付する。(1事業所)
平成23年 1月	鹿角市で消防団協力事業所の表示証を交付する。(10事業所)
平成23年 2月	消防署小坂分署のポンプ車を災害対応水槽付消防ポンプ自動車に更新配備する。(圧縮空気泡消火装置:CAF5搭載型) 消防署小坂分署に共動車両として、小坂町消防団第1分団小坂班の積載車を配備する。
平成23年 3月	平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)により緊急消防援助隊(救助隊1隊、消火隊1隊、救急隊1隊、後方支援隊1隊)が岩手県宮古市田老地区及び、山田町へ出動。現場活動に従事する。 高規格救急車1台(全国共済農業協同組合連合会)が寄贈され、消防署へ配備する。
平成23年 4月	鹿角広域行政組合消防長に沢田正氏就任。 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)により緊急消防援助隊(救急隊1隊、後方支援隊1隊)が宮城県本吉郡南三陸町及び、登米市へ出動。現場活動に従事する。
平成23年 6月	小坂町消防団略帽からアポロキャップへ更新する。
平成24年 4月	小坂町消防団員数を190名から170名に定員を改正。 鹿角広域行政組合消防長に熊谷純二氏就任。
平成24年 8月	平成24年度秋田県総合防災訓練が鹿角市を会場に開催される。
平成24年12月	消防署に資機材搬送車を新規導入する。
平成25年 3月	鹿角市消防団第7分団第2部(熊沢)に日本損害保険協会から軽積載車が寄贈され車両更新する。
平成25年11月	大館市消防本部と秋田自動車道(大館北IC~小坂北IC)消防相互応援協定、覚書を締結。 弘前地区消防事務組合消防本部と東北道消防相互応援協定書、覚書を改正し締結。
平成26年 3月	大曲仙北広域市町村圏組合消防本部と十和田八幡平地域における消防相互応援協定書、覚書を改正し締結。
平成26年 4月	鹿角広域行政組合消防長に米田均氏就任。

## 受 章 記 録

※平成10年以降を記載した

### 《鹿角市》

平成11年11月	勲七等青色桐葉章	元副団長	大里克三氏
平成12年4月	勲六等単光旭日章	元消防司令	廣林忠好氏
平成13年4月	勲六等瑞宝章受章	元副団長	田原四郎氏
平成15年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	高橋六郎氏
平成16年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	高橋七郎氏
平成16年10月	瑞宝単光章受章	元消防司令補	藤井喜久治氏
平成17年4月	瑞宝双光章受章	元団長	菅原徳弥氏
平成18年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	星川俊一氏
平成18年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	田口信一氏
平成19年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令	山口喜八郎氏
平成19年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	工藤菊良氏
平成21年6月	瑞宝単光章受章	元副分団長	加藤悦郎氏
平成21年11月	瑞宝単光章受章	元団長	米沢將之助氏
平成22年4月	瑞宝単光章受章	元副団長	伊藤勇氏
平成22年2月	瑞宝単光章受章	元分団長	糠塚誠造氏
平成22年3月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	海沼忠氏
平成23年6月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	奥村多喜男氏
平成24年1月	瑞宝単光章受章	元副分団長	菅生省三氏
平成24年1月	瑞宝単光章受章	元消防監	齊藤寛樹氏
平成25年4月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	金澤秀美氏
平成25年5月	瑞宝単光章受章	元分団長	澤田正司氏

### 《小坂町》

平成11年2月	勲五等双光旭日章	元団長	山崎文夫氏
平成13年11月	勲六等瑞宝章受章	元分団長	工藤亮氏
平成17年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令	和田眞氏
平成20年4月	瑞宝単光章受章	元分団長	木村甚衛門氏
平成21年11月	瑞宝単光章受章	元分団長	小笠原吉孝氏
平成22年11月	瑞宝単光章受章	元消防司令長	川口正勝氏
平成22年11月	瑞宝単光章受章	元分団長	清藤貞夫氏
平成23年11月	瑞宝単光章受章	元団長	本田隆爾氏

# 総

# 務



新消防庁舎のイメージ図

現消防庁舎の耐震性の問題、施設及び設備の老朽化などをうけ、新しい消防庁舎を鹿角警察署の西側に建設することになりました。消防救急無線のデジタル化と併せて平成27年8月の運用を予定しています。

新庁舎は、火災や救急をはじめ、各種災害に迅速に対応できる新たな防災拠点として、安全性を備えた設計となっており、皆様により一層の安全、安心性を発信できる消防庁舎を目指しております。

また、現庁舎は解体され、救急車1台と職員4名程度を配置した南出張所(仮称)として生まれ変わります。

## 歴代管理者・副管理者・消防長・消防署長一覧表

平成26年4月1日現在

区分	歴代	氏名	就任	退任	在職期間	備考
管理者	初代	杉江宗祐	H 6. 6. 1	H12. 4. 25	5年10月	
	2代	佐藤洋輔	H12. 4. 25	H17. 6. 6	5年 1月	
	3代	児玉 一	H17. 7. 3	(現在)		
副管理者	初代	阿部節雄	H 6. 6. 10	H 8. 4. 24	1年10月	鹿角市助役
		川口 博	H 6. 6. 1	H21. 3. 31	14年9月	小坂町長
	2代	佐藤秀朗	H 8. 5. 15	H12. 5. 2	3年11月	鹿角市助役
	3代	三村陽一	H12. 5. 23	H16. 5. 16	3年11月	鹿角市助役
	4代	児玉 一	H16. 5. 28	H17. 6. 23	1年	鹿角市助役
	5代	松浦春男	H17. 8. 26	H19. 3. 31	1年 7月	鹿角市助役
	6代	大野佑司	H19. 4. 24	H21. 6. 30	2年 1月	鹿角市副市長
	7代	細越 満	H21. 4. 30	(現在)		小坂町長
8代	阿部一弘	H21. 8. 5	(現在)		鹿角市副市長	
消防長	初代	大里博志	H 6. 6. 1	H 7. 3. 31	0年10月	
	2代	佐藤一彦	H 7. 4. 1	H 9. 3. 31	2年	
	3代	大里 勲	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	4代	児玉弘志	H12. 4. 1	H16. 3. 31	4年	
	5代	齊藤寛樹	H16. 4. 1	H19. 3. 31	3年	
	6代	田中孝夫	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	7代	奈良俊幸	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	8代	沢田 正	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	9代	熊谷純二	H24. 4. 1	H26. 3. 31	2年	
	10代	米田 均	H26. 4. 1	(現在)		
消防署長	初代	大里 勲	H 6. 6. 1	H 9. 3. 31	2年10月	
	2代	田口信一	H 9. 4. 1	H12. 3. 31	3年	
	3代	奥村多喜男	H12. 4. 1	H13. 3. 31	1年	
	4代	海沼 忠	H13. 4. 1	H14. 3. 31	1年	
	5代	田中孝夫	H14. 4. 1	H16. 5. 19	2年 1月	
	6代	金澤秀美	H16. 5. 20	H19. 3. 31	2年11月	
	7代	畠山 裕	H19. 4. 1	H22. 3. 31	3年	
	8代	工藤清一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	1年	
	9代	小館照男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	1年	
	10代	柳沢政雄	H24. 4. 1	H25. 3. 31	1年	
	11代	相馬 朗	H25. 4. 1	(現在)		

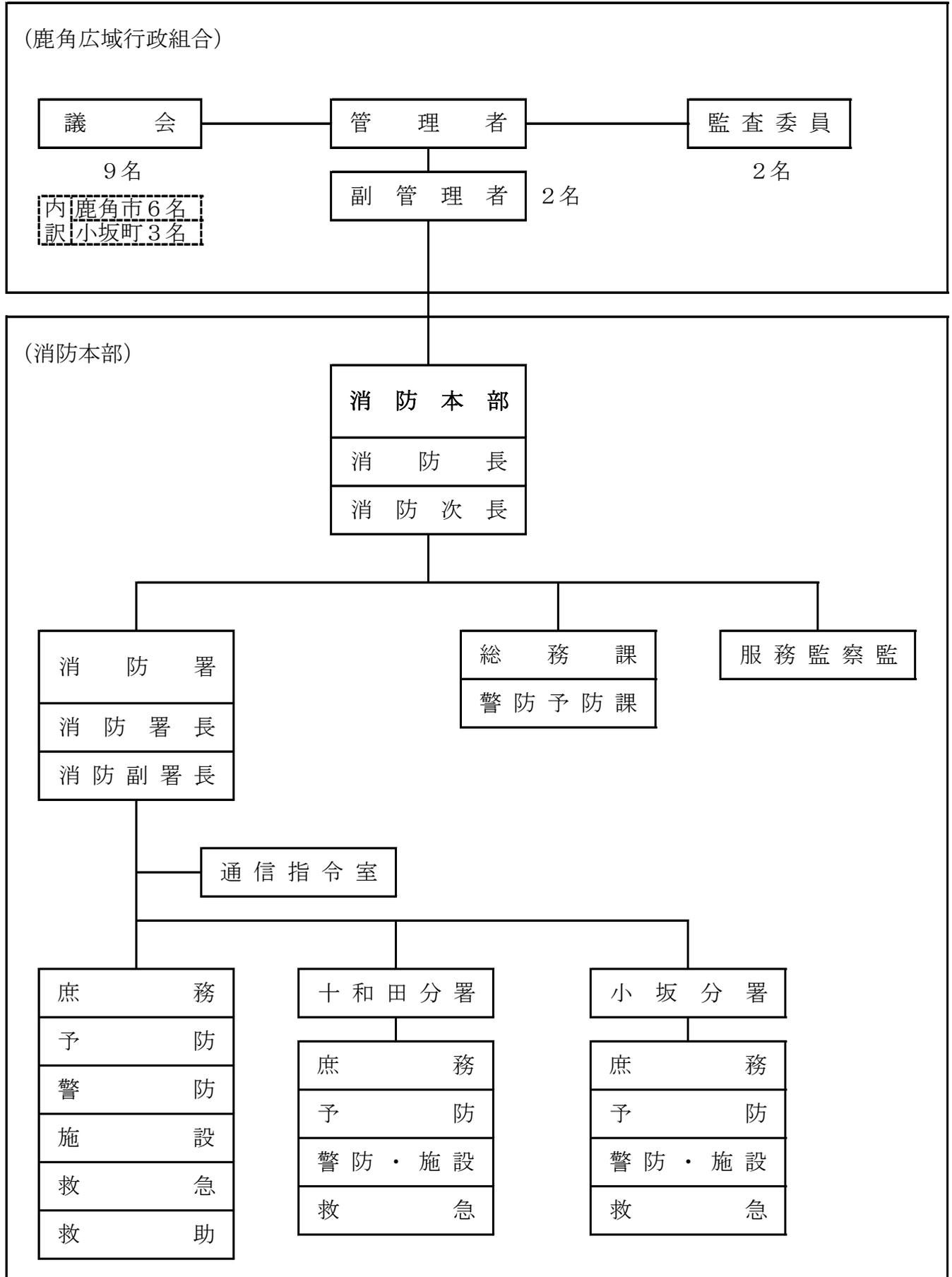
## 消防職員配置状況

平成26年4月1日現在

階級等 所属別	計	消 防 吏 員						事 務 職 員			
		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	課 長	主 幹	副 主 幹	主 査
消 防 本 部	9	1	4	2	1						1
消 防 署	40		5	13	9	4	9				
十和田分署	18		1	7	6	3	1				
小坂分署	18		2	6	5	5					
合 計	85	1	12	28	21	12	10				1

# 鹿角広域行政組合消防本部組織図

平成26年4月1日現在



## 消防本部事務分掌

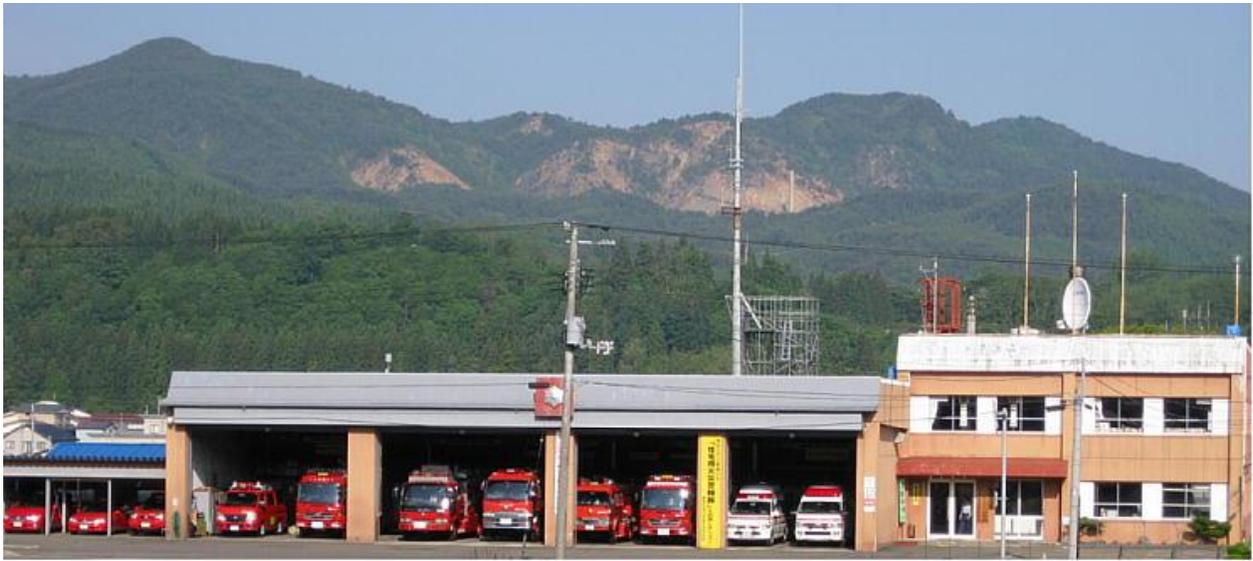
総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 庶務に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 組織及び運営に関すること。</li> <li>イ 消防事務の企画総務調整に関すること。</li> <li>ウ 庁舎及び消防車両の集中管理に関すること。</li> <li>エ 消防本部の庶務に関すること。</li> </ul> </li> <li>(2) 消防職員の任命、昇任、昇格、賞罰その他身分に関すること。</li> <li>(3) 表彰に関すること。</li> <li>(4) 条例規則に関すること。</li> <li>(5) 行事及び会議に関すること。</li> <li>(6) 文書に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 公印の保管に関すること。</li> <li>イ 文書の收受、発送及び完結文書保存に関すること。</li> <li>ウ 図書及び消防資料の整理保存に関すること。</li> </ul> </li> <li>(7) 消防予算、決算及び経理に関すること。</li> <li>(8) 財産の取得及び処分に関すること。</li> <li>(9) 契約及び物品の調達に関すること。</li> <li>(10) 職員被服に関すること。</li> <li>(11) 消防職員の公務災害に関すること。</li> <li>(12) 消防職員委員会に関すること。</li> <li>(13) 消防職員の研修実施に関すること。</li> <li>(14) 消防職員の福利厚生に関すること。</li> <li>(15) 他の課に属さないこと。</li> </ul>
警防予防課	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 警防に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 火災警報の発令及び解除に関すること。</li> <li>イ 消防相互応援に関すること。</li> <li>ウ 警戒区域の設定に関すること。</li> <li>エ 消防職員の訓練等に関すること。</li> <li>オ 消防統計及び消防情報に関すること。</li> <li>カ 消防施設及び消防水利に関すること。</li> <li>キ 消防施設及び設備の整備計画に関すること。</li> <li>ク 救急に関すること。</li> <li>ケ 救助に関すること。</li> <li>コ 水防に関すること。</li> <li>サ 行方不明者捜索の相互連絡に関すること。</li> <li>シ 消防通信に関すること。</li> <li>ス 消防団の訓練等に関すること。</li> <li>セ 消防計画に関すること。</li> <li>ソ 緊急消防援助隊に関すること。</li> </ul> </li> <li>(2) 予防に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 防火推進団体の育成及び指導に関すること。</li> <li>イ 防火思想の普及、防火広報に関すること。</li> <li>ウ 火災損害調査及び火災原因に関すること。</li> <li>エ 防火管理者及び防火対象物の指導に関すること。</li> <li>オ 火災予防条例等の届出及び違反処理に関すること。</li> <li>カ 火災予防条例、規則等の制定改廃に関すること。</li> </ul> </li> <li>(3) 設備、危険物に関すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 建築同意事務に関すること。</li> <li>イ 消防用設備等及び消防設備士の指導等に関すること。</li> <li>ウ 危険物施設等の許認可に関すること。</li> <li>エ 危険物等に係る条例、規則等の制定改廃に関すること。</li> <li>オ 液化石油ガス等販売事業及び火薬庫設置に関すること。</li> <li>カ 液化石油ガス等の設備工事等の届出受理に関すること。</li> </ul> </li> <li>(4) その他警防予防課に関すること。</li> </ul>

## 消防署事務分掌

庶務	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 署の庶務に関する事。</li> <li>(2) 公印の保管に関する事。</li> <li>(3) 署員の服務規律に関する事。</li> <li>(4) 消防署の予算に関する事。</li> </ul>
警防	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 警防の実施計画に関する事。</li> <li>(2) 火災その他の災害の防御及び調査に関する事。</li> <li>(3) 署員の訓練実施等に関する事。</li> <li>(4) 非常警備に関する事。</li> <li>(5) 消防水利施設の調査及び保守管理に関する事。</li> <li>(6) 水防訓練実施に関する事。</li> <li>(7) 消防団員の訓練指導等に関する事。</li> </ul>
予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 予防査察及び予防広報に関する事。</li> <li>(2) 火災の原因調査に関する事。</li> <li>(3) 危険物に関する事。</li> <li>(4) 防火対象物の消防計画に関する事。</li> <li>(5) 鹿角広域行政組合火災予防条例に基づく届出及び指導に関する事。</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防機械器具の整備及び保守管理に関する事。</li> <li>(2) 消防機械器具の部品及び燃料等の調達、管理に関する事。</li> <li>(3) 機械器具操作技術の指導に関する事。</li> </ul>
救急	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急業務に関する事。</li> <li>(2) その他救急全般に関する事。</li> </ul>
救助	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救助及び行方不明者捜索業務に関する事。</li> <li>(2) 救助隊に関する事。</li> <li>(3) 救助の統計及び報告に関する事。</li> <li>(4) 緊急消防援助隊の編成、訓練及び出動に関する事。</li> </ul>
通信指令室	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防通信の確保及び統制に関する事。</li> <li>(2) 通信施設、機器の保全に関する事。</li> <li>(3) 気象情報、災害情報及び救急医療情報の収集並びに連絡に関する事。</li> <li>(4) 火災警報に関する事。</li> <li>(5) 消防通信の統計及び報告に関する事。</li> <li>(6) 消防通信技術の調査研究に関する事。</li> <li>(7) その他通信指令の分掌として適当とする事項に関する事。</li> </ul>

## 消防庁舎の概要

### 消防本部・署庁舎



所在地：鹿角市花輪字高井田64番地2

敷地面積：2,589.00㎡

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

延べ面積：1,023.74㎡

建築年月日：昭和49年 5月 8日

### 小坂分署庁舎



所在地：鹿角郡小坂町小坂字中前田68番地1

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

敷地面積：3,700.29㎡

延べ面積：935.57㎡

建築年月日：平成10年 2月28日

### 十和田分署庁舎



所在地：鹿角市十和田毛馬内字上陣場74番地1

建物構造：鉄筋コンクリート2階建

敷地面積：1,287.72㎡

延べ面積：363.89㎡

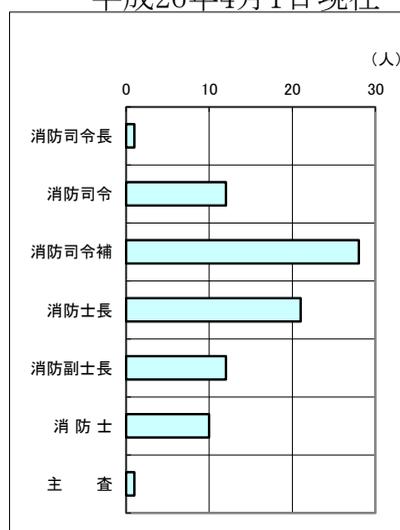
建築年月日：昭和50年 3月25日

昭和63年 3月31日増築

## 消防職員勤務年数表

平成26年4月1日現在

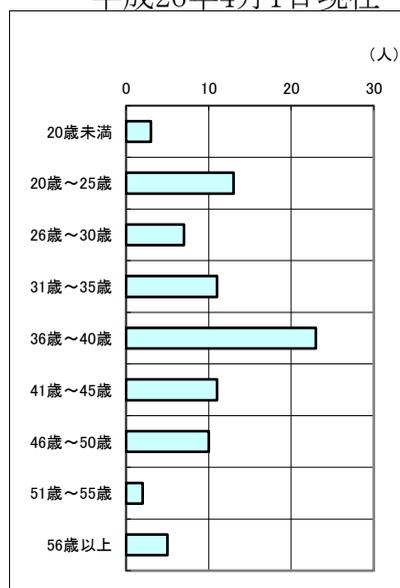
階級等 年数	計	消 防 吏 員						事務職員 主 査
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
1年未満	3							3
1年～5年	14					6		7
6年～10年	6					6		
11年～15年	9				9			
16年～20年	26		2	12	12			
21年～25年	15		2	13				
26年～30年	5		2	3				
31年以上	7	1	6					
計	85	1	12	28	21	12	10	1



## 消防職員階級別年齢表

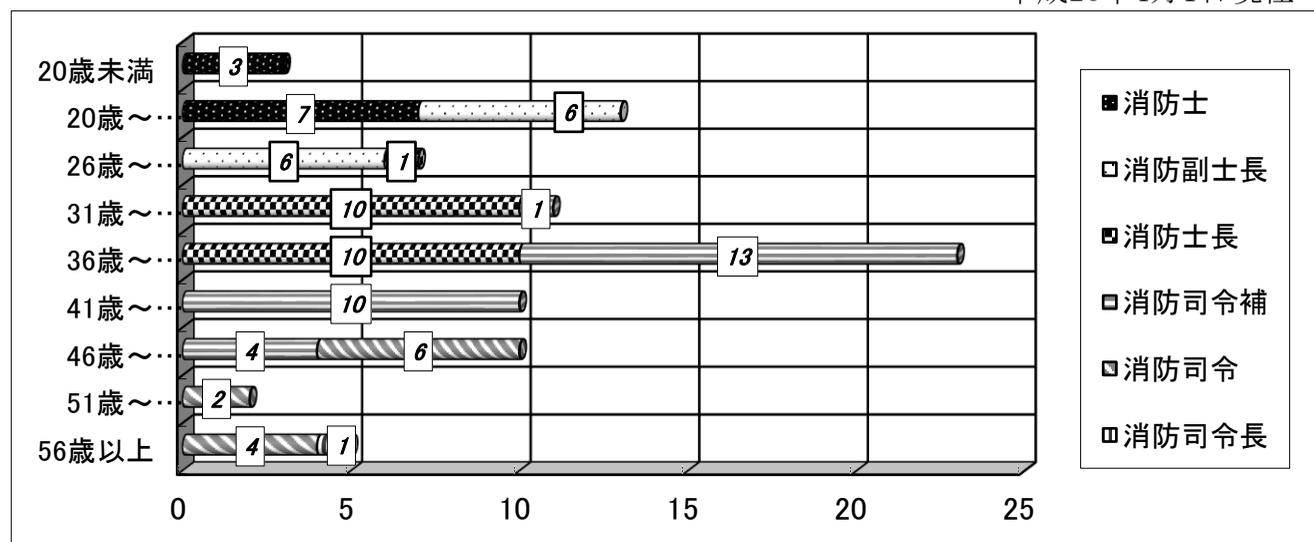
平成26年4月1日現在

階級等 年齢	計	消 防 吏 員						事務職員 主 査
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
20歳未満	3							3
20歳～25歳	13					6		7
26歳～30歳	7				1	6		
31歳～35歳	11			1	10			
36歳～40歳	23			13	10			
41歳～45歳	11			10				1
46歳～50歳	10		6	4				
51歳～55歳	2		2					
56歳以上	5	1	4					
計	85	1	12	28	21	12	10	1
平均年齢	40.25	59.2	55.4	43.2	34.6	25.1	21.7	42.6



## 消防吏員年齢別階級分布図

平成26年4月1日現在



## 消防費分類表

平成26年4月1日現在

(単位：千円)

款 項 目	節	当初予算	
		26年度	25年度
3 消防費		1,816,052	926,948
1 消防費		1,816,052	926,948
1 常備消防費		702,898	716,169
	1給料	286,903	286,173
	2職員手当等	263,103	273,278
	4共済費	93,567	97,497
	8報償費	48	8
	9旅費	2,666	4,008
	11需用費	24,832	22,968
	12役務費	5,681	6,180
	13委託料	5,949	5,785
	14使用料及び賃借料	5,009	4,243
	16原材料費	100	100
	18備品購入費	812	653
	19負担金、補助及び交付金	13,549	14,964
	27公課費	679	312
2 消防施設費		1,113,154	210,779
	9旅費	194	7
	12役務費	58	34
	13委託料	16,312	52,164
	14使用料及び賃借料	36	12
	15工事請負費	1,096,434	158,260
	16原材料費	0	0
	18備品購入費	120	0
	22補償、補てん及び賠償金	0	302
	27公課費	0	0

# 消防職員免許所持状況

平成26年4月1日現在

種 別	階級等	計	消 防 吏 員					事務職員	
			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員
自動車	大型特殊	11		4	5	1	1		
	けん引	4		1	2	1			
	大型一種	59	1	12	12	21	12	1	
	普通一種	84	1	12	27	22	12	9	1
	自動二輪	21	1	4	5	9	1	1	
整備	可搬ポンプ	4			3	1			
救急 関係	救急救命士	18		3	7	4	2	2	
	救急科(救急Ⅱ課程)資格	65	1	12	28	19	5		
救 助 関 係	移動式クレーン技能	67	1	12	25	21	8		
	玉掛技能	66	1	12	27	19	7		
	ガス溶接技能	64		11	27	21	4	1	
	高所作業主任者(足場組立)	17		2	10	5			
	有機溶剤作業主任者	54		6	27	17	4		
	特定化学物質作業主任者	51		6	25	17	3		
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	59		9	27	19	4		
	巻上げ機運転業務に係る特別講習	25		1	12	10	2		
	チェーンソー取扱技能	25		4	9	8	4		
潜水士	6			3	2	1			
予 防 関 係	予防技術資格者	防火査察	15	1	3	9	2		
		消防用設備等	6	1	4	1			
		危険物	10	1	3	4	2		
	消防設備士甲種	2			1	1			
	消防設備士乙種	15		3	4	6	2		
	危険物取扱者甲種	2			1	1			
危険物取扱者乙種4類	76	1	11	26	21	10	7		
通信 関係	第1級陸上特殊無線技士	1			1				
	第2級陸上特殊無線技士	74		6	27	21	12	8	
	アマチュア無線技士	20		5	12		3		
そ の 他	大型車両系建設機械の運転業務	1		1					
	小型車両系建設機械の運転業務	5		1	4				
	防災士	5	1	3	1				
	電気取扱業務に係る特別教育(低圧)	13		1	9	3			
	高所作業車取扱技能	3		1	2				
	衛生管理者	2		1	1				
	ボイラー技士・取扱技能	6		1	5				
アーク溶接技能	52	1	8	23	17	3			

## 消防職員学校教育派遣状況

平成25年度

年度別 教育課程		平成	19						
		19	20	21	22	23	24	25	年度
		年度	～						
									25
									年度計
秋田県消防学校	初任教育	3	3	2	3	3	3	3	20
	専科								
	警防科	1	1	1	1	1	1	1	7
	予防査察科		1		1		1		3
	火災調査科	1	1	1	1	1	1	1	7
	救急科	2	2	2	3	3	3	3	18
	救助科	1	1	1	1	1	1	1	7
	危険物科	1		1		1		1	4
	特殊災害科		1	1	1	1	1	1	6
	幹部教育		1	1	1	1	1	1	6
	幹部教育								
	中級幹部科								0
	上級幹部科								0
	特別								
	消防操法指導員講習	2	2	2	2	2	2	2	14
	救急特別講習		1		1		1		3
	気管挿管追加講習	1							1
	ビデオ喉頭鏡追加講習							5	5
	薬剤投与追加講習		1	1	3	3			8
	追加処置認定講習							4	4
校育									
新任消防長研修								0	
消防大学校救助科						1		1	
救急救命東京研修所 救急救命士教育	1		1		1		1	4	
合計	13	15	14	18	18	16	24	118	

### 秋田県消防学校

	期 間	実施時間	派遣数	備 考
初任教育	平成25年 4月10日～ 9月20日	800	3	第 67 期
消防操法指導員講習	平成25年 5月 8日～ 5月 9日	12	2	
幹部教育	平成25年 8月 1日～ 8月 9日	49	1	第 8 期
救助科	平成25年10月 2日～ 11月 1日	151	1	第 22 期
特殊災害科	平成25年10月 9日～ 10月18日	49	1	第 6 期
火災調査科	平成25年10月21日～ 11月 1日	70	1	第 45 期
ビデオ喉頭鏡追加講習	平成25年11月 5日～ 11月 6日	11	5	第 2 期
警防科	平成25年11月 11日～ 11月22日	70	1	第 40 期
危険物科	平成25年12月 2日～ 12月 6日	70	1	第 15 期
救急科	平成26年 1月 8日～ 2月28日	250	3	第 22 期
追加処置認定講習	平成26年 3月20、25、26日	24	4	第 1 期

# 施設



平成21年11月鹿角市消防団第2分団第1部（下川原）の器具置場を新築移転し、多目的消防拠点施設として水防資材を備え、手引きポンプ、腕用ポンプを展示しました。

## 消防車両等一覧表

平成26年4月1日現在

消 防 本 部	名称	指揮車	
	購入年月	平成19年10月	
	車名	日産キャラバン	
	出力	130ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯、ルーフキャリア	
	駆動方式	四輪駆動	
消 防 本 部	名称	本部広報車	
	購入年月	平成12年9月	
	車名	日産プレサージュ	
	出力	150ps	
	気筒数	4	
	装備	照明灯	
	駆動方式	四輪駆動	
消 防 本 部	名称	消防団広報車	
	購入年月	平成15年3月	
	車名	日産ブルーバードシルフィー	
	出力	120ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	二輪駆動	
	備考	日本消防協会寄贈	
消 防 署	名称	資機材搬送車	
	購入年月	平成24年12月	
	車名	いすゞエルフ	
	出力	110ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	ウイングボディー、マルチゲート	
	ぎ装	いすゞ車体、北村製作所、新明和工業	
	対空表示	秋田鹿角搬送	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
消 防 署	名称	広報車	
	購入年月	平成16年6月	
	車名	日産エクストレイル	
	出力	150ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

消	名称	水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成4年12月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	195ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000リットル 放水銃 照明灯、三連梯子自動昇降装置	
ポンプ	日本機械工業株式会社		
防	名称	ポンプ1号車	
	購入年月	平成17年1月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	パワーゲート、照明灯 積載水900リットル	
ポンプ	日本機械工業株式会社		
対空表示	鹿角ポ1		
防	名称	ポンプ2号車	
	購入年月	昭和61年12月	
	車名	三菱キャンター	
	出力	110ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	パワーゲート	
ポンプ	日本機械工業株式会社		
署	名称	救助工作車	
	購入年月	平成15年2月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	照明、クレーン、ウインチ、噴霧装置	
ぎ装	日本機械工業株式会社		
対空表示	秋田R 4		
その他	緊急消防援助隊登録車両		
署	名称	化学車	
	購入年月	平成20年2月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	220ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水1,500リットル 薬剤A30リットル 薬剤B500リットル	
ポンプ	日本機械工業株式会社		
対空表示	秋田化2		
その他	緊急消防援助隊登録車両		

消 防	名称	救急1号車	
	購入年月	平成20年2月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	対空表示	秋田A15	
その他	緊急消防援助隊登録車両		
署	名称	救急2号車	
	購入年月	平成23年3月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	その他	全国共済農業協同組合連合会寄贈	
十 和 田	名称	十和田水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成13年9月	
	車名	いすゞフォワード	
	出力	225ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000ℓ 三連梯子自動昇降装置 照明灯	
	ポンプ	日本機械工業株式会社	
田 分 署	名称	十和田救急車	
	購入年月	平成19年1月	
	車名	トヨタハイメディック	
	出力	151ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	高規格仕様	
	対空表示	秋田A12	
名称	十和田広報車		
購入年月	平成20年7月		
車名	三菱デリカ		
出力	170ps		
気筒数	4		
駆動方式	四輪駆動		

小 坂 分 署	名称	小坂水槽付ポンプ自動車	
	購入年月	平成23年2月	
	車名	日野レンジャー	
	出力	220ps	
	気筒数	6	
	駆動方式	四輪駆動	
	装備	積載水2,000ℓ 薬剤A20ℓ	
	ポンプ	株式会社モリタ製造	
	対空表示	秋田Tかづの	
	その他	緊急消防援助隊登録車両	
分 署	名称	小坂救急車	
	購入年月	平成13年10月	
	車名	日産パラメディック	
	出力	125ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	
署	名称	小坂広報車	
	購入年月	平成21年7月	
	車名	三菱デリカ	
	出力	170ps	
	気筒数	4	
	駆動方式	四輪駆動	

### 消防車両の使用経過年数状況

		配備年	平成26年4月 現在経過年数	1 年未 満	1 年以 上	2 年以 上	3 年以 上	4 年以 上	5 年以 上	7 年以 上	10 年以 上	15 年以 上	20 年以 上
本 部	指揮車	平成19年10月	6年 6月						1				
	本部広報車	平成12年9月	13年 7月								1		
	消防団広報車	平成15年3月	11年 11月								1		
消 防 署	資機材搬送車	平成24年12月	1年 4月	1									
	広報車	平成16年6月	9年 10月							1			
	水槽付きポンプ自動車	平成4年12月	21年 4月									1	
	ポンプ1号車	平成17年1月	9年 3月							1			
	ポンプ2号車	昭和61年12月	27年 3月										1
	救助工作車	平成15年2月	11年 2月								1		
	化学車	平成20年2月	6年 2月						1				
	救急1号車	平成20年2月	6年 2月						1				
	救急2号車	平成23年3月	3年 1月			1							
十 和 田 分 署	水槽付きポンプ自動車	平成13年9月	12年 7月								1		
	救急車	平成19年1月	7年 3月						1				
	広報車	平成20年7月	5年 9月					1					
小 坂 分 署	水槽付きポンプ自動車	平成23年2月	3年 2月			1							
	救急車	平成13年10月	12年 5月								1		
	広報車	平成21年7月	4年 9月				1						
鹿角広域行政組合消防本部保有消防車両総数			18台	1台	0台	2台	1台	1台	4台	2台	5台	1台	1台

## 消防水利状況

平成26年4月1日 現在

水利区分  管轄別	消火栓			防火水槽				指定外 水利
	布設管径			有蓋		無蓋		
	150mm	150mm		40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	40m <sup>3</sup>	プール
	以上	未満	(基準)	以上	未満	以上	未満	
<b>消防署小計</b>	<b>160</b>	<b>229</b>	<b>(163)</b>	<b>167</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>13</b>
花 輪	71	98	(85)	67	2	2		7
尾 去 沢	61	86	(54)	21	10			2
八 幡 平	28	45	(24)	79	2	8	3	4
<b>十和田分署小計</b>	<b>73</b>	<b>129</b>	<b>(47)</b>	<b>71</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>
毛 馬 内	41	59	(29)	15				5
大 湯	19	46	(8)	31				2
錦 木	13	24	(10)	25	2			1
<b>小坂分署小計</b>	<b>49</b>	<b>75</b>	<b>(33)</b>	<b>51</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3</b>
上向・十和田湖	4	14	(6)	8	1			
中 央	18	31	(15)	21				1
川 上	15	15	(1)	6				1
七 滝	12	15	(11)	16				1
<b>合 計</b>	<b>282</b>	<b>433</b>	<b>(243)</b>	<b>289</b>	<b>17</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>24</b>

※消防水利の基準(消防法第20条第1項)

消防水利は、常時貯水量が40m<sup>3</sup>以上又は取水可能水量が毎分1m<sup>3</sup>以上で、かつ、連続40分以上の給水能力を有するものでなければならない。

消火栓は、呼称65の口径を有するもので、直径150mm以上の管に取り付けられていなければならない。ただし、管網の一辺が180m以下となるように配管されている場合は75mm以上とすることができる。

## 水防倉庫所在地一覧

平成26年4月1日 現在

地区名	河川名	水防倉庫名	建築年月日	設置場所
花輪	米代川	鹿角市	平成11年3月18日	鹿角市花輪字新田町1番地4
	米代川	下川原	平成21年11月20日	鹿角市花輪字下川原3番地4
十和田	大湯川	十和田	昭和36年1月23日	鹿角市十和田毛馬内字上陣場9番地5
小坂	小坂川	小坂	平成22年2月12日	鹿角郡小坂町小坂字中前田6番地3

## 水防倉庫資材状況

平成26年4月1日 現在

品名	倉庫名		単位	鹿角市	下川原	十和田	小坂	計
	倉庫名	倉庫名						
土	囊	袋		1100	115	306	199	1,720
麻	袋	枚		80	220	56		356
ビニール	袋	枚						0
PPクランプ	袋	枚						0
PE土囊	袋	枚		1,750	450	356	3,407	5,963
むし	ろ	枚				40		40
玉	縄	丸		72	50	22	28	172
掛	矢	丁		5	3	1	9	18
角スコップ		丁					35	35
剣スコップ		丁		45	9	57	53	164
鈍	線	kg		100	70	100	30	300
鉋	鎌	丁		2		3	2	7
竹		本		21	50	22	69	162
長木	4m	本		6	16	50	24	96
長木	3m	本		23	40	8		71
長木	2m	本		12	22	18		52
杭	木	本		6		2	13	21
ロ	一	本		5		3	12	20
	鋸	丁		1	1	2		4
	鉋	丁		6		2	6	14
	斧	丁		2	1	1	3	7
絶縁ペンチ		本		1	1	1		3
S B パイル		本		366	32	265	176	839
ビニールシート		枚		18	30	14	10	72
もっこ		枚			7			7
唐		丁		7		13	18	38
つるはし		丁				1	36	37
一輪車		台					6	6
防火用具	袋	袋		2				2
道具	袋	袋		1	1	1		3
ハンドマイク		台		5				5

# 予 防



秋田県では、東日本大震災を受け、教育機関等における防災教育を支援し、より実戦的な防災知識の普及啓発を図るため、地震の揺れを体験できる「地震体験車」を導入しました。

地震体験車とは、様々な地震動をリアルに再現する装置を車輻に搭載し、いつでもどこでもたくさんの人に地震の実態や地震に対する備えなどを総合的に伝えることのできる車です。

鹿角市、小坂町でも各地のイベントや、自衛消防訓練等で多くの市民の方に体験してもらえるよう計画しております。

## 防火対象物及び立入検査状況（150㎡以上）

※立入検査を複数回実施して  
いる防火対象物があります

平成25年度

市 町 別 防火対象物の用途		防 火 対 象 物		立入検査実施数		違反対象物数	
		鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1	イ 劇場・映画館等	1					
	ロ 公会堂又は集会場	87	6	5		4	
2	イ キャバレー等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	4					
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店等	1					
	ロ 飲食店	28	2	1	1	1	1
4	百貨店又はマーケット等	80	7	17	4	13	4
5	イ 旅館・ホテル等	32	15	14	7	11	5
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	157	13	12	2	9	1
6	イ 病院・診療所等	19	2	18	2	7	
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）	19	6	14	3	4	1
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）	30	6	19	3	10	1
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	2		1		1	
7	学校関係	17	1	1	1	1	
8	図書館・博物館等	6	2	3	2	3	
9	イ 蒸気浴場・その他						
	ロ イ以外の公衆浴場	9					
10	車両停車場等	1		2		1	
11	神社・寺院等	33	3				
12	イ 工場・作業場	190	52	8	5	8	2
	ロ スタジオ			4		3	
13	イ 自動車車庫・駐車場	16	2				
	ロ 飛行機等の格納庫						
14	倉庫	146	25		1		1
15	前各項に該当しない事業所	143	63	15	2	12	2
16	イ 複合用途防火対象物	239	19	20	12	16	7
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	83	8	1	2	1	1
そ の 他		3	4		4		1
合 計		1,346	236	155	51	105	27

## 危険物製造所等の立入検査状況

平成25年度

区分 製造所の別		廃止		総施設数		立入検査実施数		違反施設数	
		鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
製造所				1					
貯蔵所	屋内			8	4		1		1
	屋外タンク			7	12		2		
	屋内タンク			3					
	地下タンク	1		96	22	27	9	4	6
	移動タンク	2		45	10	38	11	9	1
	屋外			1	1		1		
	簡易タンク				1		1		
取扱所	給油	営業		22	5	16	5	8	1
		自家	1		10		11		3
	一般	1	1	30	11	13	3	1	1
合計		5	1	223	66	105	33	25	10

## 消防法令等による許可申請等の状況

平成25年度

種別	件数
工事整備対象設備等着工届	27
消防用設備等設置届	69
消防用設備等検査済証	24
消防用設備等点検結果報告書	454
防火管理者選任届	66
防火管理者解任届	58
消防計画届	127
防火対象物使用開始届	67
自衛消防訓練通知書	338
火災とまぎらわしい行為届出	148
少量危険物貯蔵取扱届	42
り災証明	24

種別	件数	
危険物製造所等	設置許可申請	8
	設置許可指令	8
	変更許可申請	38
	変更許可指令	38
	設置完成検査申請	6
	設置完成検査済証	6
	変更完成検査申請	36
	変更完成検査済証	36
	譲渡引渡届	1
	廃止届	6
	仮使用承認	27
危険物保安監督者選任届	10	
危険物保安監督者解任届	7	
危険物種類数量変更届	4	
危険物仮貯蔵仮取扱承認	2	

## 建築同意状況

平成25年度

防火対象物の用途		鹿角市	小坂町	計
1	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂又は集会場	2	1	3
2	イ キャバレー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール			
	ハ 性風俗関連特殊営業店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
3	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店			
4	百貨店又はマーケット等	1	1	2
5	イ 旅館・ホテル等			
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	2		2
6	イ 病院・診療所等			
	ロ 福祉施設等（障害程度が重い）	2		2
	ハ 福祉施設等（障害程度が軽い）	6		6
	ニ 幼稚園・特別支援学校等			
7	学校関係			
8	図書館・博物館等		1	1
9	イ 蒸気浴場・その他			
	ロ イ以外の公衆浴場			
10	車両停車場等			
11	神社・寺院等			
12	イ 工場・作業場	5		5
	ロ スタジオ			
13	イ 自動車車庫・駐車場	2	2	4
	ロ 飛行機等の格納庫			
14	倉庫	4	2	6
15	前各項に該当しない事業所	15	7	22
16	イ 複合用途防火対象物	2		2
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	1	1	2
上記以外の住宅等建築物		40	5	45
合計		82	20	102

## 防火対象物定期点検報告制度状況

平成25年度

防火対象物の用途		市 町 別	対 象 物		点検基準適合数		特例認定数	
			鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町	鹿角市	小坂町
1 項	イ	劇場・映画館等	1		1			
	ロ	公会堂・集会場	5		2			
2 項	ロ	遊技場・ダンスホール	2				1	
3 項	ロ	飲食店						
4 項		百貨店・マーケット等	8	1	2		5	
5 項	イ	旅館・ホテル等	9	2	3	1	5	1
6 項	イ	病院・診療所等	3				2	
16 項	イ	複合用途防火対象物	12	3	2			
17 項		重要文化財等						
合 計			40	6	10	1	13	1

## 甲種防火管理者再講習受講状況

(人)

年 次	平成18年度～平成23年度	平成24年度	平成25年度	計
受講者数	52	9	7	68

※ 平成18年4月1日から収容人員が300人以上の特定防火対象物の防火管理者は5年ごとの再講習が義務付けられました。

## 住宅用火災警報器設置調査状況

市町村別	総世帯数	設置世帯数	設置率(%)
			平成26年4月1日時点
鹿角市	12,916	10,284	79.6%
小坂町	2,416	1,941	80.3%
合計	15,332	12,225	79.7%

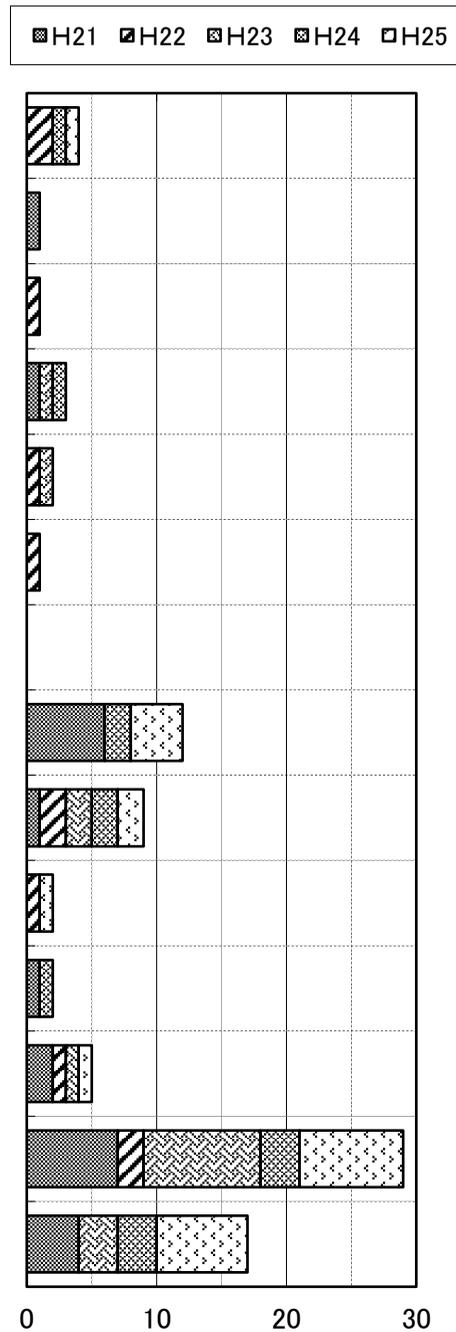
推計普及率	鹿角広域	秋田県	全国
平成25年6月時点	75.3%	78.9%	79.8%

※推計普及率は総務省消防庁発表

## 過去5年間の火災原因

(件)

	H21	H22	H23	H24	H25
たばこ		2		1	1
たき火	1				
火あそび		1			
コンロ	1		1	1	
ボイラー		1	1		
こたつ		1			
風呂・かまど					
屑焼き不始末等	6			2	4
ストーブ	1	2	2	2	2
煙突・煙道		1			1
電気配線	1			1	
放火・放火疑い	2	1	1		1
その他	7	2	9	3	8
不明・調査中	4		3	3	7
合計	23	11	17	13	24



## 月別火災状況

平成25年

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前 年	前 年 比	
		件数	1	0	1	2	4	5	1	3	1	0	2	4			24
火災種別 (件)	建物	1				1		1	3			2	4	12	11	1	
	林野				2	3	2							7	1	6	
	車両			1			3			1				5	1	4	
	その他													0	0	0	
覚知別 (件)	119	1			1	4	3		1	1		1	4	16	9	7	
	加入電話				1				2			1		4	4	0	
	その他			1			2	1						4	0	4	
出動人員 (人)	職員	18		10	48	123	102		68	5		62	105	541	289	252	
	団員	68			16	177	27		418			150	196	1,052	739	313	
放水ポンプ (台)	自動車	3			3	11	7		5	1		8	8	46	34	12	
	小型	2			1		3		13			5	7	31	35	-4	
焼損棟数 (棟)	住宅	全焼					1						2	3	3	0	
		半焼												0	2	-2	
		部分焼											1		1	2	-1
		ぼや												1	1	1	0
	非住家	全焼	1						1	1				1	4	5	-1
		半焼								1			1		2	0	2
		部分焼	1							3				3	7	2	5
		ぼや					1								1	1	0
り災世帯 (世帯)	全損					1							2	3	4	-1	
	半損													0	2	-2	
	小損											1	1	2	4	-2	
り災人員(人)						2						2	8	12	29	-17	
焼損面積	建築物 (㎡)	82				151		21	1,294			600	617	2,765	1,286	1,479	
	表面積 (㎡)	6				1			5				35	47	51	-4	
	林野 (a)				5	1,200	123							1,328	11	1,317	
	車両 (台)			1			3				1			5	2	3	
死者(人)							1						1	2	1	1	
負傷者(人)		1							1			1		3	2	1	
損害見積額 (千円)	建物	878				1,976		22	33,475			35,923	10,228	82,502	33,047	49,455	
	収容物	499				804		173	12,320			6,438	1,483	21,717	6,817	14,900	
	その他			20			2,826	2		250				3,098	582	2,516	
	合計	1,377	0	20	0	2,780	2,826	197	45,795	250	0	42,361	11,711	107,317	40,446	66,871	

## 幼少年婦人防火クラブ加入団体

平成26年4月1日現在

No.	少年消防クラブ	会員数(人)
1	湯瀬少年消防クラブ	17
2	茜町少年消防クラブ	17
3	館子供会	21
4	下モ平子供会	32
5	花輪北小学校	154
6	小枝指子供会	18
7	花輪小学校	460
8	松館子供会	23
9	松山子供会	14
10	西道口子供会	30
11	石鳥谷子供会	13
12	甚兵エ川原子供会	3
13	神田子供会	13
14	用野目子供会	33
15	谷内子供会	31
16	長牛・桃枝子供会	7
17	上台子供会	17
18	沢尻子供会	6
19	林崎・檜内子供会	9
20	古川子供会	16
21	上山・水晶山子供会	17
22	小割沢子供会	0
23	夏井子供会	19
24	長嶺子供会	31
25	新田町3区子供会	15
26	舟場3区子供会	8
27	下川原子供会	25
28	長野子供会	6
29	市街地子供会	16
30	土深井子供会	4
31	三の丸子供会	28
32	瀬田石子供会	10
33	新田・砂派子供会	2
34	二本柳子供会	1
35	東町子供会	37
36	冠田・曲谷地子供会	14
合 計		1,167

No.	幼年消防クラブ	会員数(人)
1	花輪にこにこ保育園幼年消防クラブ	98
2	柴内保育園幼年消防クラブ	19
3	平元保育園幼年消防クラブ	8
4	毛馬内保育園幼年消防クラブ	91
5	錦木保育園幼年消防クラブ	45
6	尾去沢保育園幼年消防クラブ	41
7	わかば保育園	37
8	大湯保育園幼年消防クラブ	51
9	花輪さくら保育園幼年消防クラブ	156
10	八幡平なかよしセンター幼年消防クラブ	67
合 計		613

No.	婦人防火クラブ	会員数(人)
1	館婦人防火クラブ	12
2	湯瀬婦人防火クラブ	11
3	小枝指婦人防火クラブ	13
4	松館婦人防火クラブ	7
5	下モ平婦人防火クラブ	15
6	蟹沢婦人防火クラブ	26
合 計		84

鹿角市幼少年婦人防火クラブ	
加入団体	52
会員数(人)	1,864

## 活動状況

平成25年度

事業名	場 所	実施日	内 容
鹿角市幼少年婦人防火委員会会議	消防本部	6月26日	委員9名出席
第65回秋田県消防協会鹿角支部消防訓練大会	鹿角市役所駐車場	7月7日	受付等の協力参加
平成25年度秋田県婦人防火クラブ連絡協議会	秋田県庁	8月1日	役員会に出席
平成25年度秋田県婦人防火研修会	秋田県庁	10月25日	婦人防火クラブ2団体6名が参加
秋の火災予防週間防火PR	毛馬内定期市場	11月7日	毛馬内幼少年消防クラブによる火災予防PR
消防出初め式	花輪市街地	1月4日	婦人防火クラブ2団体9名が参加
鹿角市婦人防火クラブ交流会	ホテル茅如荘	2月28日	幼少年婦人防火クラブ10名参加

# 救 急



## DMA Tと鹿角広域行政組合消防署救急隊員との訓練風景

平成24年8月30日、秋田県総合防災訓練で、かつの厚生病医院と鹿角広域行政組合消防署との災害拠点病院受入訓練を実施しました。

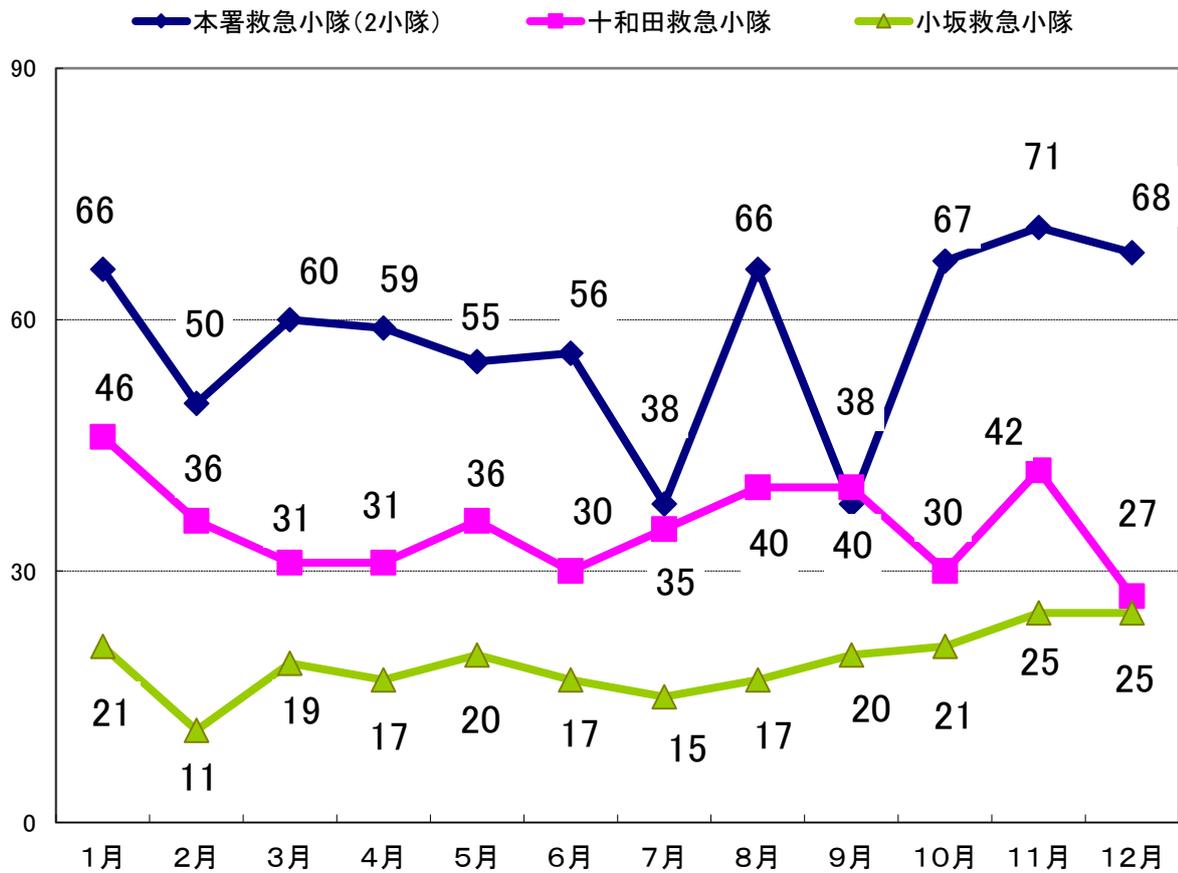
※DMAT(災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team)とは、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

## 救急出動状況

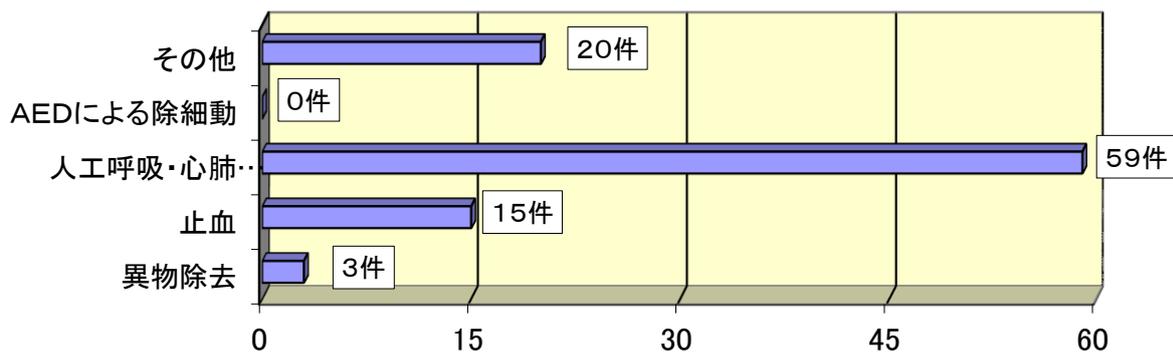
平成25年

救急出動件数	1,346件
搬送人員	1,245人
不搬送件数	121件
一日平均出動件数	3.7件
平均現場到着時間	9.3分

## 救急小隊別出動内訳



## バイスタンダーによる応急手当・救命処置数



# 月 別 救 急 活 動 状 況 調

(単位：件・人)

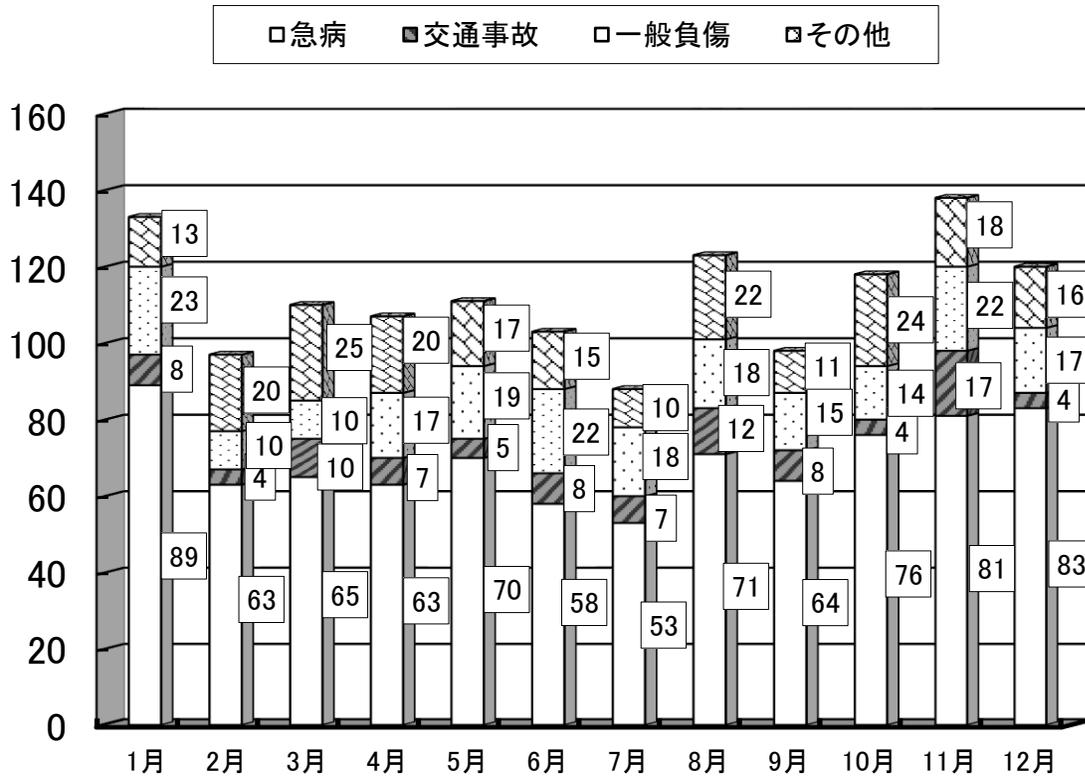
【平成25年 鹿角広域消防本部全救急隊】

月別	種別 区分	合計	救 急 事 故 種 別													
			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
1月	出動件数	133	1			8	2		23		2	89	7			1
	不搬送件数	11	1			1					1	7				1
	搬送人員	123				8	2		23		1	82	7			
2月	出動件数	97				4	2	5	10		1	63	12			
	不搬送件数	7				1					1	5				
	搬送人員	90				3	2	5	10			58	12			
3月	出動件数	110	1			10	1		10		1	65	19			3
	不搬送件数	12	1			3					1	4				3
	搬送人員	99				8	1		10			61	19			
4月	出動件数	107			1	7	2		17		4	63	12			1
	不搬送件数	17				2			3		2	9				1
	搬送人員	92			1	7	2		14		2	54	12			
5月	出動件数	111	1		2	5			19	1	1	70	11			1
	不搬送件数	10	1		2	2			1		1	2				1
	搬送人員	103				5			18	1		68	11			
6月	出動件数	103	1			8	3		22		1	58	8			2
	不搬送件数	14	1			3			2			6				2
	搬送人員	94				9	3		21		1	52	8			
7月	出動件数	88				7		1	18		2	53	7			
	不搬送件数	6				1					1	4				
	搬送人員	82				6		1	18		1	49	7			
8月	出動件数	123	1			12	1	2	18		3	71	14			1
	不搬送件数	9	1								1	6				1
	搬送人員	116				13	1	3	18		2	65	14			
9月	出動件数	98				8	2	1	15		1	64	7			
	不搬送件数	7						1			1	5				
	搬送人員	92				8	2	1	15			59	7			
10月	出動件数	118	1		1	4	1		14	1	1	76	19			
	不搬送件数	7	1								1	5				
	搬送人員	113			1	6	1		14	1		71	19			
11月	出動件数	138	1			17	1		22		1	81	12			3
	不搬送件数	13	1			3			1			5				3
	搬送人員	129				18	1		21		1	76	12			
12月	出動件数	120	3			4			17			83	13			
	不搬送件数	8	3			1						4				
	搬送人員	112				3			17			79	13			
計	出動件数	1,346	10	0	4	94	15	9	205	2	18	836	141	0	0	12
	不搬送件数	121	10	0	2	17	1	0	7	0	10	62	0	0	0	12
	搬送人員	1,245	0	0	2	94	15	10	199	2	8	774	141	0	0	0

## 月別事故種別救急出動状況調

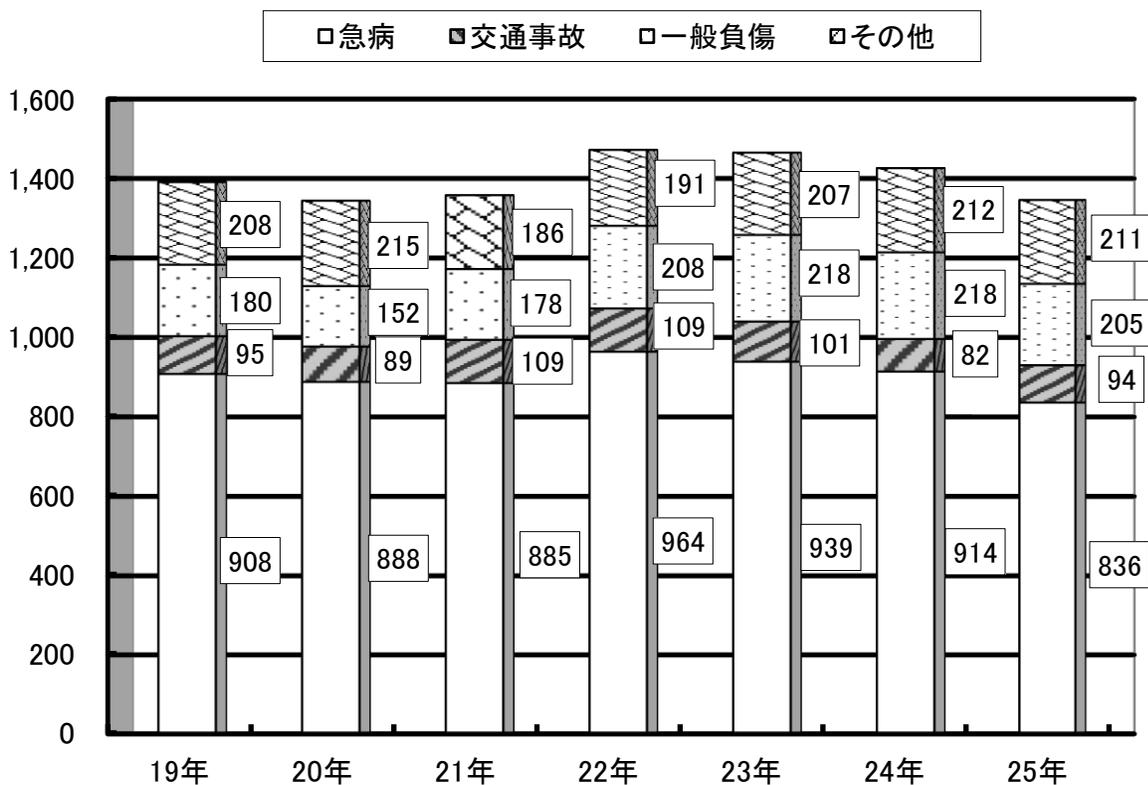
(単位：件)

平成25年



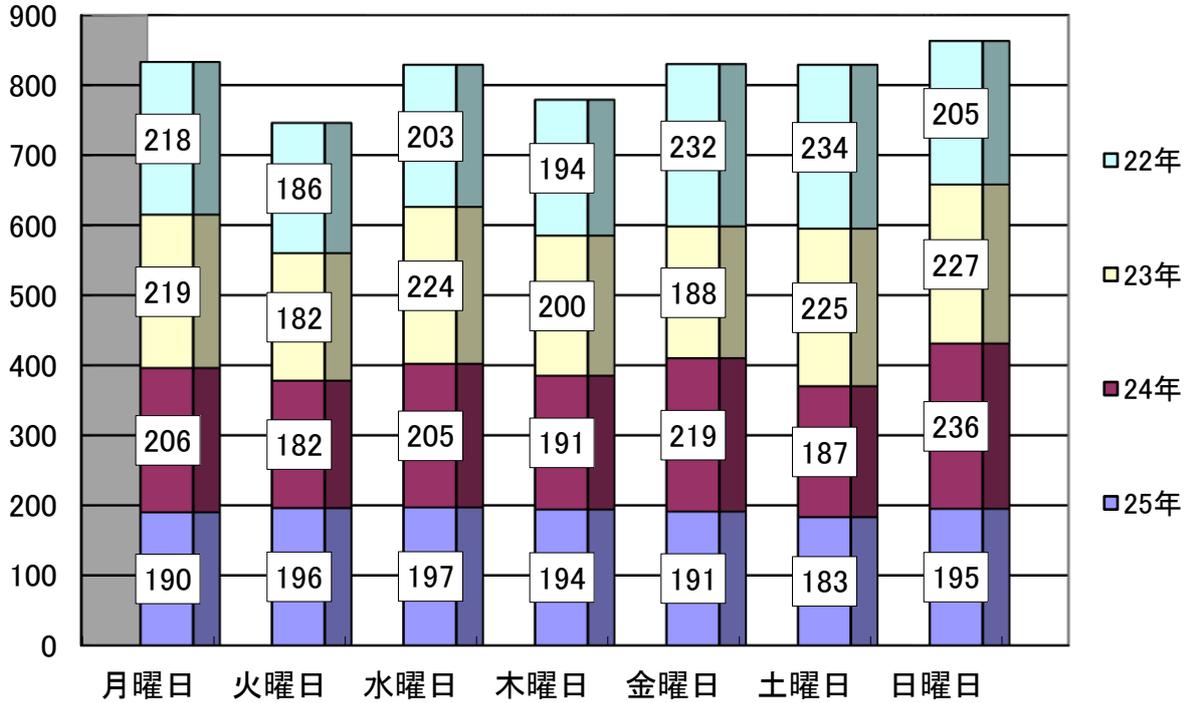
## 事故種別救急出動件数の推移（過去7年間）

(単位：件)



## 年別・曜日別出動状況(出動件数)

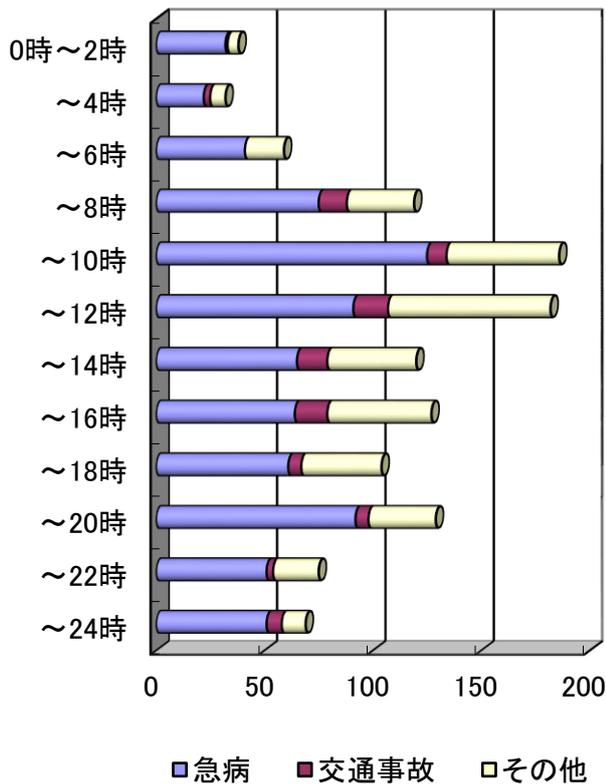
(単位：件)



## 事故種別・時間別・傷病者搬送状況(搬送人員)

(単位：人)

平成25年

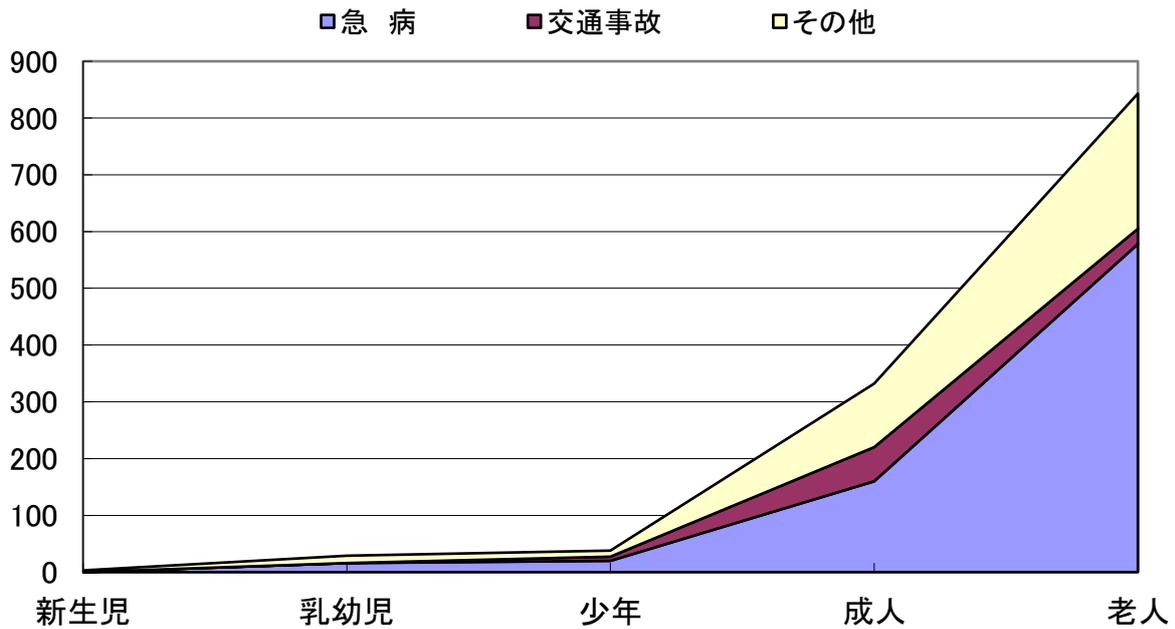


	急病	交通事故	その他
0時～2時	32	2	5
～4時	22	3	7
～6時	41	0	18
～8時	75	13	31
～10時	125	9	52
～12時	91	16	75
～14時	65	14	41
～16時	64	15	48
～18時	61	6	37
～20時	92	6	31
～22時	51	3	21
～24時	55	7	11
合計	774	94	377

## 事故種別・年齢別・傷病者搬送状況（搬送人員）

（単位：人）

平成25年

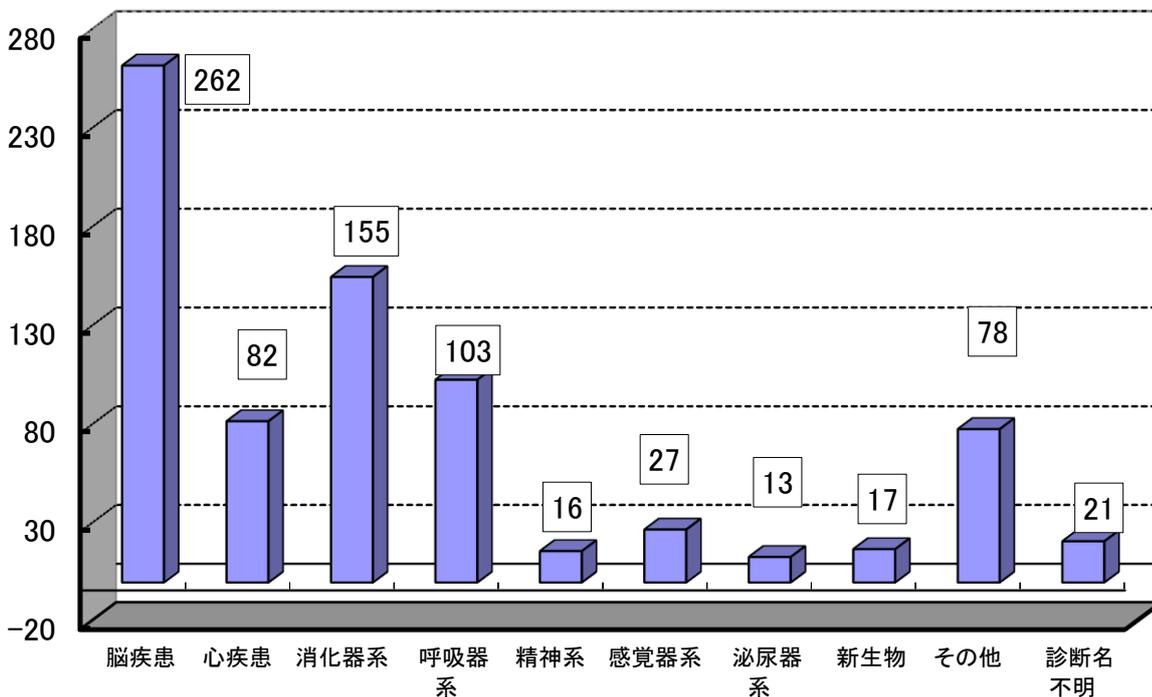


	新生児 0～28日未満	乳幼児 28日～7歳未満	少年 7～18歳未満	成人 18～65歳未満	老人 65歳以上
急病	0	16	20	160	578
交通事故	0	0	7	60	27
その他	3	13	11	112	238
合計	3	29	38	332	843

## 急病にかかわる疾病別搬送人員調べ（搬送人員）

（単位：人）

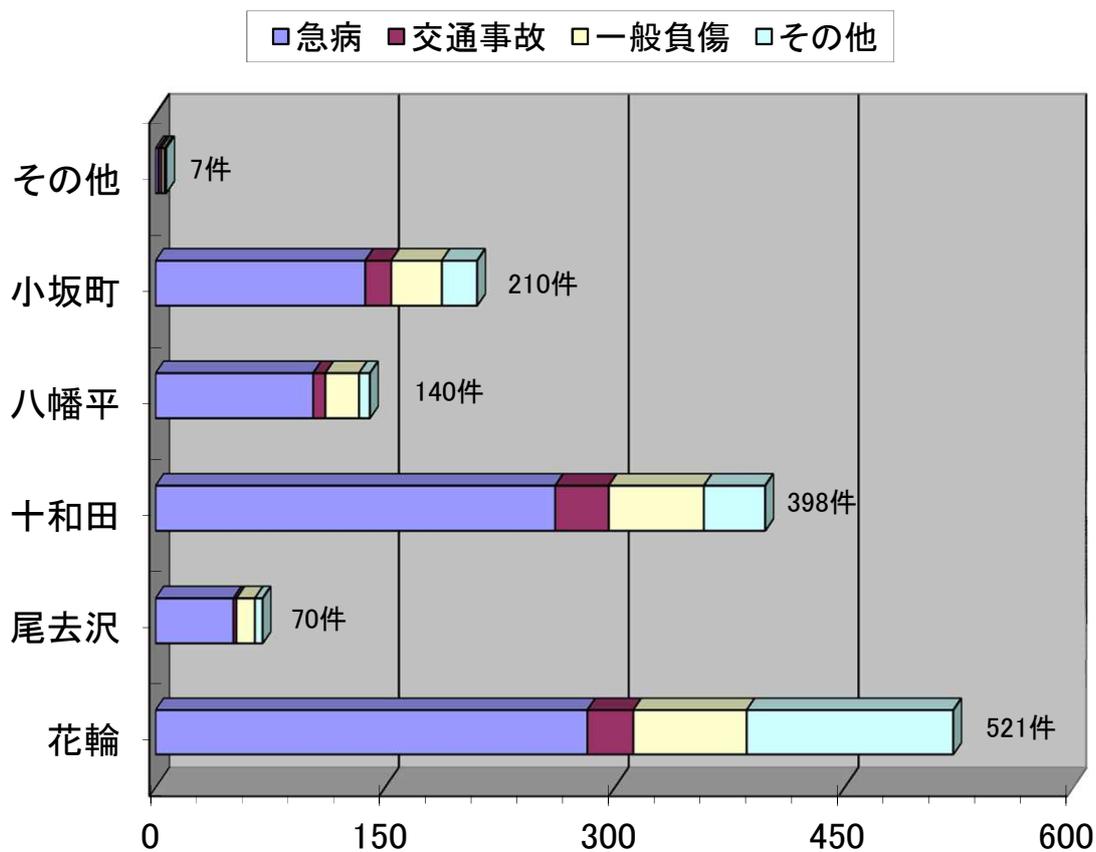
平成25年



## 事故種別・地域別出動状況（出動件数）

（単位：件）

平成25年



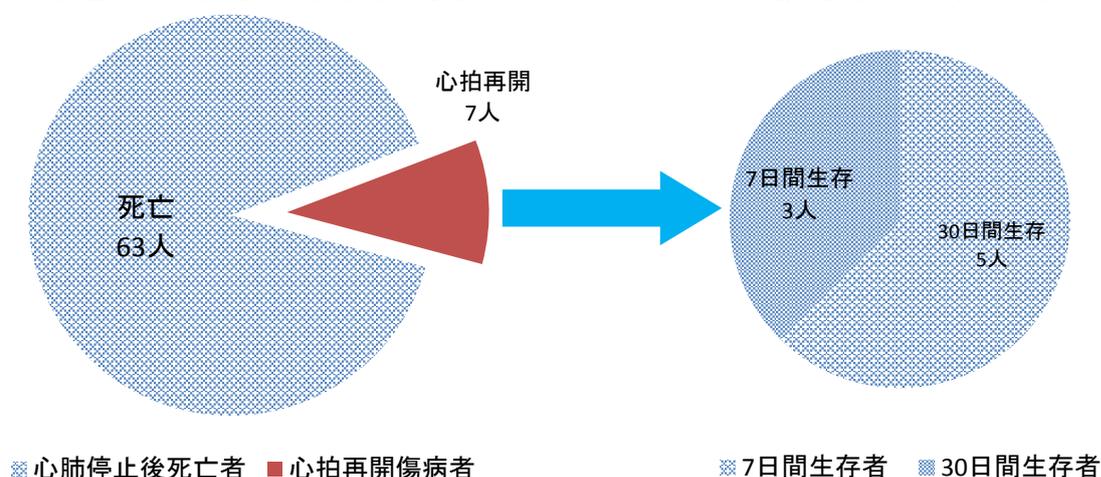
種別 地域	合計	救急事故種別													
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資機材搬送	その他
花輪	521	3	0	1	30	4	8	74	2	7	282	104	0	0	6
尾去沢	70	2	0	1	2	0	0	12	0	0	51	0	0	0	2
十和田	398	1	0	1	35	5	1	62	0	9	261	19	0	0	4
八幡平	140	2	0	0	8	4	0	22	0	1	103	0	0	0	0
小坂町	210	2	0	0	17	2	0	33	0	1	137	18	0	0	0
その他	7	0	0	1	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
計	1,346	10	0	4	94	15	9	205	2	18	836	141	0	0	12

## 救 急 蘇 生 指 標

	平成23年	平成24年	平成25年
救 急 搬 送 人 員	1,372 人	1,311 人	1,245 人
搬送人員のうち心肺停止傷病者	59 人 ( 4.3% )	66 人 ( 5.0% )	70 人 ( 5.6% )
心肺停止傷病者のうち心拍再開傷病者	9 人 ( 15.3% )	6 人 ( 9.1% )	7 人 ( 10.0% )
心肺停止傷病者のうち7日間生存者	4 人 ( 6.8% )	0 人 ( 0.0% )	5 人 ( 7.1% )
心肺停止傷病者のうち30日間生存者	4 人 ( 7% )	2 人 ( 3% )	3 人 ( 4.3% )

搬送した心肺停止傷病者の予後

心拍再開傷病者の内訳



## 特 定 行 為 実 施 件 数

(%) は心肺停止傷病者に対して救急救命士が行った特定行為実施率

	平成23年	平成24年	平成25年
心肺停止傷病者	59人	66人	70人
器具を使用した気道確保	20件 (34%)	13件 (20%)	18件 (26%)
(内) 気管挿管	1件 (2%)	2件 (3%)	3件 (4%)
末梢静脈路確保	39件 (66%)	26件 (39%)	36件 (51%)
薬剤投与	1件 (2%)	9件 (14%)	10件 (14%)
電氣的除細動	7件 (12%)	7件 (11%)	5件 (7%)

## 救急救命士による救命処置領域件数

( ) は各科搬送件数

	平成23年	平成24年	平成25年
小児科領域の処置	0 件 ( 97 )	3 件 ( 40 )	1 件 ( 37 )
産婦人科領域の処置	0 件 ( 9 )	0 件 ( 3 )	0 件 ( 17 )
精神科領域の処置	0 件 ( 19 )	14 件 ( 18 )	0 件 ( 13 )

## ドクターヘリ要請事案件数調べ

( ) はドクターヘリによる搬送件数

	平成23年	平成24年	平成25年
急 病	－ 件 ( )	0 件 ( 0 )	0 件 ( 0 )
交通事故	－ 件 ( )	3 件 ( 2 )	1 件 ( 0 )
一般負傷	－ 件 ( )	2 件 ( 1 )	2 件 ( 2 )
労働災害	－ 件 ( )	1 件 ( 0 )	0 件 ( 0 )

## 各 種 実 習 ・ 研 修 等

	平成23年	平成24年	平成25年
救急救命東京研修所 入校	1 名	0 名	1 名
救急救命士就業前病院実習	1 名	1 名	1 名
気管挿管病院実習	1 名	1 名	1 名
救急隊員病院実習	3 名	3 名	3 名

## 救急に関する各種教育プログラムの職員受講状況

平成26年4月現在

名 称	概 要	実施機関	職員受講人数
B L S	一次救命処置	日本 A C L S 協会 日本循環器学会 日本蘇生協議会	29 人
B L S インストラクターコース	BLSインストラクター養成	アメリカ心臓協会 日本蘇生協議会	2 人
J P T E C	病院前外傷救護	日本救急医学会	16 人
I T L S	病院前外傷救護	ITLSJAPAN	3 人
I C L S	二次救命処置基礎	日本救急医学会	1 人
P S L S	脳卒中病院前救護	日本臨床救急医学会	30 人
M C L S	多数傷病者への医療対応ト レーニングコース	日本集団災害医学会	1 人
B D L S	標準災害教育コース	N D L S グローバルト レーニングセンター日本事務局	3 人
E D L S	災害実践教育研修	救急災害研修機構	1 人

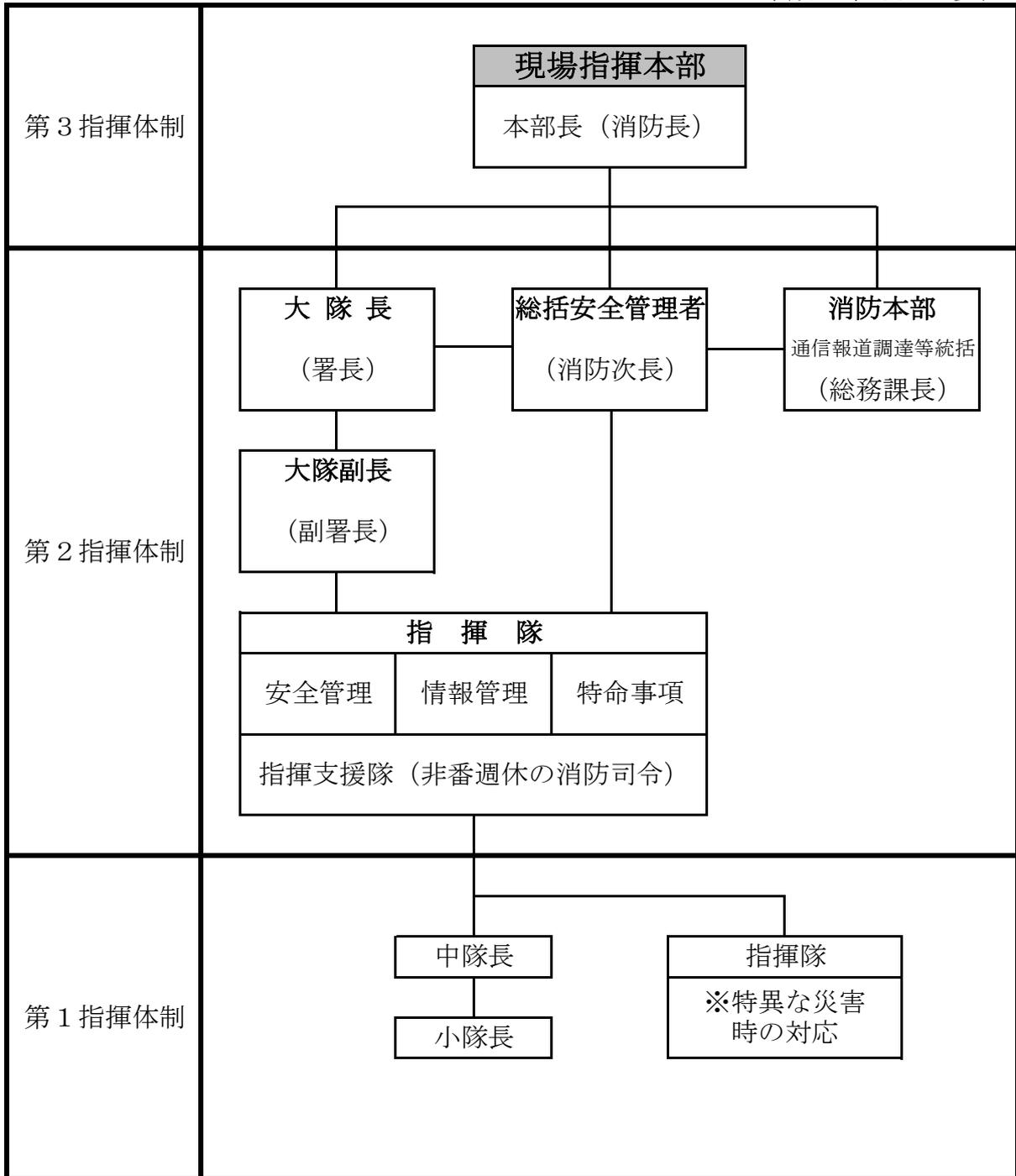
# 警防・救助



平成25年10月7日に、「秋田県消防防災航空隊・鹿角広域行政組合消防本部合同訓練」が実施されました。この訓練は秋田県消防防災航空隊と鹿角広域行政組合消防本部が連携し、安全且つ迅速な災害活動を行うために必要な知識と技術を習得し、安全運航への認識を深め密接な連携を確立することを目的としています。

# 安全管理及び指揮体制

平成26年4月1日現在



第1 指揮体制：通常の救急救助事案や警戒事案など、2 個小隊以上が出場する場合は中隊長の指揮とする。

第2 指揮体制：火災事案や2 個中隊以上の救急救助事案などの場合は、大隊長（署長）の指揮とする。

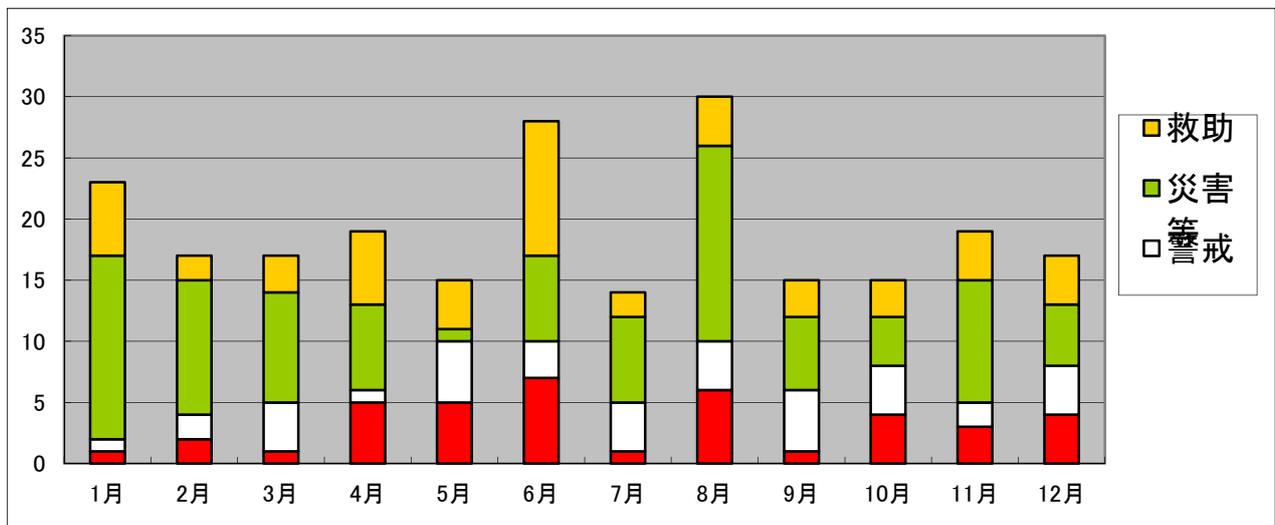
第3 指揮体制：特異火災事案および大規模な救急救助事案などの場合は、本部長（消防長）の指揮とする。

# 警防活動状況

平成25年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災 出動 件数	建 物	1	2		2	2	1	1	5		3	2	4	23
	林 野				2	3	3							8
	車 両			1			3			1				5
	その他				1				1		1	1		4
警 戒	危険物流出		2	4		3		3	2	2	2	1	4	23
	ヘリコプター 離着陸警戒					1	3		2	3	1			10
	偵 察	1			1	1		1			1	1		6
災 害 等	水 害	1	6											7
	台 風									1				1
	雪 害	10	4	1										15
	その他	4	1	8	7	1	7	7	16	5	4	10	5	75
救 助	火 災												1	1
	交通事故	5	1	2	3	2	2	2		1	2	4	2	26
	水難事故				1	2			1		1			5
	自然災害								3	1				4
	機械による事故						1							1
	捜 索							7						7
	その他	1	1	1	2		1			1			1	8
合 計		23	17	17	19	15	28	14	30	15	15	19	17	229

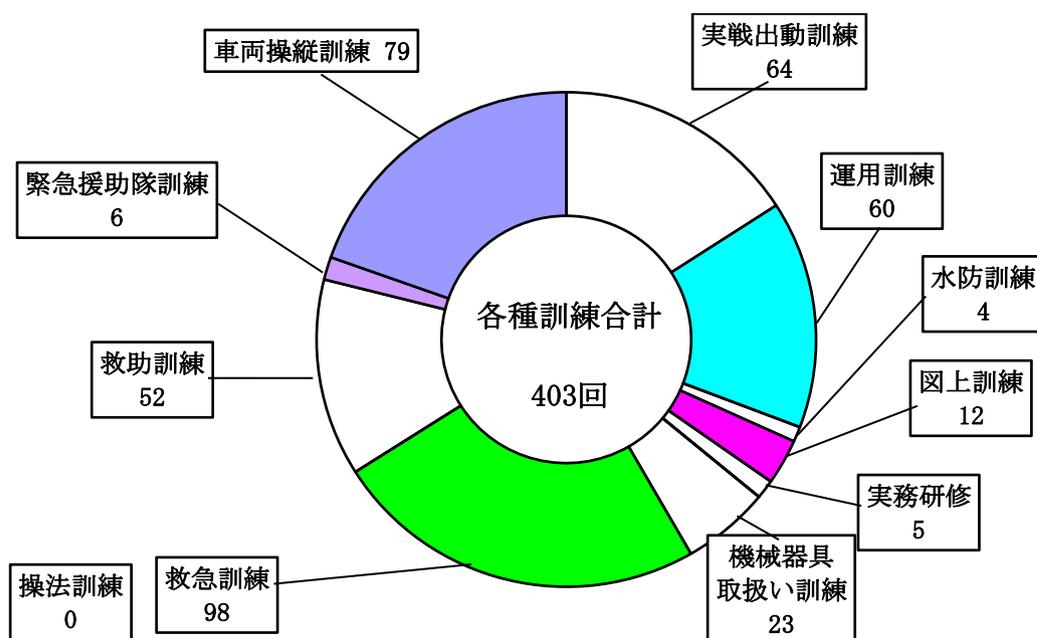
※ 上記の火災出動件数は火災統計上の件数とは一致しません。



## 各種訓練状況

平成25年

種 別	回 数 ( 回 )
実 戦 出 動 訓 練	64
運 用 訓 練	60
水 防 訓 練	4
図 上 訓 練	12
実 務 研 修	5
操 法 訓 練	0
機 械 器 具 取 扱 い 訓 練	23
救 急 訓 練	98
救 助 訓 練	52
緊 急 援 助 隊 訓 練	6
車 両 操 縦 訓 練	79
合 計	403



- 実戦出動訓練とは、火災を想定した実戦的な訓練です。
- 運用訓練とは、車両等の操作・構造・性能を熟知するための訓練です。
- 水防訓練とは、水災害に対処するための技術訓練です。
- 図上訓練とは、作戦・計画を考え現場を想定した訓練です。
- 操法訓練とは、基本動作を主とした規律・技術訓練です。
- 機械器具取扱い訓練とは、現場で使用する資機材を熟知する訓練です。
- 救急訓練とは、救急現場で必要とする知識・手技の向上訓練です。
- 救助訓練とは、救助資機材を使用した救助隊の訓練及び消防救助技術大会へ向けての訓練です。
- 緊急援助隊訓練とは、大規模災害等を想定した総合的な訓練です。
- 車両操縦訓練とは、機関員養成及び運転技術向上のための訓練です。

## 救助体制

平成26年4月1日現在

隊数		合計	専任救助隊数	兼任救助隊数			
	省令第3条救助隊	1	0	1			
隊員数		合計	救助科修了者		消防長認定者		
	兼任救助隊員数	29	8		21		
車数		合計	取得年月日	型式	メーカー	原動機の種類	取得方法
	救助工作車数	1	平成15年2月5日	II型	日本機械工業	ディーゼル	国庫補助

## 救助器具保有状況

平成26年4月1日現在

分類	名 称	消防本部	消防署	救助隊			十和田分署	小坂分署	省令別表第1の必要個数	省令別表第2の必要個数
				救助隊	救助隊	救助隊				
一般救助器具	かぎ付はしご	3	1	1		1		1		
	三連はしご	6	3	1	1	1		1		
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤはしご	4	3		1					
	空気式救助マット	1		1				1		
	救命索発射銃	1		1				1		
	サバイバースリング又は救助用縛帯	5	1	2	1	1		1		
	平担架	1		1				1		
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	4		3	1	2		1		
	油圧スプレッダー	4		2	2			1		
	可搬ウィンチ	4	1	1	1	1		1		
	マンホール救助器具	1		1				1		
	マット型空気ジャッキ	3		3					1	
	大型油圧スプレッダー	5	1	2	1	1			1	
切断用器具	油圧切断機	3		2	1			1		
	エンジンカッター	3		1	1	1		1		
	ガス溶断器	2	1	1				1		
	チェーンソー	7	4	1	1	1		1		
	鉄線カッター	0						1		
	空気鋸	2	1		1				1	
	大型油圧切断機	6	1	3	1	1			1	
破壊用器具	空気切断機	1	1						1	
	万能斧	6	3	1	1	1		2		
	ハンマー	7	2	2	2	1		1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1		1				1		
	削岩機	1		1					1	
検知・測定用器具	ハンマドリル	2		2					1	
	可燃性ガス測定器	1		1				1		
	有毒ガス測定器	2		2				1		
	酸素濃度測定器	1		1				1		
	放射線測定器	7	7					1		

## 救助器具保有状況

平成26年4月1日現在

分類	名 称	消防本部	消防署	救助隊			省令別表第1の必要個数	省令別表第2の必要個数
				十和田分署	小坂分署			
呼吸保護用具	空気呼吸器	29	15	5	5	4	5	
	空気補充用ボンベ	2	2				1	
	防塵マスク	9	9					5
	送排風機	2	1	1				1
	防毒マスク	20	14		3	3	5	
隊員保護用具	耐電手袋	2		2			5	
	耐電衣	2		2				2
	耐電ズボン	2		2				2
	耐電長靴	2		2				2
	防塵メガネ	12	4	4	4		5	
	携帯警報器	17	13		4		5	
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	5	5				2	
	陽圧式化学防護服	5	5				5	
	耐熱服	4	4				2	
	個人線量計	16	16				2	
	特殊ヘルメット	2		2				2
除染用具	除染シャワー	1	1				1	
	除染剤散布器	2	2				2	
水難・山岳用具	救命胴衣	26	5	5	12	4	5	
	救命浮環	4		2	1	1	10	
	救命ボート	3	1	1	1		1	
	バスケット型担架	1		1			1	
その他の救助器具	投光器一式	9	4	1	2	2	1	
	携帯投光器	10	9	1			5	
	携帯拡声器	13	5	2	3	3	2	
	応急処置用セット	14	8	1	2	3	1	
	緩降器	1		1				1
	ロープ登降機	2		2				1
	発電機	12	6	1	2	3		1

## 救助隊の訓練状況

平成25年度

訓練種別	実施延回数		実施延人員		実施延時間
	回数	回	人数	名	時間
体力練成訓練	93	回	1,310	名	245.5 時間
ロープ基本・応用訓練	131	回	1,493	名	295.5 時間
検索・救助訓練	105	回	1,384	名	258.5 時間
各種救助器具取扱訓練	8	回	31	名	9.5 時間
各種救助事象想定訓練	11	回	40	名	14.5 時間
その他の訓練	13	回	108	名	17 時間

## 緊急消防援助隊 出動履歴

災害名	派遣先	派遣期間	派遣隊		隊数	人員	
平成20年(2008年) 岩手・宮城内陸地震	宮城県 (栗原市)	平成20年 6月14日 ～平成20年 6月18日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
					後方支援隊	1 隊	2 名
岩手県沿岸北部を 震源とする地震	岩手県 (活動無し)	平成20年 7月24日 ～平成20年 7月25日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
					後方支援隊	1 隊	2 名
平成23年(2011年) 東北地方太平洋沖地震 「東日本大震災」	岩手県 (宮古市)	平成23年 3月11日 ～平成23年 3月15日	秋田県隊 第1派遣	一次	救助隊	1 隊	5 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
		平成23年 3月12日 ～平成23年 3月15日		二次	消火隊	1 隊	4 名
		平成23年 3月15日 ～平成23年 3月19日		三次	救助隊	1 隊	5 名
					救急隊	1 隊	3 名
				後方支援隊	1 隊	2 名	
		平成23年 3月19日 ～平成23年 3月23日		四次	救助隊	1 隊	5 名
		救急隊	1 隊	3 名			
	平成23年 3月23日 ～平成23年 3月27日	五次	救急隊	1 隊	3 名		
		後方支援隊	1 隊	2 名			
平成23年 3月27日 ～平成23年 3月31日	六次	救急隊	1 隊	3 名			
	後方支援隊	1 隊	2 名				
平成23年 3月31日 ～平成23年 4月 4日	七次	救急隊	1 隊	3 名			
	後方支援隊	1 隊	2 名				
宮城県 (登米市)	平成23年 4月25日 ～平成23年 4月28日	秋田県隊 第2派遣	四次	救急隊	1 隊	3 名	
				後方支援隊	1 隊	2 名	
東日本大震災への派遣合計						17 隊	51 名

## 緊急消防援助隊 秋田県隊登録車両

平成26年4月1日現在

車両区分		所属	国庫補助	緊援隊登録年	対空表示	NBC登録	
消火隊	化学消防ポンプ	Ⅱ型	消防署	災害対応特殊化学 消防ポンプ自動車Ⅱ型	平成20年	秋田化2	—
	水槽付消防ポンプ車	Ⅱ型	小坂分署	災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車Ⅱ型	平成23年	秋田Pかづの	—
救助隊	救助工作車	Ⅱ型	消防署	救助工作車Ⅱ型	平成15年	秋田R4	—
救急隊	高規格救急車		消防署	災害対応特殊 救急自動車	平成20年	秋田A15	—
後方支援	その他の支援車両	資機材 搬送車	消防署	—	平成25年	秋田鹿角搬送	—

## 緊急消防援助隊 北海道東北ブロック合同訓練出動開催地

年度	開催地	訓練隊	訓練内容
平成12年	秋田県秋田市	消火隊	危険物火災対応訓練
平成18年	青森県八戸市	救助隊	多重衝突事故救出救護訓練
平成20年	秋田県大仙市	特殊災害支援隊 及び消火隊	野営訓練、特殊(BC)災害救出救護訓練 及び遠距離送水・延焼阻止線設定訓練
平成21年	山形県鶴岡市	救助隊	野営訓練及び多重損壊建物救出救護訓練
平成25年	北海道苫小牧市	救急隊	5階建物座屈救助・救急訓練

# 通 信

## ホームページ

Welcome To F.D.Kazuno's Home Page  
鹿角広域行政組合消防本部  
Kazuno Wide Area Service Union Fire Department

出動件数 火災 9件 救助 13件  
救急 439件 その他 32件

組織・業務 統計 消防年報 消防広報 キッズコーナー お問い合わせ  
消防団 お知らせ 災害情報 試験・講習会 Download Link

-防火標語：もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

New 本日の出動件数

春は空気が乾燥し火災の起こりやすい季節です。火の取り扱いに十分注意しましょう。	2014/05/07	現在、災害等は発生していません。
	2014/05/06	災害等は発生していません。
	2014/05/05	災害等は発生していません。
	2014/05/04	災害等は発生していません。
	2014/05/03	災害等は発生していません。

新着情報

- 2014/04/02 **山火事に注意しましょう** New!
- 2014/02/26 [平成25年の火災・救急統計をアップしました](#)
- 2014/02/11 [救急車の適正利用についてお願い](#)
- [ガソリン携行缶に注意](#)
- 2013/11/25 [「消防団120年・自治体消防65周年事業」の防火標語の選考結果のお知らせ](#)

以前、掲載していた情報は、下にある過去のTOPIXに掲載してあります。  
災害情報メール配信システムについては、[メール配信](#)からどうぞ。

eラーニング AED web講習  
携帯サイト  
Mobile site  
住宅警報器について  
AEDを使用した救命講習  
正しい119番通報  
子どもの救急  
消防防災博物館 www.bousaihaku.com  
総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency

## 災害情報メール配信

### 鹿角市・小坂町メール配信サービス

防災情報をはじめ、気象警報や火災事故・防犯・農林業・学校などに関する情報、市・町のイベント情報やお知らせ情報を配信します。

鹿角市・小坂町メール配信サービスの利用を希望される方は、登録が必要です。  
下記のメールアドレスへ空メールを送信して下さい。

鹿角市 e-kazuno@xpressmail.jp  
小坂町 e-kosaka@xpressmail.jp



鹿角市用QRコード



小坂町用QRコード

# 気象状況・極値

平成25年

観測地点 秋田県鹿角市花輪字高井田64番地2 鹿角広域行政組合消防署  
 緯度 北緯40度10分04秒  
 経度 東経140度47分20秒  
 標高 139.2m

## 〈気象状況〉

要素		月												年合計	年平均	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
気温 ℃	最高気温	25年	-0.3	0.6	5.8	11.9	19.6	26.4	26.7	28.8	24.5	18.0	9.4	3.8		14.6
		平年値	1.0	2.1	6.1	14.2	19.9	24.2	27.1	28.9	24.0	17.7	10.2	3.7		14.9
	最低気温	25年	-7.4	-6.9	-3.1	1.5	8.6	14.7	19.2	19.3	14.3	9.2	1.0	-2.1		5.7
		平年値	-6.3	-6.0	-3.3	2.3	8.0	13.5	17.7	19.0	13.8	6.6	1.0	-3.3		5.3
	平均気温	25年	-3.7	-3.1	1.1	6.6	13.6	20.0	22.5	23.7	19.0	13.1	4.8	0.6		9.9
		平年値	-2.6	-2.0	1.3	7.9	13.8	18.6	22.0	23.6	18.0	11.5	5.2	0.2		9.8
日照時間(時間)			72.7	94.5	133.0	167.2	188.4	253.2	116.3	197.0	157.0	102.6	81.4	71.8	1,635.1	136.3
降水量(mm)			91.0	85.5	118.5	107.0	51.0	74.5	282.0	233.5	249.5	197.5	186.5	80.6	1,757.1	146.4
降雪量(cm)			227	164	16	0	0	0	0	0	0	0	36	82	525	43.8
平均湿度(%)			95	93	84	83	84	84	94	90	90	87	83	82		87.4
平均風速(m/s)			1.6	2.1	2.4	2.4	2.0	1.6	0.9	1.4	1.2	1.2	1.5	1.4	19.7	1.6
最多風向			SW	S	S	SSW	S	S	S	S	S	NNE	S	S		
大気現象(日)		霜													0	
		雷			1		1		2	1					5	
		霧		1	1						1	5	6	4	18	
		雨		4	9	16	12	4	21	16	12	17	20	6	137	
		雹(ヒョウ)					1							1	2	
		雪	26	20	12	5							5	18	86	

○ 平年値は、気象庁の観測値に基づき、昭和55年から平成22年まで(30年間)の平均値です

○ 降雨日数は、0.5mm以上を観測した日数です

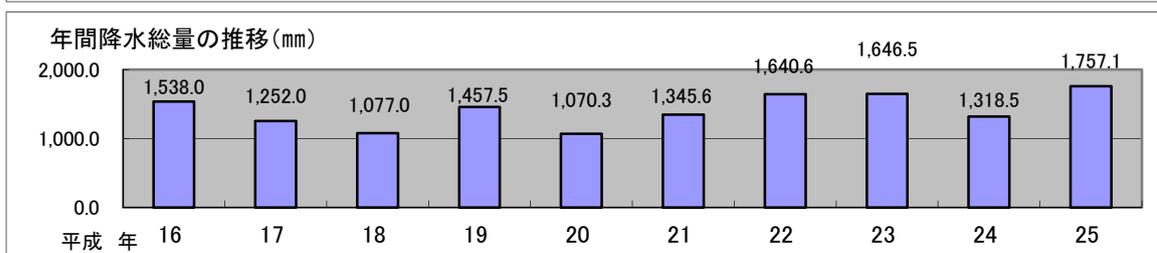
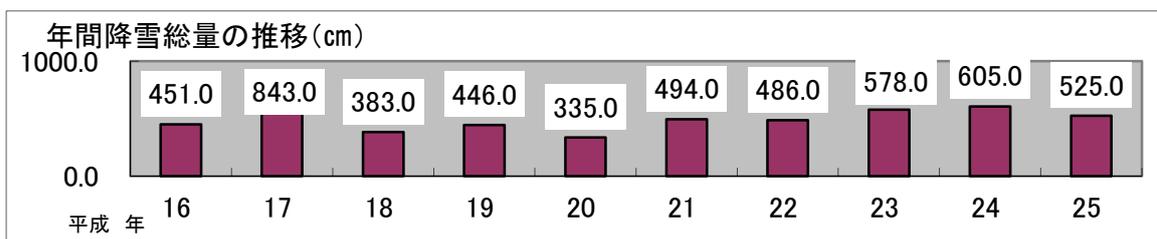
注\* 12月で除しております

## 〈極値〉

最高気温	6月13日	34.5℃
最低気温	2月25日	-12.5℃
最高気温30℃以上の日数(真夏日)		23日
最高気温が0℃未満の日数(真冬日)		34日
最低気温が0℃以下の日数(冬日)		128日
最低気温-10℃以下の日数		10日
最多降雨 1時間	8月9日 11時~12時	41.5 mm
最多降雨 24時間	8月9日	154.0 mm
最深降雪	1月26日	25.0 cm
最深積雪	2月22日	105.0 cm
最多日照日	6月12日	13.4 時間
不日照日	(年間日数)	42 日
最大日平均風速	3月2日 4月8日	4.5 m/s
最大瞬間風速	4月7日	27.8 m/s
最多風向	S	115 日

## 過去10年間の気象の推移

要素		平成 16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
年平均気温	平均気温	10.6	9.8	10.0	10.2	10.3	10.0	10.5	9.8	10.0	9.9
	最高気温	15.2	14.5	15.2	15.4	15.6	15.2	15.4	14.5	15.1	14.6
	最低気温	6.0	5.6	5.7	5.8	5.9	5.4	6.3	5.5	5.6	5.7
極気温	最高気温	35.5	34.8	36.5	37.4	33.5	34.6	34.7	34.4	35.1	34.5
	最低気温	-13.2	-11.6	-15.7	-9.3	-13.6	-14.7	-12.4	-15.6	-16.0	-12.5
平均湿度(%)		73.2	72.0	71.3	69.7	71.8	72.9	71.3	69.0	71.5	87.4
平均風速(m/s)		1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.7	1.6
総日照時間(h)		1,730.8	1,741.2	1,669.5	1,776.7	1,890.0	1,768.5	1,686.8	1,726.5	1,834.6	1,635.1
降水量(mm)	年総量	1,538.0	1,252.0	1,077.0	1,457.5	1,070.3	1,345.6	1,640.6	1,646.5	1,318.5	1,757.1
	一日最多	86.5	63.5	90.0	161.5	39.5	21.5	63.5	73.0	125.0	154.0
降雪量(cm)	年総量	451.0	843.0	383.0	446.0	335.0	494.0	486.0	578.0	605.0	525.0
	一日最多	30.0	40.0	24.0	30.0	40.0	32.0	35.0	25.0	30.0	25.0
	最深積雪量	70.0	100.0	100.0	55.0	45.0	67.0	82.0	105.0	86.0	105.0
降雪日数(日)		82	104	81	78	65	71	57	78	95	86
初雪(月日)		11月17日	11月16日	11月29日	11月16日	11月19日	11月2日	10月26日	11月16日	11月18日	11月11日
今冬根雪(月日)				H19.1.11	H19.12.3	H20.12.27	H21.12.7	H22.12.24	H23.12.16	H24.12.7	H25.12.12
雪消え日(根雪)				H18.3.19	H19.3.28	H20.3.14	H21.3.29	H22.3.30	H23.3.30	H24.4.10	H25.3.29



※ 各年、1月～12月の統計です

※ 降雪量の値は、寒候期(前年秋から当年春)の統計ではありません

## 気象観測開始(昭和35年10月1日)からの気象極値

- ・ 最も高い気温を観測したとき 平成12年7月31日 38.2 °C
- ・ 最も低い気温を観測したとき 昭和42年2月12日 -19.8 °C
- ・ 最も強い風が吹いたとき 平成16年9月8日 34.6 m/s
- ・ 1時間に最も多く雨が降ったとき 平成19年9月17日 42.0 mm
- ・ 1日(24時間)に最も多く雨が降ったとき 平成19年9月17日 161.5 mm (44年ぶり更新)
- ・ 1日(24時間)に最も多く雪が降ったとき 平成3年1月4日 53.0 cm
- ・ 最も多く雪が積もったとき 昭和49年2月12日 130.0 cm  
昭和49年2月14日 130.0 cm

## 119番・専用回線着信状況

期間：平成25年1月～12月

【単位：件】

種 別	件 数	うち携帯電話
火 災	39	23
救急・救助	962	206
その他災害	106	6
問い合わせ	89	37
いたずら	19	12
かけ違い	101	43
通報訓練	209	4
携帯電話119番転送	7	7
東北自動車道管制室	9	0
試 験	88	6
合 計	1,629	344

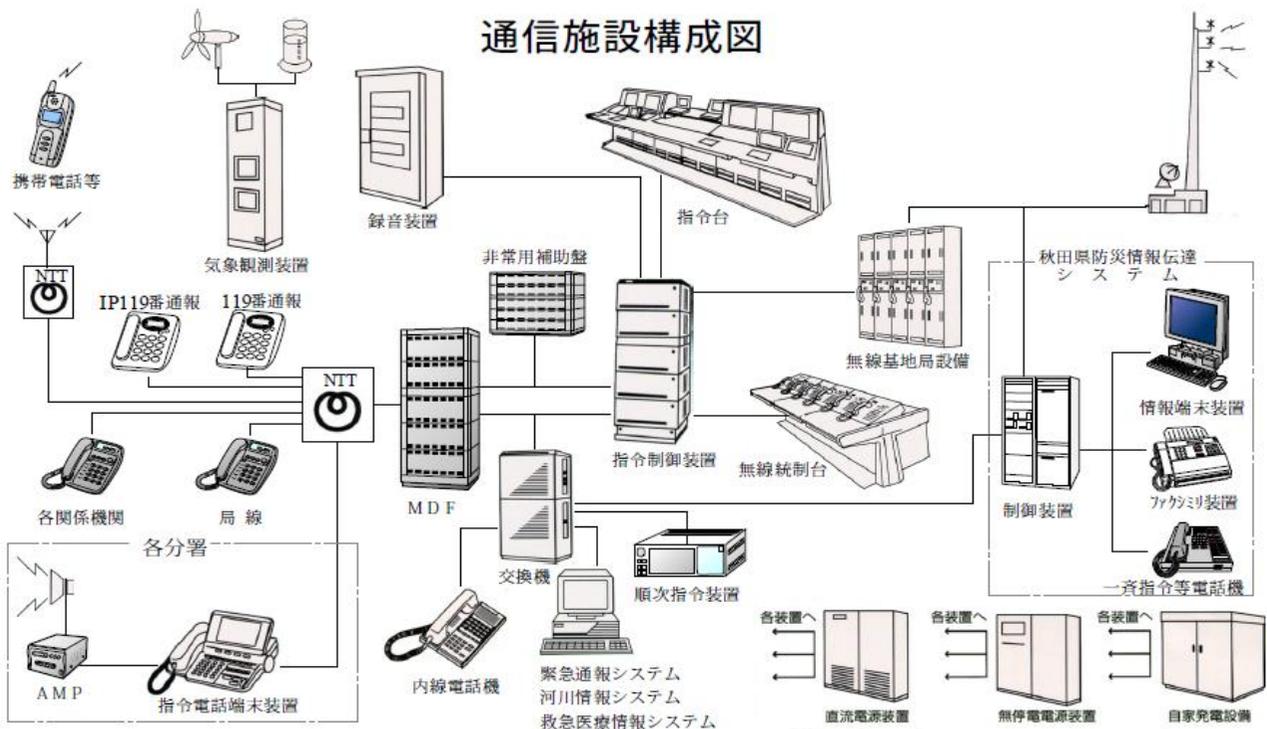
## 災害情報配信システム(メール配信)登録状況

平成26年4月1日現在

区 分		登録者(人)
消防職員		87
鹿 角 市 消 防 団	消防団本部	24
	花輪地区団	92
	尾去沢地区団	45
	八幡平地区団	168
	十和田地区団	154
小坂町消防団		85
官公庁(市、町、議員等)		347
一 般		5,529
合 計		6,531

現在のメール配信システムでの登録状況です。平成23年11月以前のメール配信システムの登録状況は反映されておりません。

# 消防緊急通信指令施設等の機器構成



主な装置名	型式/方式	機種	備考
指令装置 指令台 指揮台 指令制御装置 指令制御装置IPADP 非常用指令設備 長時間録音装置 署所端末装置 非常電源装置 順次指令装置 放送設備 無線受信装置	I型 複座式  アナログ制御 デジタル制御  ADA方式  オートダイヤル	NEFAST-1000EX    VR-700  ARS-702 TOA	1台   IPデジタルアダプター 1台 HDD内蔵 2分署 1台 1式 1式 2分署
無線統制台	ハンドセット		4波実装 (1CH~5CH、救急波実装)
携帯・IP位置情報システム	ビジネスパソコン		1式
非常電源装置	2.7kVA		エンジン式
気象観測装置		OKSAM-2000	1式
データメンテナンス装置	ビジネスパソコン		1式
有線設備 構内交換機	デジタル制御	APEX-3600i	1式
県総合防災システム			1式 (衛星)
救急医療システム			1式
事務用ファクシミリ			1式 各署所に設置
災害情報配信システム	ビジネスパソコン		1式
高齢者緊急通報システム	ビジネスパソコン		1式

## 無線機保有一覧

消防本部・消防署

平成26年4月1日現在

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備考
1	固定／基地局	鹿消本部	10W	第1装置
2	固定／基地局	鹿消本部	10W	第2装置
3	固定／基地局	鹿消本部	10W	第3装置
4	基地局	鹿消本部	10W	第4装置
5	移動局	鹿消指揮1	10W	指揮車第1装置
6	移動局	鹿消広報1	10W	広報車
7	移動局	鹿消本部広報1	10W	本部広報車
8	移動局	鹿消本部広報2	10W	消防団広報車
9	移動局	鹿消ポンプ1	10W	ポンプ1号車
10	移動局	鹿消ポンプ2	10W	ポンプ2号車
11	移動局	鹿消救急1	10W	救急1号車
12	移動局	鹿消救急2	10W	救急2号車
13	移動局	鹿消救助1	10W	救助工作車
14	移動局	鹿消化学1	10W	化学車
15	移動局	鹿消搬送1	10W	資器材搬送車
16	移動局	鹿消水槽1	10W	水槽車
17	移動局	鹿消17・18	10W	18は指揮車第2装置
18	移動局	鹿消10～16・19～28	5W	携帯無線

十和田分署

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備考
1	固定／基地局	鹿消十和田	10W	第1装置 CH切替式
2	固定／基地局	鹿消十和田	10W	第2装置 CH切替式
3	移動局	鹿消十和田救急1	10W	救急車
4	移動局	鹿消十和田ポンプ1	10W	ポンプ車
5	移動局	鹿消十和田広報1	10W	広報車
6	移動局	鹿消十和田10～16	5W	携帯無線

小坂分署

番号	無線局種別	識別信号	空中線電力	備考
1	固定／基地局	鹿消小坂	10W	第1装置 CH切替式
2	固定／基地局	鹿消小坂	10W	第2装置 CH切替式
3	基地局	鹿消北坂梨	10W	坂梨トシネ ネスコ管理
4	基地局	鹿消南坂梨	10W	坂梨トシネ ネスコ管理
5	移動局	鹿消小坂ポンプ1	10W	ポンプ車
6	移動局	鹿消小坂広報1	10W	広報車
7	移動局	鹿消小坂救急1	10W	救急車
8	移動局	鹿消小坂10～16・55	5W・1W	携帯無線 55は1W

# 消防団



## 鹿角市 (かづのし)

鹿角市の「かづの」を図案化したもので、融和団結、円満平和及び伸びゆく鹿角を表したものです。

市の花 ベニヤマザクラ  
市の木 ナナカマド  
市の鳥 声良鶏



## 小坂町 (こさかまち)

小坂町出身の故福田豊四郎画伯の案を図案化したもので、中央の星形は、小坂の「小」をイメージし、周辺の途切れたリングは、鹿角郡の「鹿角」の鹿の角を表した

町の花 アカシアの花  
町の木 ベニヤマザクラ  
町の魚 ヒメマス

## 消防団装備・階級別実員

《鹿角市消防団》

定数:892人

平成26年4月1日現在

区分 所属	地区	団 員									機 械			施 設			
		団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	機 能 別 団 員	計	消 防 ポン プ	自 動 車	小 型 動力 ポン プ	積 載 車	器 具 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔	ホ ー ス
消防団本部		1	4				※2		※14		21						
第1分団	花 輪			1	1	2	4	24			32	2			2	2	85
第2分団				1	1	2	5	34			43		5 (1)	3	5	5	171
第3分団				1	1	2	7	45			56	1	5	3	6	5	161
第4分団				1	1	2	6	42			52		6	5 (1)	6	6	167
第5分団	尾 去 沢			1	1	1	5	26			34	1	2		3	3	108
第6分団				1	1	2	6	26		5	41	1	3	1	4	4	129
第7分団	八 幡 平			1	1	2	9	53			66	1	5	2 (1)	5	4	212
第8分団				1	1	2	6	43			53		6	2	6	6	134
第9分団				1	1	2	8	45		2	59	2	2		4	3	158
第10分団				1	1	2	6	42		5	57		5	2	5	5	143
第11分団	十 和 田			1	1	2	8	46		3	61	1	6	1	7	7	198
第12分団				1	1	4	6	31	※1		44	1	4 (1)	4	4	4	149
第13分団				1	1	1	4	13			20		3	1	4	4	77
第14分団				1	1	3	7	24	※6	7	49	1	5	2	6	6	215
第15分団				1	1	3	5	26			36		5	3 (1)	5	5	133
第16分団				1	1	3	9	43		4	61	2	5	1	6	6	181
第17分団				1	1	3	7	25		5	42		7	3	7	7	141
合 計		1	4	17	17	38	110	588	※21	31	827	13	74 (2)	33 (3)	85	82	2,562

※女性団員数 ( )は全自動型 ( )は軽車両

《小坂町消防団》

定数:170人

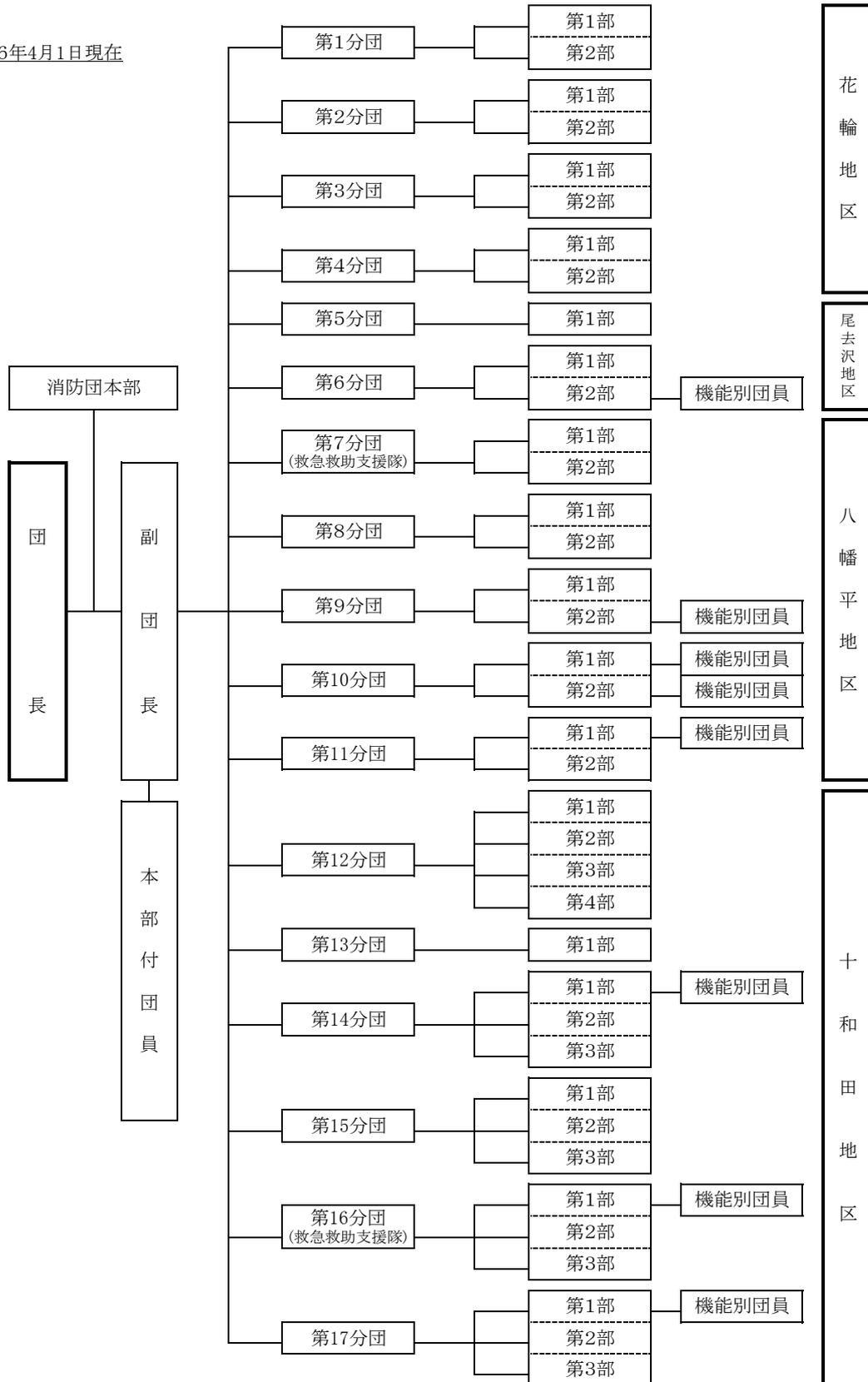
平成26年4月1日現在

区分 所属	団 員										機 械			施 設			
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 長	副 本 部 長	班 長	副 班 長	団 員	計	消 防 ポン プ	自 動 車	小 型 動力 ポン プ	積 載 車	器 具 置 場 数	ホ ー ス 乾 燥 塔	ホ ー ス
消防団本部	1	1			1	1	1			5							
第1分団			1	1			4	5	24	35		5	2 (2)	5	5	68	
第2分団			1	1			4	4	19	29	1	3	(2)	4	4	54	
第3分団			1	1			3	3	13	21	1			1	1	29	
第4分団			1	1			4	4	30	40	1	3	(3)	4	4	107	
第5分団			1	1			5	5	19	31		5	3 (2)	5	5	70	
合 計	1	1	5	5	1	1	21	21	105	161	3	16	5 (9)	19	19	328	
定 数	1	1	5	5	1	1	43		113	170	(人)					( )は軽車両	

# 鹿角市消防団組織図

◎ 組織図

平成26年4月1日現在



《救急救助支援隊》本市は広大な面積を有することから、消防署から遠距離で発生した救急及び救助を必要とする交通・災害事故等に対応するため、消防本部と消防団が連携を持ち、一体となって救急救助活動をするを目的としています。(八幡平坂比平から岩手県境、大湯中滝から青森県境)

《機能別団員》消防団員の活動を全て行うのではなく、活動を限定して一定の役割を行う団員を言います。

## 鹿角市消防団管轄区域

分団名	管 轄 区 域	地区
第1分団	市街地一円 東山 柏木森	花 輪
第2分団	鏡田 用野目 狐平 下川原 高屋 花軒田	
第3分団	小深田 乳牛 東町 西町 大曲 高市 鶴田 上台 長野	
第4分団	小平 新斗米 級ノ木 館 寺坂 小枝指 雁府	
第5分団	尾去 西道口 下モ平 蟹沢 新山 城山 上山 水晶山 下夕町	尾 去 沢
第6分団	山方 中央通り 松子沢 瓜畑 軽井沢 市街地 山神社 新堀市営住宅 上新田 中新田 下新田	
第7分団	谷内 永田 熊沢 水沢 深 坂比平 八幡平温泉郷	八 幡 平
第8分団	夏井 小割沢 林崎 檜内 長牛 桃枝	
第9分団	小豆沢 碓 湯瀬	
第10分団	大里 葛岡 玉内 松館 石鳥谷 黒沢	
第11分団	三ヶ田 長内 荒町 野尻 白欠 大久保 長嶺 川部 和田	十 和 田
第12分団	館 古町 下小路(上・中・下) 城ノ下 南 五軒町 横丁 萱町 陣場 上町 中町 下町 川原 高田 土ヶ久保 中野 蟹沢住宅 蟹沢 甚兵ヱ川原 山田 瀬田石 柏野	
第13分団	高清水 長者久保 上芦名沢 下芦名沢	
第14分団	室田 冠田 曲谷地 沢尻 錦丁 古川 浜田 下野添団地 根市戸 五軒屋 申ヶ野 神田	
第15分団	石野 松山 大欠 土深井	
第16分団	大清水 田代 戸倉 熊取平 大平 中滝 白沢 川上 箒畑 堀内 四ノ岱 四 ノ岱住宅 荒瀬 中岱 上ノ湯 新道 湯ノ岱 中田 上町 中町 丁内 下ノ湯 松原 川 原の湯 中川原 腰廻 関上 大川原	
第17分団	風張 宮野平 一本木 根市 二本柳 保田 中草木 下草木 新田 丸館	

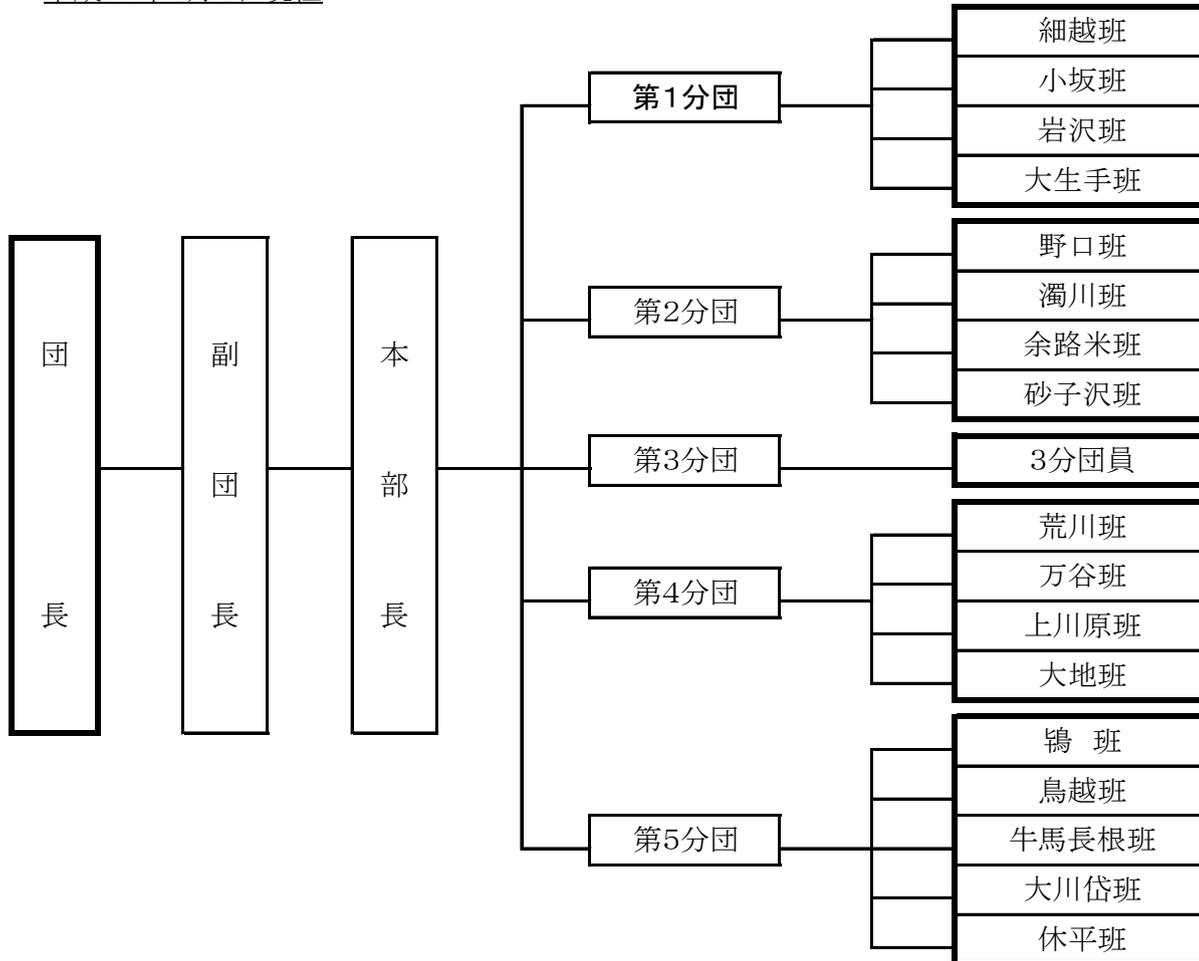
## 鹿角市消防団員階級別報酬及び諸手当

平成26年4月1日現在

階級 区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
年 報 酬(円)	67,000	53,800	35,900	31,700	21,500	20,400	19,100
定 年(歳)		63	60	60	60	60	60
出動手当(円)	1回につき ￥1,900 (水・火災等に出場した者)						
訓練手当(円)	1回につき ￥1,900 (訓練に出場した者)						
警戒手当(円)	1日または1夜につき ￥1,900 (特に警戒を命ぜられた者、または夜警に従事した者)						
技術手当(円)	消防ポンプ自動車1台につき (月額) ￥3,200 (管理保守する者)						
	小型動力ポンプ付積載車1台につき (月額) ￥2,200 (管理保守する者)						
	小型動力ポンプ1台につき (月額) ￥1,600 (管理保守する者)						

## 《小坂町消防団組織図》

平成26年4月1日現在



## 《小坂町消防団管轄区域》

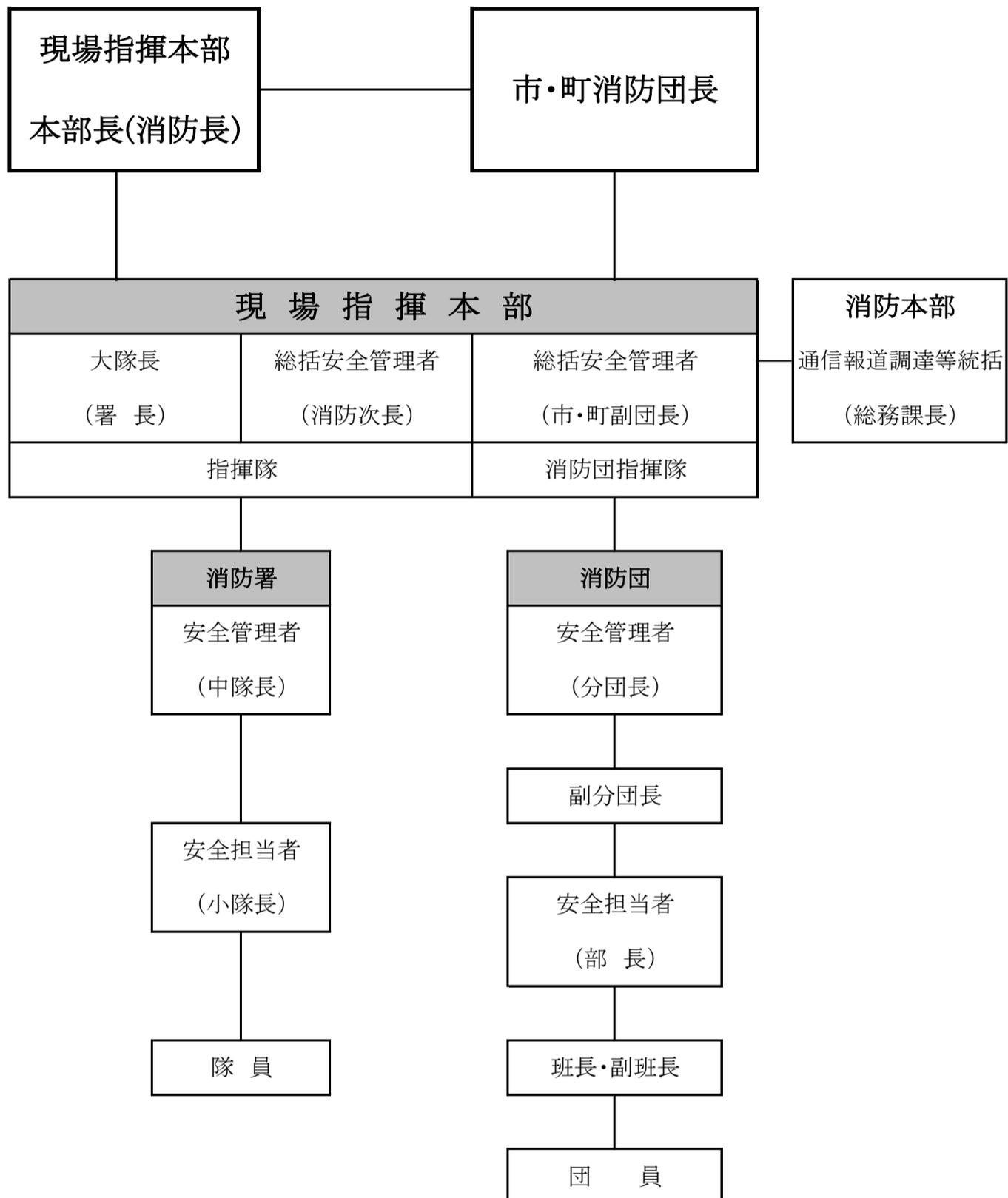
分団名	管 轄 区 域
第1分団	上小坂 中小坂 下小坂 岩沢 大生手 藤倉団地 古苦竹 細前田 細越
第2分団	野口 濁川 余路米 砂子沢
第3分団	町部一円
第4分団	万谷 荒川 上川原 大地 つつじ平 道作団地
第5分団	鳥越 鴫 牛馬長根 狐崎団地 大川岱 休平

## 《小坂町消防団員階級別報酬及び諸手当》

平成26年4月1日現在

	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	副部長	班 長	副班長	団 員
年報酬(円)	60,000	48,200	32,200	28,500	19,300	17,700	18,300	17,700	17,200
定 年(歳)	な し								
出場手当(円)	1回につき ¥1,600 (水・火災等に出場した者)								
訓練手当(円)	1回につき ¥1,600 (訓練に出場した者)								
警戒手当(円)	1日または1夜につき ¥1,600 (特に警戒を命ぜられた者、または夜警に従事した者)								
技術手当(円)	消防ポンプ自動車1台につき (月額) ¥3,200 (管理保守する者)								

## 消防本部と消防団との安全管理体制



## 秋田県消防操法(訓練)大会成績

回数	年度	ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部		全国大会出場及び成績
		出場分団	成績	出場分団	成績	
1	S37					
2	S38					
3	S39			八幡平村第5分団		
4	S40					
5	S41					
6	S42					
7	S43			八幡平村団	※	第1回 小型ポンプ出場
8	S44			八幡平村団		
9	S45			十和田町団		第2回
10	S47			錦木第4分団	優勝※	第3回 小型ポンプ出場
11	S49	八幡平第1分団		錦木第4分団	優勝※	第4回 小型ポンプ出場
12	S50	八幡平第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
13	S51	八幡平第1分団	優勝	錦木第2分団	2位	第5回
14	S52	毛馬内第1分団	2位	錦木第4分団	優勝	
15	S53	毛馬内第1分団	優勝	八幡平第1分団	2位	第6回
16	S54	錦木第1分団	優勝	錦木第4分団	2位	
17	S55	錦木第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	優勝※	第7回 小型ポンプ出場
18	S56	八幡平第1分団第1部	優勝	八幡平第4分団第2部	2位	
19	S57	八幡平第1分団第1部	優勝※	花輪第4分団第1部	優勝	第8回 ポンプ車出場
20	S58	八幡平第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
21	S59	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	2位	第9回
22	S60	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	優勝	
23	S61	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第10回
24	S62	錦木第1分団第1部	優勝	錦木第1分団第3部	8位	
25	S63	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	第11回 小型ポンプ準優勝
26	H 元	錦木第1分団第1部	優勝	八幡平第1分団第2部	優勝	
27	H 2	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	3位	第12回
28	H 3	八幡平第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	優勝	
29	H 4	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	5位	第13回
30	H 5	錦木第1分団第1部	5位	錦木第1分団第3部	2位	
31	H 6	錦木第1分団第1部	2位	錦木第1分団第3部	5位	第14回
32	H 7	八幡平第1分団第1部	3位	錦木第1分団第3部	2位	
33	H 8	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	5位	第15回
34	H 9	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	2位	
35	H10	錦木第1分団第1部	3位	八幡平第1分団第2部	6位	第16回
36	H11	錦木第1分団第1部	6位	尾去沢第1分団第1部	3位	
37	H12	八幡平第1分団第1部	3位	尾去沢第1分団第1部	5位	第17回
38	H13	八幡平第1分団第1部	5位	尾去沢第1分団第1部	4位	
39	H14	八幡平第1分団第1部	7位	尾去沢第1分団第1部	2位	第18回
40	H15	小坂町消防団第4分団	優勝	尾去沢第1分団第1部	7位	
41	H16	小坂町消防団第4分団	優勝	小坂町消防団第4分団	4位	第19回
42	H17	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	5位	
43	H18	小坂町消防団第4分団	2位	小坂町消防団第4分団	10位	第20回
44	H19	小坂町消防団第4分団	3位	小坂町消防団第4分団	7位	
45	H20	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	4位	第21回
46	H21	小坂町消防団第4分団	3位	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	
47	H22	小坂町消防団第4分団	2位	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	第22回
48	H23	小坂町消防団第4分団	優勝	鹿角市消防団第5分団第1部	優勝	
49	H24	鹿角市消防団第5分団第1部	2位	小坂町消防団第4分団	4位	第23回
50	H25	鹿角市消防団第5分団第1部	5位	小坂町消防団第4分団	優勝	

※ 全国大会出場(隔年開催)

# 災害記録



## 集中豪雨

平成25年8月9日、秋田県北部を中心とする大雨により土砂崩れ、床上、床下浸水が発生した。

## 自然災害

平成9年5月11日、大規模な土砂災害が発生し、温泉宿16棟を飲み込む。



## 火災

昭和55年6月12日、鉾山選鉱所火災が発生し、鹿角市消防団は特命出動により全消防団が出動する。

## 災害記録

西 暦	年 号	種 別	記 録
1930	昭和5年	建物火災	錦木村土深井で12棟を焼失。
1935	昭和10年	建物火災	4月9日 毛馬内町萱町から出火。住家36棟、非住家10棟全焼。 (川原の大火)
		建物火災	6月17日 小坂町元山元神下から出火。87戸で23棟焼失。り災者490名。
		洪水	小坂川が氾濫し大洪水となり大被害。8月23日、24日の両日で流失家屋14棟 損壊家屋60棟、浸水家屋824棟。他に道路、橋、耕地などが被害。被害額は 1,036千円。
		堤防決壊	8月24日 尾去沢鉦山用水取入口堤防が決壊し、流失住家12棟、全半壊住家 35棟に被害が出た。また、田圃135町歩、畑2町歩を流失。
1936	昭和11年	ダム決壊	11月20日 3時40分頃、尾去沢鉦山中沢ダムが決壊。中沢・春木沢・瓜畑・ 笹小屋・新堀・新山・下モ平・蟹沢・西道口の9集落に流出し、死者374名、 住家、非住家合わせて310棟を流失。
1938	昭和13年	雪 害	1月26日 小坂町立実科高等女学校が雪のため倒壊、小坂小学校児童の死者 8名、重傷10名、軽傷25名、訓導(教員)重傷1名。
1941	昭和16年	林野、建物火災	5月15日 小坂町細越で山火事から延焼。23戸で50棟を焼失。
1947	昭和22年	建物火災	3月18日 花輪町旭町の製材所の火災で延焼防止活動中、倒壊した建物の下 敷きとなり死者4名、重軽傷者30名。
		洪水	8月4日 米代川が大洪水となり大被害。堤防決壊40箇所あまり、住家流失2 棟、床上浸水多数、道路決壊、土砂崩れ多数、田畑の流失23町歩あまり、冠 水耕地60町歩あまり。(死亡者あり)
1949	昭和24年	航空機墜落	3月18日 花輪西山高瀬館跡地に米軍機が墜落、アメリカ人兵士1名死亡。
		建物火災	3月21日 大湯町立大湯小学校1棟全焼。
		建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉦山社宅で11棟全焼。
		建物火災	10月2日 花輪駅機関区1棟全焼。損害額1,156千円。
		噴 火	八幡平焼山爆発。泥流、火山灰噴出。
		建物火災	11月8日 宮川村小豆沢、大日堂大日靈貴神社全焼。
		建物火災	12月31日 小坂町古館の小坂鉦山病院で火災。本館・東西棟焼失、焼失面 積700坪、損害額30,000千円。
1950	昭和25年	建物火災	4月9日 小坂町西渡ノ羽鉦山社宅で11棟全焼、2棟半焼、り災世帯49世帯、 り災者279名、被害額10,000千円。
		建物火災	柴平村東町で大火。住家・非住家23棟全焼。
		噴 火	八幡平焼山で爆発。この噴火による泥土が熊沢川に流入し水田に大被害。 曙村荒町、三ヶ田、大久保周辺の田圃100町歩に堆積。
1951	昭和26年	建物火災	花輪町川原町で6棟全焼。
		建物火災	尾去沢鉦山資材倉庫7棟全焼。
		建物火災	3月 柴平農協事務室から出火。132坪全焼、米倉庫半焼、米2,000俵焼失。
		水 害	7月21日 大湯川堤防決壊、住家7棟流失。21日に降りだした雨で各河川が 増水し、崖崩れ、道路決壊が続出する。中でも下ノ湯、川原ノ湯の被害が 多く、床上浸水260棟、床下浸水781棟、田畑の流失30町歩、冠水300町歩、 柴平以北の橋梁破損流失12箇所。
		水 害	7月21日 荒川川・汗毛川が氾濫。護岸21箇所、道路11箇所、橋12箇所のほ か耕地が被害、被害額200,000千円。
		交通事故	9月6日 第三回鹿角郡消防連合訓練大会(小坂町宮陸上競技場開催)出場途 上、小坂町白岩地区において毛馬内第3分団手引動力ポンプ1台と毛馬内第 5分団腕用ポンプ1台を積載した国鉄トラックが転落し、乗車中の消防団員 17名が振り落とされ死傷者を出す。
		噴 火	3月 八幡平焼山で一部爆発。
		林野火災	花輪町大久保で天皇陛下記念造林地15町歩焼失。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1952	昭和27年	建物火災 建物火災	花輪町用野目で住家3棟、非住家2棟、合計5棟を全焼。損害額5,340千円。 5月14日 小坂町尾樽部で火災が発生し、役場・山手社宅に延焼。全焼9世帯、り災者43名、被害額53,730千円。
1953	昭和28年	車両、建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	国鉄陸中花輪駅で客車1両と待合室1棟全焼。損害額2,250千円。 4月9日 七滝村大地で住家12棟全焼。り災12世帯95名、被害額14,550千円。 5月 柴平村小平で住家3棟、非住家4棟全焼。 5月 毛馬内町高田で住家8棟焼失。 5月 大湯銚子発電所住宅5棟全焼。
1954	昭和29年	建物火災 建物火災 建物火災 落 雷 建物火災 建物火災 建物火災	花輪町新町で放火により住家4棟全焼。損害額7,480千円。 花輪町狐平で製材所1棟、住家1棟焼失。 柴平村鶴田の製材所120坪、材木その他資材焼失。損害額5,000千円。 9月12日 曙村杉山で落雷により住家3棟、非住家2棟全焼。 12月19日 尾去沢町下モ平で住家4棟、非住家1棟全焼。 12月 尾去沢町蟹沢でバラック建長屋(5戸)で1棟焼失。 宮川村小豆沢で住家3棟、非住家4棟が全焼。
1955	昭和30年	水 害 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	6月 八幡平村で水害が発生し堤防決壊多数、床上浸水も多数。 7月18日 大湯町川原ノ湯で劇場など6棟全焼。 8月13日 十和田町毛馬内高田で住家3棟、非住家1棟全焼。 8月 十和田町錦木申ケ野で住家9棟、非住家4棟全焼。り災者71名、損害額10,440千円。 花輪町久保田で8棟全焼。 大湯町で製材工場火災、工場と住家2棟焼失。り災世帯8世帯、損害額5,000千円。
1956	昭和31年	林野火災 林野火災 水 害 建物火災	4月 十和田町山根で山林火災発生。民有林103町歩焼失。損害7,000千円。 5月21日 尾去沢町十文字の山林から出火。花輪町花軒田にかけて国有林及び民有林合わせて10町歩焼失。 7月23日 花輪町120mm、八幡平村200mmの豪雨により銭川温泉、玉川・両国両鉦山住宅2棟全壊。夏井橋、長嶺橋、夜明島橋、水沢橋等熊沢川全橋10箇所流失、栃木川原、赤渕等護岸決壊、水田10町歩以上冠水被害。長牛橋、用野目橋、高屋橋が損傷。損害額30,000千円以上。 11月21日 小坂町銀山町で火災。住家23棟、非住家4棟全焼。り災者101名損害額29,800千円。
1957	昭和32年	林野火災 建物火災	十和田町崩森国有林で山林火災発生。焼失面積8ha。 5月3日 小坂町荒川で住家26棟、非住家17棟全焼。り災世帯27世帯、り災者159名、被害額50,000千円。
1958	昭和33年	建物火災 建物火災 建物火災 建物火災	2月9日 十和田町毛馬内の寺院全焼。 3月24日 八幡平村大里(上村)で住家6棟、非住家7棟全焼。 4月5日 花輪町鶴田で住家2棟、非住家2棟全焼。 11月21日 小坂町銀山町で共同住宅23棟、非住家4棟全焼。り災者101名。
1959	昭和34年	建物火災 建物火災	12月12日 放火により花輪町小坂で住家1棟全焼。 十和田町錦木申ケ野で大火。8棟全焼。
1961	昭和36年	建物火災 建物火災 洪 水 建物火災 建物火災 林野火災	3月20日 花輪町新町で住家2棟、工場1棟全焼。負傷者5名、損害額7,749千円。 4月3日 花輪町柴内高市で住家2棟、非住家1棟全焼。死者1名、損害額1,383千円。 4月4日 異常高温による雪解けと暖風に豪雨が重なり河川が増水。花輪町で米代川が増水し用野目橋流失、狐平・下川原護岸決壊。八幡平村赤渕で水田4,040haが冠水。小坂町で若木立橋流失。合計損害額4千数百万円。 5月5日 八幡平村蛇沢で住家3棟、非住家2棟全焼。 5月24日・6月5日 連続放火により花輪町小深田で火災(ボヤ)発生。 5月25日 花輪町雁府で山林火災発生。焼失面積4.5ha。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1962	昭和37年	建物火災	5月25日 八幡平村湯瀬のホテル食堂炊事場でプロパンガスの配管工事中、ガス漏れによる爆発火災。死者1名、重軽傷者5名。
		建物火災	8月10日 花輪町東山で住家1棟、非住家2棟全焼。損害額1,029千円
		林野火災	5月12日 十和田町大湯中滝で山林火災発生。14日夜まで続き4000ha焼失。
		林野火災	5月14日 花輪町柴内で山林火災発生。国有林5ha焼失。
1963	昭和38年	建物火災	5月17日 尾去沢鉦山で住家6棟全焼。
		建物火災	1月11日 十和田町大湯上町で住家4棟全焼。
1965	昭和40年	建物火災	2月 花輪町高屋で住家2棟、非住家1棟半焼、鶏2000羽、ヒナ鳥13000羽が焼死。
		林野火災	5月 花輪町大曲水無沢町有林50ha焼失。
		建物火災	5月25日 連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼、住家、非住家3棟半焼 負傷者1名、損害額3,299千円
		建物火災	6月13日 連続放火により花輪町舟場で住家1棟全焼。住家、非住家4棟半焼 損害額1,034千円
		建物火災	7月10日 連続放火により花輪町立花輪第一中学校校舎2棟全焼。焼失面積 1,848㎡、損害額17,000千円。
		台 風	能代沖を通過した台風23号は、風速20mの強風を伴い稲の倒伏45ha、果樹の落下2万箱、被害額40,000千円。
1966	昭和41年	建物火災	11月10日 花輪町中町で住家3棟全焼、住家2棟半焼、損害額12,131千円。
		建物火災	5月23日 花輪町谷地田町で住家2棟、非住家1棟全焼、住家・非住家6棟半焼、死者1名、損害額3,389千円。
		水 害	8月12日 小坂町川上地区で河川が増水、住家1棟流失。土木及び農地被害 37箇所、損害額113,950千円。
1967	昭和42年	建物火災	9月6日 花輪町立柴内小学校校舎1棟全焼。焼失面積2,450㎡。原因はカマドの煙突の破損、損害額19,453千円。
		建物火災	3月24日 花輪町下夕町の整備工場で火災、死者3名。
		建物火災	十和田町浜田で住家1棟、倉庫185.6㎡全焼、損害額2,500千円。
		建物火災	5月31日 花輪町花軒田で住家3棟、非住家1棟全焼。損害額5,232千円。
		建物火災	10月 花輪町鶴田で製材工場330㎡1棟、住家85㎡1棟全焼。
1968	昭和43年	建物火災	十和田町大湯川原ノ湯でアパート火災。1棟171.6㎡(6世帯)全焼、損害額4,000千円。
		建物火災	尾去沢町尾去で鶏舎と作業小屋396㎡全焼。鶏300羽、豚2頭焼死。
		建物火災	2月19日 花輪町舟場で住家2棟全焼、住家2棟半焼、損害額8,504千円。この火災で消火活動中の消防職員1名が殉職。
		建物火災	八幡平村黒沢で住家1棟、非住家3棟全焼。損害額4,000千円。
1969	昭和44年	地 震	5月16日 9時50分頃、北海道十勝沖を震源地とする地震が発生。秋田県では震度4を記録し、鹿角地区では1日に数十回の余震が1週間程度続いた。この地震により花輪町の大堰水路の水が横揺れし、道路へ水が飛散した。また、花輪小学校をはじめ住家の一部が破損し土蔵等の壁が崩れるなどの被害が続出した。
		建物火災	8月3日 尾去沢町下モ平で住家7棟、非住家1棟全焼。損害額29,750千円。
		建物火災	4月24日 花輪町大町で3棟全半焼。
		林野火災	5月4日 花輪町甘露の山林15ha焼失。
		林野火災	5月7日 尾去沢町で水晶山国有林植樹祭記念造林地2ha焼失。
		建物火災	花輪町横町で3棟全半焼。損害額15,000千円。
		交通事故	8月15日 花輪町新町の火災(ボヤ)現場にオートバイで駆け付ける途中、自家用車と接触し、消防団員1名殉職。
		建物火災	10月11日 花輪町東山で養畜舎1棟全焼。死者2名、負傷者1名、牛数十頭焼死、損害額7,063千円。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1970	昭和45年	建物火災	9月16日 花輪町新町の醤油味噌醸造工場で工場、倉庫併せて3,260㎡全焼。損害額は100,000千円。
1971	昭和46年	建物火災	11月24日 花輪町谷地田町の下駄製造工場から出火。5棟1,150㎡全焼。
		建物火災	5月27日 小坂町尾樽部で住家5棟全焼。り災世帯5世帯、り災者22名、損害額22,460千円
1972	昭和47年	建物火災	5月29日 十和田町毛馬内下陣場で製材所(370㎡)1棟、住家2棟、非住家2棟全焼。
		水 害	7月8日から9日にかけて大雨のため、道路決壊21箇所、堤防決壊15箇所、田畑の流失、毛馬内下高田橋流失等の被害が発生する。
1973	昭和48年	建物火災	1月30日 八幡平松館で住家2棟全焼、住家1棟・非住家2棟半焼。損害額2,583千円
1974	昭和49年	雪 害	2月3日 前日からの大雪により八幡平地区で住家全壊2棟、半壊8棟、一部破損多数。
		交通事故	11月10日 秋季防火週間の初日、花輪地区消防団車両が不時演習への出動途上、国道282号の信号機のある交差点で大型トラックと衝突した。消防車は右側店舗に突っ込み、大型トラックは左側店舗に突っ込む。消防車に乗っていた消防団員13名は振り落とされて、死者3名、重傷者3名、軽傷者7名が発生した。
1975	昭和50年	労働災害	5月 花輪鉱山で落盤事故発生。死者1名。
		建物火災	6月10日 花輪古館で工場2棟、非住家1棟全焼、非住家1棟半焼。損害額4,700千円。
1976	昭和51年	建物火災	2月15日 大湯上ノ湯で旅館1棟(739㎡)全焼。負傷者3名、損害額8,644千円。(自動火災報知設備の警報ベルが作動したのに無視し、ベルを停止したもの。)
		労働災害	8月 尾去沢鉱山で落盤事故発生。死傷者2名。
1977	昭和52年	建物火災	2月6日 旧毛馬内小学校校舎1棟全焼。負傷者(団員)3名、焼失面積2,646㎡、損害額6,453千円。
		建物火災	4月22日 八幡平谷内で非住家5棟全焼。損害額3,897千円。
1977	昭和52年	建物火災	6月4日 花輪旭町で工場2棟、住家2棟、非住家2棟全焼。損害額12,496千円。
1978	昭和53年	建物火災	3月9日 花輪柴内の不動尊神社1棟全焼。
		建物火災	4月23日 八幡平碓で住家2棟全焼、1棟半焼。負傷者(消防職員)1名。損害額2,841千円。
1979	昭和54年	建物火災	9月22日 鉛山鉱山(株)大湯破砕場1棟全焼、負傷者(団員)1名。焼失面積643㎡、損害額8,964千円。原因は硫火鉱の自然発火。
		大 雨	3月31日 鹿角市全域暴風雨。土木施設33件、農林施設26件、文化施設11件、建物の破損80棟以上の被害。
1980	昭和55年	林野火災	5月6日 十和田山根地区で林野火災が発生。焼失面積2,396a。損害額18,574千円
		大 雨	4月6日 鹿角市全域の大雨及び融雪のため堤防決壊25件、道路決壊3件、家屋の一部破損2件、田圃の流失3町歩の被害。
1981	昭和56年	建物火災	6月12日 尾去沢鉱山(株)で選鉱所の一部焼失。焼失面積1,342㎡、損害額442千円
		台 風	8月23日 台風15号のため家屋全壊15棟、半壊10棟、一部破損100棟以上の被害。
1983	昭和58年	地 震	5月26日 日本海中部地震で震度4を記録。1日に数回の余震が続き、住家・水田・道路等に被害が出た。被害額200,000千円。
		車両火災	10月9日早朝 花輪東山国有林地内で乗用車が焼失し、車内で親子4名が焼死。この年は計6名の焼死者が発生。

西 暦	年 号	種 別	記 録
1984	昭和59年	建物火災	4月20日 花輪葉ノ木谷地で住家全焼。死者1名、損害額15,245千円。
		建物火災	5月10日 毛馬内三の丸で住家全焼。死者1名、損害額2,008千円。
		建物火災	5月14日 花輪諏訪野で住家部分焼。死者1名、損害額260千円。
		建物火災	6月5日 花輪上中島で放火により住家半焼。死者1名、損害額589千円。
		建物火災	6月18日 八幡平谷内の寺院826㎡全焼、林野7a焼失。損害額64,476千円。
1985	昭和60年	建物火災	7月17日 八幡平湯瀬で住家全焼。死者2名、損害額2,344千円
1986	昭和61年	水 害	8月5日 台風10号による豪雨のため河川が増水、床下浸水住家2棟、非住家1棟、工場及び事務所各1棟の被害。通算雨量103.5mm
1987	昭和62年	建物火災	2月6日 尾去沢下モ平で住家1棟全焼。死者1名、損害額3,794千円。
1988	昭和63年	交通事故	1月31日 東北自動車道上り線588KP付近で普通乗用車に普通トラックが追突。重軽傷者3名、うち1名は五ノ宮橋から約14m下へ転落。
		建物火災	7月31日 花輪合ノ野で縫製工場全焼。損害額29,329千円。
		建物火災	9月22日 毛馬内中台地で住家部分焼。死者1名、損害額297千円。
1989	平成元年	建物火災	7月30日 花輪谷地中で牛舎全焼。牛17頭焼死、損害額14,741千円。原因は干し草の自然発火。
		建物火災	1月13日 花輪長野で住家全焼。死者1名、損害額5,020千円。
1990	平成2年	建物火災	12月28日 花輪下夕町で住家1棟全焼、1棟半焼。死者1名、損害額9,380千円。
1991	平成3年	台 風	9月28日未明、鹿角市内は台風19号の暴風圏内に入り、全域にわたり大きな被害を受ける。重軽傷者13名、住家被害826棟、被害額939,000千円。農産物被害額はリンゴを中心に2,595,000千円など、総被害額4,813,940千円。
		建物火災	11月20日 尾去沢中沢の寺院513㎡全焼。死者1名、損害額68,067千円。
1992	平成4年	火 災	鹿角市で5月16日から12月16日まで7ヶ月間の無火災を記録。年間火災件数も市発足以来最少の5件となる。
		建物火災	10月26日 小坂町尾樽部で住家3棟全焼。死者1名、り災世帯3世帯、り災者13名、損害額34,228千円。
1993	平成5年	建物火災	12月21日 錦木山谷で住家1棟全焼。死者1名、損害額9,026千円。
1994	平成6年	建物火災	10月27日 花輪荒屋敷で住家2棟全焼。死者1名、損害額13,956千円。
1995	平成7年	建物火災	1月10日 小坂町万谷で住家1棟全焼、死者1名、損害額20,003千円。
1996	平成8年	危険物漏洩	7月6日 八幡平湯瀬の危険物施設で軽油600ℓが米代川へ流出。
1997	平成9年	自然災害	5月11日 八幡平熊沢国有林地内で大規模な土砂災害が発生。澄川、赤川両温泉施設の合計16棟が流失する。人的被害なし。
1998	平成10年	建物火災	1月18日 毛馬内で建物火災。死者1名。
		建物火災	3月30日 八幡平大里で製材工場2棟半焼。
		建物火災	6月3日 花輪狐平で住家全焼。死者1名
		集団救急	8月3日 田沢湖町玉川温泉で集団食中毒が発生。52名を救急搬送。
		集団救急	9月10日 後生掛温泉で毒キノコによる食中毒が発生。9名を救急搬送。
2001	平成13年	林野火災	4月から5月にかけて、野焼き・枯れ草焼却の不始末による林野火災が10件発生。
2001	平成13年	建物火災	7月19日 草木砂派で牛舎全焼。牛20頭焼死、車両1台全焼。
2002	平成14年	建物火災	1月1日 花輪級ノ木で牛舎全焼。牛18頭焼死。
		建物火災	5月6日 尾去沢新堀市営住宅部分焼。
2004	平成16年	危険物漏洩	1月18日 小坂町尾樽部で工場から苛性ソーダが24㎡流出。原因は貯蔵タンクの腐食。
		建物火災	2月3日 花輪下花輪で住家2棟全焼、1棟半焼。
		建物火災	3月4日 尾去沢新堀で住家1棟全焼、車両1台全焼。死者1名
		建物火災	3月27日 花輪上台で非住家3棟全焼、非住家1棟半焼。
2005	平成17年	建物火災	2月7日 錦木冠田で住家全焼。死者2名
		建物火災	9月中に毛馬内押出で連続火災。住家1棟全焼、車両1台全焼。
		危険物漏洩	4月16日 尾去沢蟹沢の危険物施設で重油2,100ℓが米代川へ流出。

西 暦	年 号	種 別	記 録
2006	平成18年	建物火災	5月13日 毛馬内押出で住家1棟全焼。死者1名。
		建物火災	8月23日 小坂町尾樽部で工場火災。工場部分焼、損害額302,208千円。
		建物火災	10月25日 毛馬内鹿倉崎の環境衛生センターごみ処理場で爆発火災。負傷者無し、損害額21,000千円。
2007	平成19年	建物火災	12月9日 草木二本柳で住家1棟全焼。死者1名。
		集中豪雨	9月16日から17日にかけて、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量が260mmに達し過去最高を観測。 鹿角市では避難勧告（377世帯1,175名）、避難指示（519世帯1,228名）。住家被害は住家半壊3棟、一部損壊1棟。床上浸水は住家9棟、非住家1棟。床下浸水は住家72棟、非住家30棟。農業被害は水田の流失・埋没21.6ha、冠水156ha。畑の流失・埋没2.5ha、冠水3.5ha。その他に水道66戸、農地・農業用施設220箇所、道路40箇所、橋りょう2箇所、河川46箇所など合わせて農林水産業施設815,800千円、公共土木施設374,215千円、農産物等被害42,895千円となり、総額1,232,910千円の被害を出す。人的被害なし。
2008	平成20年	林野火災	4月から5月にかけて林野火災が多発。特に4月5日は1日5件を記録する。
		建物火災	5月1日 八幡平谷内の製材工場で火災。製材工場、事務所、倉庫の3棟を全焼。損害額46,519千円。この火災で鹿角市消防団は28年ぶりとなる特命出動を発令。消防団員400名が出動する。
2009	平成21年	警 戒	4月5日 北朝鮮の飛翔体発射に係る特別警戒本部を設置。被害無し。
2010	平成22年	集中豪雨	7月29日から30日にかけて、秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では降り始めからの総雨量は157mmに達する。 鹿角市では、住家被害が床上浸水1棟、床下浸水15棟、農地・農業用施設71箇所、道路37箇所、河川13箇所の被害を出す。人的被害なし。
2011	平成23年	雪 害	1月1日 前日からの大雪で鹿角市十和田地区で倒木2件、溢水4件、小坂町で溢水3件発生する。倒木による交通障害なし。溢水により冠水及び床上・床下浸水したが実害なし。
		建物火災	1月3日 末広上屋布で住家1棟全焼。死者2名、負傷者4名、り災世帯1世帯り災者7名。
		地 震	3月11日 東北地方太平洋沖地震発生。鹿角市では震度4、小坂町では震度3を記録する。鹿角市は全域が停電となったが、人的被害、倒壊等の被害はなし。小坂町は小坂製錬及び関連建物以外が停電となったが、人的被害倒壊等の被害はなし。
		集中豪雨	8月17日 秋田県全域に大雨による被害が発生。降り始めからの総雨量は鹿角市123.5mm、小坂町97.5mm。住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。小坂町で鉄砲水による住家1棟一部破損。り災世帯1世帯、り災者5名、人的被害なし。
2012	平成24年	暴 風	4月4日 強い寒気の影響による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家7棟、非住4棟、倒木7件、信号機1件、電線・電柱2件、消防標識1件。小坂町で住家1棟、倒木1件。人的被害なし。
		建物火災	4月19日 小坂町大稲坪で工場火災。クーリング棟及び物置小屋全焼。
		そ の 他	4月20日 八幡平クマ牧場で熊38頭の内、4頭が檻外へ脱走。飼育員2名が襲われ、2名とも社会死状態で発見される。脱走した熊4頭は、猟友会により射殺される。
		建物火災	5月10日 小坂町横道の町営住宅1棟全焼、1棟半焼。り災世帯1世帯、り災者3名。
		危険物漏洩	5月19日 小坂町大稲坪の工場より灯油12,000リットル流出。周囲への影響等なし。
		建物火災	8月6日 花輪級ノ木で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。
		建物火災	10月17日 花輪寺坂で住家1棟全焼。
		建物火災	12月26日 尾去沢新山で市営住宅1棟部分焼。り災者3世帯、り災者4名。

西 暦	年 号	種 別	記 録
2013	平成25年	暴 風	4月7日 発達中の低気圧による暴風で各地に被害が発生。被害状況は、鹿角市で住家2棟、非住家12棟、倒木2件、人的被害なし。小坂町で倒木等被害なし。
		建物火災	5月10日 尾去沢上山で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者2名。
		車両火災	6月2日 十和田湖生出地内国道103号上で車両1台全焼。死者1名。
		建物火災	8月7日 八幡平谷内の木材加工工場で火災。木材加工工場1棟を全焼。
		集中豪雨	8月9日 秋田県北部を中心とする集中豪雨のため、鹿角市では、10時52分までの1 時間に108.5mmを記録、土砂災害や浸水害が多数発生した。鹿角市で避難勧告（1,150世帯2,707名）住家被害は鹿角市で住家3棟半壊非住家1棟全壊、床上浸水23棟、床下浸水187棟、人的被害なし。小坂町で床上浸水1棟、床下浸水2棟、人的被害なし。
		台 風	9月16日 台風18号による大雨により、鹿角市で避難勧告（316世帯860名）避難指示（2,118世帯5,435名）、住家被害は鹿角市で床上浸水1棟、床下浸水26棟、人的被害なし。小坂町で被害なし。
		建物火災	11月8日 花輪鶴田の自動車リサイクル工場で火災。自動車リサイクル諏訪野工場1棟を半焼。負傷者1名。
		建物火災	12月14日 花輪西町で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、り災者5名。
		建物火災	12月15日 大湯川原ノ湯で住家1棟全焼。り災世帯1世帯、死者1名。

# 祝 初優勝

小坂町消防団第4分団（上川原班）  
第50回秋田県消防操法大会 小型ポンプ操法の部

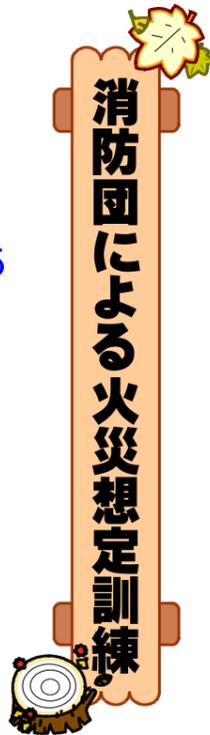


小型ポンプ操法の部 優勝  
ポンプ車操法の部 第5位  
総合成績 鹿角市消防団第5分団（尾去沢）第3位  
小坂町消防団第4分団（上川原班）

鹿角支部大会を勝ち抜いた鹿角市消防団第5分団と小坂町消防団第4分団は、7月下旬から朝夕と厳しい訓練を重ね、9月6日に開催された第50回秋田県消防操法大会において上記の成績を収めました。上川原班は、小型ポンプ操法の部に2年連続で出場し、悲願の初優勝となりました。出場分団員に関係する皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

※訓練終了後の午前中に消防車による防火パレードを行います。  
※火災予防週間中、7時と19時にサイレン又は警鐘が鳴ります。火災と間違わないようにご注意ください。

①日時…平成25年11月3日（日）早朝  
②場所…鹿角市…花輪 鹿角市総合運動公園  
八幡平 水沢集落会館  
小坂町…三ツ森工業団地



寒い季節は、暖房器具を使用する機会が多くなります。火の取扱いには十分注意しましょう。

（全国統一防火標語）  
消すまでは心の警報 ONのまま

秋の火災予防運動  
平成25年11月3日（日）  
～11月9日（土）

## 消防 鹿角

第35号 編集・発行… 平成25年 秋冬号  
鹿角広域行政組合消防本部 消防署  
秋田県消防協会 鹿角支部

鹿角広域行政組合消防本部管内  
出動件数  
平成25年1月～平成25年9月末  
総出動件数 1150件

①火災	29件
②救急	970件
③救助	34件
④自然災害	37件
⑤遭難捜索	7件
⑥その他	73件

## 蟹沢自主防災会10周年



平成16年に自主防災会を結成し、10周年を迎えた蟹沢自主防災会の訓練が、9月8日に行われました。災害対策本部が設置され、避難誘導、初期消火、救出訓練などのほか、心肺蘇生や土のう積み訓練などが実施されました。婦人防火クラブにより血圧測定や住民の健康相談を行ったほか、飲料水を節約出来る「炊飯袋」を使用して親子で炊き出しの準備をするなど、積み重ねてきた経験を十分に活かした訓練となりました。

## 流水救助訓練を実施!!



8月28・29日、米代川河川敷において、流水救助訓練を実施しました。流れのある河川で、安全かつ効率のよい救助活動を行うことを目標に、救助隊員のほか、延べ60人の職員が参加しました。流されてくる要救助者に水に浮くロープの入っている「スローバッグ」を投げて救助する方法や、救助用ボートで接近して救助する方法など数種類の救助法を学びました。

## 消防通信 龍吐水 りゅうどすい

### 雪下ろし作業にご注意!

安全な除雪作業のために、次のことに注意しましょう

- ① 安全な服装で作業!
- ② 命綱・安全帯を正しく装着!
- ③ 2人以上で作業!
- ④ はしごはしっかり固定!
- ⑤ 足場には特に注意!
- ⑥ 屋根の雪のゆるみに注意!
- ⑦ 使いたれた除雪道具を使用!
- ⑧ 無理な作業はやめましょう!



消防署では自治会単位で命綱の結び方を指導しています。ご希望の自治会は消防署へご連絡ください。

### 災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ! 返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックし、登録完了です。氏名や連絡先を入力する必要はありません。右のQRコードでもURLを取得できます。詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。

- 消防団員の方は消防署でも登録できます。
- ※消防団員の方が登録する際は、消防署（23-5601）へご連絡ください。

情報配信メール登録用eメールアドレス  
鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

## 鹿角市消防団の活動を披露



5月22日、東京都港区の日本消防会館において開催された「消防団員確保に関するシンポジウム」に、鹿角市消防団の黒澤文男団長が出席し、鹿角市消防団の活動内容や、団員確保の取り組みについて発表しました。

メール登録用QRコード



鹿角市



小坂町

# 心肺蘇生法

〜いざという時 救えますか その生命〜

心肺蘇生法は国際的に統一されており、最新のガイドラインでは胸骨圧迫（心臓マッサージ）の重要性が強調されています。

【主な変更点】



1. 反応を調べる  
周囲の安全を確認して、反応があるかを確認します。

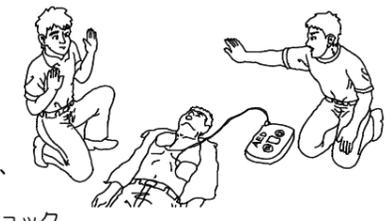
2. 119番通報とAEDの手配  
反応がなければ、大きな声で周囲に知らせ「あなたは119番通報を」「あなたはAEDを」と協力依頼します。



4. 胸骨圧迫（心臓マッサージ）  
普段通りの呼吸が無ければ、直ちに胸骨圧迫を開始します。胸の真ん中を連続して30回圧迫します。



3. 呼吸を調べる  
胸とお腹の動きを見て、10秒以内で普段通りの呼吸があるかどうか確認します。

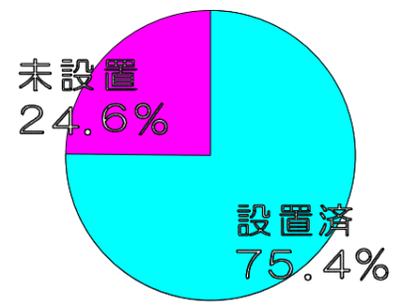


6. AEDの使用  
AEDが届いたら電源を入れ、胸にパッドを貼り付けます。AEDの音声に従い、電気ショックをするか、胸骨圧迫と人工呼吸を続けます。必ず電気ショックをするとは限りません。

5. 気道確保、人工呼吸  
片手を額に当て、もう片方の人差し指と中指をあごの先端に当て持ち上げ、口から2回息を吹き込みます。

※心肺蘇生は交代しながら行い、より効果的な胸骨圧迫を行いましょ。胸骨圧迫は救急隊と交代するまで続けてください。※確実な心肺蘇生法ができるよう、応急手当講習を受講してください。

## 住宅用火災警報器を設置しましょう

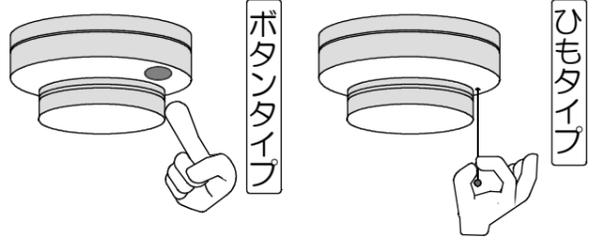


4軒に1軒が未設置です!!  
(平成25年9月現在)

消防法の改正により、平成23年6月に住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、当消防本部の管内では、約25%のご家庭で設置が進んでいない状態です。火災を早期に発見し、逃げ遅れを未然に防ぐことができます。早期に設置をお願いします。

既に設置されているご家庭でも...

- ・汚れていませんか？  
ホコリが付くと火災を感知しにくくなります。1年に1回は、乾いた布等で拭いてください。
- ・警報音は鳴りますか？  
月に1回程度警報音が鳴るかどうか確認してください。電池切れや故障の場合、警報音とは違う音が鳴る機種もあります。お買い上げになったお店やメーカーに問い合わせてください。



正常に動作するよう、適正な維持管理をお願いします。

## 特別警報

すでに運用が始まっている「特別警報」は、従来の警報の基準をはるかに超えた、数十年に一度の大雨や大雪、暴風などが予想される場合に発表されます。今年の8月9日、鹿角地域を始め秋田県から岩手県にかけて大きな被害をもたらした豪雨が該当します。特別警報が発表されたときは、今まで経験したことがないような激しい雨や暴風など、異常な現象が起る状況です。ただちに命を守る行動をとります。決して慌てず、周囲の状況や、市町から発表される避難勧告などの情報に注意し、すぐに避難所へ避難してください。すでに外が危険な状態になっている場合には、無理をせずに家の中のものより安全な場所にとどまってください。



- ・ガソリンの危険性
- ・ガソリンはマイナス40度で気化します。
- ・静電気や少しの火花でも引火します。
- ・蒸気は溜まりやすく、目に見えませんが、



必ず金属製のものを！  
変形、破損に注意！

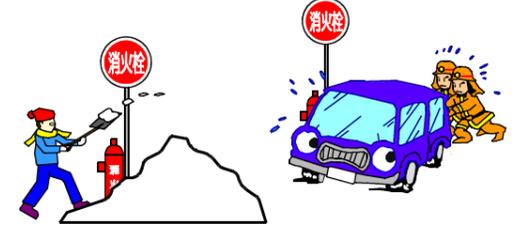
## ガソリン携行缶に注意

- ・【取扱いについて】
- ・静電気による着火を防ぐため、金属製の容器で貯蔵しましょう。
- ・容器は密栓して、日の当たらない風通しの良い場所に保管しましょう。
- ・ガソリンを取扱っている場所では、火気や火花を発生する機械器具の使用を控えましょう。
- ・給油時は、車両や発電機などのエンジン必ず停止させましょう。
- ・容器のキャップを外す前に圧力調整ネジを緩めて容器内の圧力を開放しましょう。
- ・給油ノズルは給油口に確実に取り付け、漏れや飛び散りが無いように給油しましょう。

## 「消火栓」や「防火水槽」についてのお願い

## 消防水利から5m以内は駐車禁止です!!

皆さんは道路脇にある「消火栓」や「防火水槽」をこ存じですか？  
これら「消防水利」は火災現場で放水するために、欠かすことができないものです。  
火災が発生した場合、消防水利の前に駐車車両があると消火活動の妨げになります。そのため道路交通法ではこれら消防水利の周辺に駐車することは禁止されています。



また、降雪期になると消防水利に雪が積もり、スムーズな消火活動ができなくなる場合があります。私たち消防職・団員が常時除雪をしています。大雪が降った場合は消防水利の除雪に对应できない可能性があります。ご自宅付近で雪が積もったままの消防水利にお気付きになりましたら、除雪のご協力をお願いします。

## 暖房器具の取扱いに注意しましょう

寒さが増し、暖房器具を使用することが多くなっていく季節。また、これからは空気が乾燥し、火災が起こりやすくなってきますので、ご家庭の暖房器具の取扱いについても一度チェックしてみましょう。

### 暖房器具の安全チェックポイント

- 暖房器具の上に洗濯物を干していませんか？
- カーテンの近くで使用していませんか？
- スプレー缶を近くに置いていませんか？
- 燃えやすいものが近くにありませんか？
- 不安定な置き方はしていませんか？
- 暖房器具をつけたまま寝ていませんか？
- 外出するとき、暖房器具を消していますか？



### (石油ストーブ・石油ファンヒーター)

- 給油は火を消してから行っていますか？  
また灯油であることを確認していますか？
- 吸排気筒や煙突に異常はありませんか？
- 燃料用ホースに亀裂が入っていませんか？
- ホームタンクに異常はありませんか？

### (電気ストーブ・電気カーペット)

- 使わないときコンセントを抜いていますか？
- プラグにホコリがたまっていますか？
- 電気コードにキズや破れはありませんか？
- 内部のヒーター線がねじれていませんか？



ただちに命を守る行動を!!

**大雨特別警報**  
重大な災害が起こる危険性が高まります

**大雨警報**  
大雨の期間、予想雨量、警戒を要する事項などが発表されます

この段階で注意を!!

**大雨注意報**  
警報になる可能性があります

大雨に関する気象情報

特別警報が発表されるまで（大雨の場合）



## 消防庁舎が新しくなります！

現消防庁舎の耐震性の問題、施設及び設備の老朽化などをうけ、新しい消防庁舎を鹿角警察署の西側に建設することになりました。消防救急無線のデジタル化と併せて平成27年8月の運用を予定しています。

新庁舎は、火災や救急をはじめ、各種災害に迅速に対応できる新たな防災拠点として、安全性を備えた設計となっており、皆様により一層の安全、安心を発信できる消防庁舎を目指しております。

また、現庁舎は解体され、救急車1台と職員4名程度を配置した南出張所（仮称）として生まれ変わります。

※火災予防週間中、  
7時と19時に  
サイレン又は警鐘が鳴ります。  
火災と間違わないように注意ください。

※訓練終了後の午前中に、  
消防車による防火パレードを行います。

- ①日時：平成26年4月6日（日）6時
- ②場所：鹿角市・大湯地区市民センター  
小坂町・小坂小中学校

### 消防団による火災想定訓練

暖かくなってくるこの季節は、火の取扱いに対する注意心が緩みがちになります。また、空気が乾燥し風の強い日が多いことから火災が発生しやすくなります。  
火の取扱いには十分注意しましょう。

全国統一防火標語  
消すまでは  
心の警報  
ONのまま



春の火災予防運動  
平成26年4月6日（日）  
～4月12日（土）

鹿角広域行政組合消防本部管内 出動件数 平成25年1月～平成25年12月末 総出動件数 1583件	
①火災	40件
②救急	1346件
③救助	51件
④自然災害	38件
⑤遭難捜索	7件
⑥その他	101件

第三十六号 平成二十六年 春夏号  
編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部 消防署  
秋田県消防協会 鹿角支部

# 消防 鹿角

### 今年もありがとう！ 除雪ボランティア



昨年に引き続き、花輪第一中学校の生徒さんに消防水利の除雪をしていただきました。除雪ボランティアとしての取り組みで、雪にすっぽりと埋まった消火栓などを汗をかきながら一生懸命掘り出してくれました。今年も例年に比べると積雪の少ない冬でしたが、もしもの時に備えて除雪をしていただいた住民の皆様にもあわせて感謝を申しあげます。

### 消防通信 龍吐水 りゅうどすい

#### 鹿角市消防団の新車両



鹿角市消防団第9分団第2部（八幡平湯瀬地区）のポンプ車を更新しました。従来のポンプ車に比べ水を吸い上げる速度が向上し、消防団員が迅速に活動できるよう設計されています。

#### 災害情報メール配信しています

鹿角市、小坂町で発生した災害情報を携帯電話やパソコンにeメールで配信しています。登録のしかたは市・町のメールアドレスへ空メールを送信するだけ！返信されたメールに記載されたURLへ接続し、希望する情報をチェックして登録完了です。氏名や連絡先を入力する必要はありません。右のQRコードでもURLを取得できます。詳しくは、鹿角市・小坂町のホームページをご覧ください。

- ・消防団員の方は消防署でも登録できます。
- ※消防団員の方が登録する際は、消防署（23-5601）へご連絡ください。

情報配信メール登録用eメールアドレス  
鹿角市：e-kazuno@xpressmail.jp 小坂町：e-kosaka@xpressmail.jp

### 鹿角に来ます！地震体験車



秋田県では、防災教育の充実・強化を図るため地震体験車を導入しました。震度7までの地震や、日本海中部地震の揺れなどを再現できます。鹿角管内には、六月に小坂町の「アカシアまつり」、九月に鹿角市の「かつの元氣フェスタ」で登場します。いざというときに何ができるのか、この機会に是非体験してみたいかがてしょうか。

#### 消防職員意見発表秋田県大会



2月14日、秋田ビューホテルにおいて「第37回消防職員意見発表秋田県大会」が行われ、高田陽平副士長が出席しました。昨年の豪雨災害を教訓に「防災意識向上のために」と題して圏民を防災指導員として養成することを提案。命を守る知識を身につけてほしいと訴えました。

メール登録用QRコード



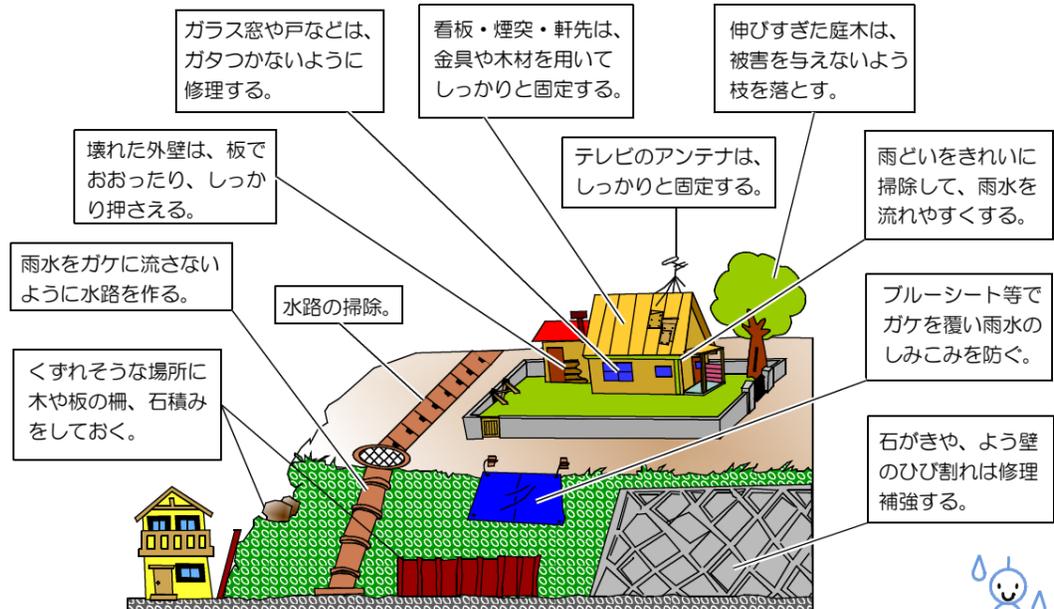
鹿角市



小坂町

# 大雨・強風に備えて

大雨や強風は、地震と同じく時によっては大きな被害をもたらします。昨年の八月九日に鹿角でも過去に経験したことがないほどの雨が降り、各地区で災害が頻繁に発生しました。地震の備えと同じように、日頃から風水害に対する備えをして、被害を最小限に食い止めるようにしましょう。



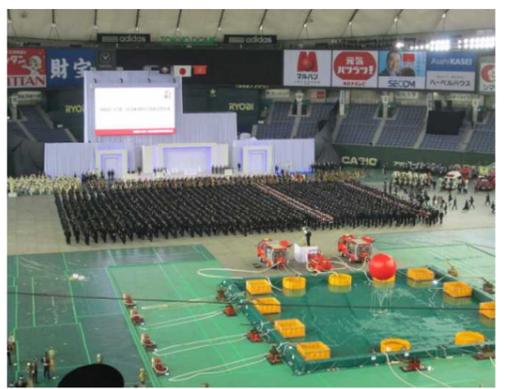
## 水害に備えて

いざというとき、土のうが間に合わない場合に、簡易的にできる方法を紹介します。あくまでも、小規模な水害で、水深の浅い初期段階に行うものです。

〈プランターなど〉  
家庭菜園などで使うプランターに、土を入れて繋げたものをレジャーシートで巻き込んで使用します。また、プランターの代わりにポリタンクに水を入れて使う方法もあります。

〈木の板〉  
出入り口の前に長めの板などを使用して、浸水を防ぎます。

# 消防団120年 自治体消防65周年



秋田県消防協会鹿角支部では、記念事業として小学校六年生を対象に防火標語を募集しました。最優秀賞一名、優秀賞三名が鹿角市・小坂町からそれぞれ選ばれ、一月四日に行われた消防出初め式で表彰されました。

昨年は、消防団の前身である「消防組」が明治時代に誕生してから一二〇周年、同じく自治体消防が発足してから六五周年でした。これを記念して一月二五日、東京ドームを会場に記念大会が開催されました。「消防 その愛と力」をテーマに全国から三万七千人が集まり、天皇皇后陛下のご臨席のもと、東日本大震災などで殉職した消防職団員に対し黙祷が行われ、消防活動に貢献した個人・団体への表彰が行われました。続いて「日本消防の歩みと展望」と題し、新旧消防ポンプによる放水実演や、大地震を想定した救助救急訓練が行われ、さらにはアトラクションとして、消防音楽隊や幼年消防クラブ鼓笛隊の演奏、アイドルグループによる復興支援ソング、布施明さんの歌の披露などが行われました。秋田県消防協会鹿角支部からも、消防職団員三四名が参加しました。



# 最優秀賞

鹿角市  
「もう一度」火もと確認 合言葉  
小坂町  
火のこわさ 知って行動 防ぐ火事  
花輪小学校六年 石井華瑛さん  
小坂小学校六年 成田葉太さん

# ことしの夏は・・・?

「ここ数年、暑い夏が続いています。熱中症対策は万全ですか?」「去年、大丈夫だったから・・・」と油断しないで、しっかりと対策を取って楽しい夏を過ごしましょう。

〈熱中症の初期症状〉  
・体がだるい。  
・吐き気や頭痛がする。  
・頭がぼーっとする。

〈危険です!〉  
・多量の発汗が止まる。  
・けいれんがある。  
・言動がおかしい。  
・皮膚が冷たく感じる。

〈対処方法〉  
・日陰やクーラーの効いた室内に避難する。  
・服を脱がせ風を当てましょう。汗が出ていなければ、水で体を濡らすと効果的!  
・太い血管の近くを冷やす。(首や脇の下)  
・体からは水分だけでなく、塩分も失われているのでスポーツドリンクや、経口補水液を飲む。

こまめな休憩、水分と塩分の補給を!  
「おかしい?」と思ったらすぐに救急車を!

# 救急救命士が行う 処置が拡大されます!



心肺停止前の重症患者(一五歳以上)を対象に救命率向上と後遺症の軽減を目的として、次の行為が拡大されます。四月一日から運用されます。

① 低血糖性の意識障害が疑われる患者に対して、血糖値測定を行い、低血糖が確認された場合は、ブドウ糖溶液を投与します。

② 血圧が低下し、心臓停止状態となる危険性がある患者や、重いものに長時間挟まれて血液のめぐりが悪くなっている患者に対し点滴を行います。

いずれの行為も救急救命士が所定の講習を修了し、医師の指示を受けて、処置を行います。

# 遭難に注意!



山菜採りによる遭難事故が毎年発生しています。絶対に迷わないという過信は持たず、次のことに注意しましょう。

〈入山前〉  
◆家族に行き先や帰宅時間を伝える。  
◆事前に天候を確認し、悪天候時は入らない。  
◆目立つ服装をし、寒さ対策を万全にする。(赤や黄、白などの服装が目立ちます!)  
◆水や食料、持病の薬を持つ。  
◆携帯電話、ライター、発煙筒などを持つ。

〈入山時〉  
◆一人で入山しない。日没前に下山する。  
◆仲間同士で、声を掛け合いながら行動する。  
◆大木などの目標物で常に位置を確認する。  
◆自分の体力や体調に合わせ無理はしない。  
◆崖や急斜面など、危険な場所は避ける。

〈迷ったら・・・〉  
◆むやみに動き回らず、落ち着いて行動する。  
◆呼びかけなどが聞こえたら、大きな音を出す。(笛が便利)  
◆ヘリコプターの音が聞こえたら、広い場所でタオルなどを振って合図をする。

# 山火事



山火事は燃え広がるスピードが速く、消火水の確保や機材の搬入が難しい場所が発生することが多いため、消火活動が大変困難となります。次のことに注意し、火事を起こさないようにしましょう。

◆枯れ草など燃えやすい物の近くでたき火をしない。  
◆たき火から離れる時は、完全に火を消す。  
◆強風乾燥時は、たき火や火入れをしない。  
◆タバコのポイ捨てはしない。  
◆吸い殻は必ず消して始末する。  
◆火遊びはしない、させない。

---

編集・発行 **鹿角広域行政組合消防本部**

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字高井田64番地2

T E L 0186-23-5601 (代表)

F A X 0186-23-5605 (消防本部)

0186-23-5603 (消 防 署)

E-MAIL info@fdkazuno.jp

ホームページアドレス <http://www.fdkazuno.jp>

携帯電話用災害情報サイト <http://www.fdkazuno.jp/keitai>

---